第2期
長洲町スポーツ推進計画

Nagasu　Town　sport　promotion　plan

“ スポーツの力 ” で
活力ある・明るいまちづくり

令和３年３月

目　次

長洲町スポーツ推進計画の改定にあたって

第１章　第２期長洲町スポーツ推進計画の概要
１　改定の背景・・Ｐ１～２
２　計画の性格・・Ｐ３
３　計画の期間・・Ｐ４
４　長洲町スポーツ推進計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４

第２章　基本構想
１　基本理念とめざす姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
２　基本施策・・・Ｐ５～６

第３章　スポーツ推進の具体的方策
基本施策１　ライフステージに応じたスポーツの推進・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７～15
（１）子供（幼児期・ジュニア期）のスポーツの推進
（２）成人スポーツの推進
（３）高齢者スポーツの推進
（４）障がい者スポーツの推進
基本施策２　スポーツによる共生社会の実現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16～25
（１）ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブの育成・支援
（２）スポーツを支える人材の育成
（３）「 する 」スポーツ（競技力向上）の支援の充実
（４）スポーツを通した健康増進
基本施策３　スポーツ環境の充実と推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P26～32
（１）身近なスポーツ活動の推進
（２）スポーツ施設の整備・充実
（３）Ｂ＆Ｇ財団及び各種スポーツ団体との連携
（４）スポーツ情報の提供

第４章　計画の推進に向けて
１　実現に向けた各主体の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P33～34
２　計画の進捗状況の検証と計画の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P35

本文中の用語の補足説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P36～37
第２期長洲町スポーツ推進計画策定に関する審査委員会名簿・・・・・・・・・P38

資料編
１　アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１～52
２　第１期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題・・・・・・・・・・・・P53～60
３　町内スポーツ施設の整備状況と利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P61～62

長洲町スポーツ推進計画改定にあたって

国においては、平成２７年（２０１５年）１０月にスポーツ庁が発足し、「スポーツ基本法」の趣旨を踏まえ、スポーツを通じ「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現を最大の使命としています。

熊本県では、平成２８年の熊本地震、平成３１年には近隣の和水町でも大きな地震が起こり、さらには令和２年７月の県南豪雨、９月の大型台風とたくさんの災害に遭遇し、本町では、どれも大きな被害は少なかったものの災害の恐怖を覚えました。

そのような中において、スポーツは心身の健康の保持増進や体力の向上、感動の共有等を通して、人々のつながりを深めます。また、人と人との絆を培うスポーツの力は、ともに地域に生きる喜びを広げ、地域生活を豊かで味わい深いものにします。町民に大きな活力を与え、昨今の多数の災害の復興に向けて力を貸してくれるものと考えます。

本町では、こうしたスポーツの持つ多様な役割を踏まえ、スポーツを通じてすべての町民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会をめざし、平成２７年３月に「長洲町スポーツ推進計画」を策定し、５年が過ぎようとしています。この５年間を振り返りながら、またこれから先のことを見据えてスポーツの推進に取り組んでいきます。

「スポーツ」という言葉は、部活動や競技大会での印象から激しい運動や勝敗を競うことと捉えている人も多いですが、スポーツ基本法等の趣旨にあるとおり、より幅広い身体活動として解されるべきであります。「スポーツ」は過大な負荷をかけずとも、うまくはなくとも、楽しみながら体を動かすことが「スポーツ」です。また、こういった意味からもスポーツ実施率の向上により、町民全体で「スポーツ」に親しみ、「スポーツ」に参画することの習慣づくりを広げていくことは、単に個々人がその恩恵に浴するのみならず、町民の健康寿命の延伸に寄与するという社会的な便益をもたらすものとして、大きく期待できるものです。

本町では、町民の皆さんが、いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも、そして、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的に気軽にスポーツに参画でき、健康づくりに取り組める環境を整備するため各課の横断的な取組みを継続しながら「“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり」が実現できますよう町民の皆様とともに取り組んで参りたいと考えていますので、御理解・御協力をお願いいたします。

終わりに、本計画改定に当たりまして、貴重な意見をお寄せいただきました町民の皆様をはじめ、町内スポーツ関係者及び教育関係者の皆様方に、また多くの関係者の方々に感謝申し上げます。

令和３年（２０２１年）３月

長洲町教育委員会

「ながすまち」が〝めざすスポーツ〟とは

「スポーツ」は、競技種目だけにとどまらず、「体力づくり」や「介護予防等」を目的とする体操や軽い運動、ウォーキングやジョギング、レクリエーション、幼児の遊び等レベルや内容にかかわらず身体を使った運動すべてを「する」スポーツと幅広く捉えています。

また、「みる」「ささえる」スポーツの観点から、競技を観戦・応援する、監督・コーチ等の指導者、スポーツ大会等の審判やスタッフとして多様な形でかかわることも含んでスポーツと捉えます。

第１章　第２期長洲町スポーツ推進計画の概要

１　改定の背景

本町では、長洲町総合振興計画基本構想に基づき、スポーツ推進のための各種施策を展開し、総合型地域スポーツクラブ（ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ）の支援、社会体育施設の指定管理者制度の導入等、町民のスポーツに親しむ機会の創出や住民のニーズの向上に取り組んできました。

現代社会において、生活の利用性の向上による体力の低下、人間関係の希薄化等による諸問題が取りざたされています。また、少子高齢化社会の深刻化の中で、町民が生涯にわたって健康で明るい生活を送ることは、個人の幸せにとどまらず、社会全体の活力の維持のためにも重要となります。

このような社会背景を受け、国において平成２３年に「スポーツ基本法」が制定され、同法に基づき翌年に「スポーツ基本計画」が策定され、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を送ることは、すべての人々の権利であることが明記されました。また、熊本県においては、平成２６年に第１期熊本県スポーツ推進計画が策定されました。

本町においても平成２７年に第１期長洲町スポーツ推進計画を策定し、これまで５年にわたって計画に基づいたスポーツ推進を図ってきました。

なお、第１期長洲町スポーツ推進計画の５年間を振り返ると、

〇スポーツ実施率は高い状況にあるが、横ばい傾向である。

〇学校教育での子供の体力は向上傾向にない。

〇平成２８年から小学校運動部活動をより豊かなスポーツ環境へと、地域に広げていったが小学生の実施率があまり高くなっていない現状にある。

〇ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の加入率も増加傾向にない。しかし、認知度は高まっている。

〇施設の利用は微増している。

〇予算が伴う施設の充実については、あまり進んでいない。

と各計画内容は横ばい状況にあり、大きな成果はみられません。

令和２年６月に実施した「町民のスポーツに関するアンケート調査」では、

〇スポーツに関するニーズが多様化している。

〇スポーツを通して、仲間を増やしたい。

〇スポーツに対する興味関心が高まっている。

という内容も見られ、スポーツに対する楽しみ方の多様性やスポーツに求めるニーズの多様化が読み取れます。

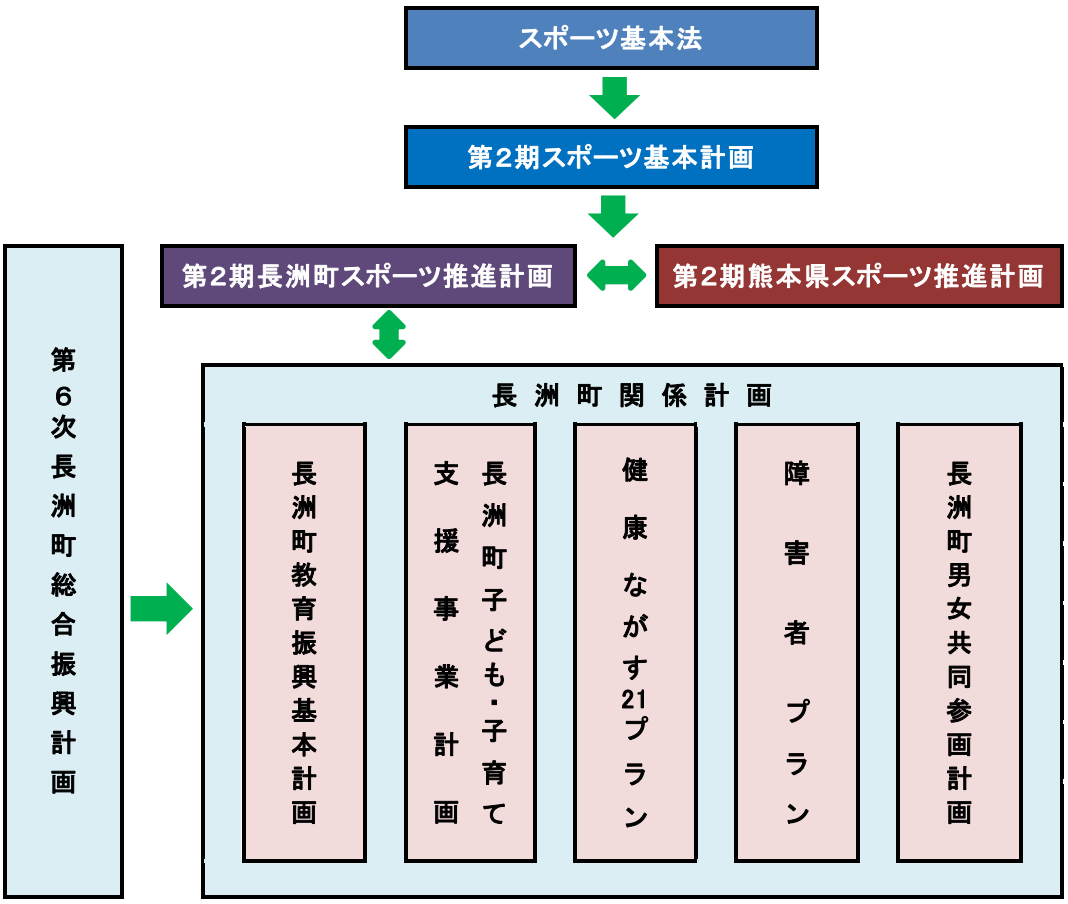
社会環境の変化に伴うスポーツに対する町民の要請に応えるためには、本町のスポーツ推進施策を、より総合的・計画的に推進することが必要です。

２　計画の性格

（１）　この計画は、町民がそれぞれのライフステージや興味、目的、適性等に応じて、生涯にわたって、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的に関わり、スポーツを楽しみ、楽しさや感動を分かち合い、健康で活力のある社会を構築するための基本的な方向性を示すものです。

（２）　この計画は、「スポーツ基本法」に基づくとともに、国が策定した「第２期スポーツ基本計画」を踏まえ、本町がめざす生涯スポーツ社会の実現のため基本的な方向性を定める計画であり、中・長期的視点に立って本町の実情に合わせスポーツに関する施策を総合的・計画的に推進するものです。

（３）　この計画は、本町のスポーツ推進の方向性を示すものであり、平成２７年度から１０年間のうち、今後、後半５年間をどのような施策に取り組んでいくかを明らかにし、施策の展開に当たっては、町教育振興基本計画との整合性を図りながら、関係団体、スポーツ関係団体等との連携・協働のもと、一体的な取組みを推進するものです。



３　計画の期間

この計画は、令和３年度（２０２１年度）から令和７年度（２０２５年度）までの概ね５年間を計画期間とします。本計画に基づく施策に際しては、適宜その進捗状況の把握に努めます。

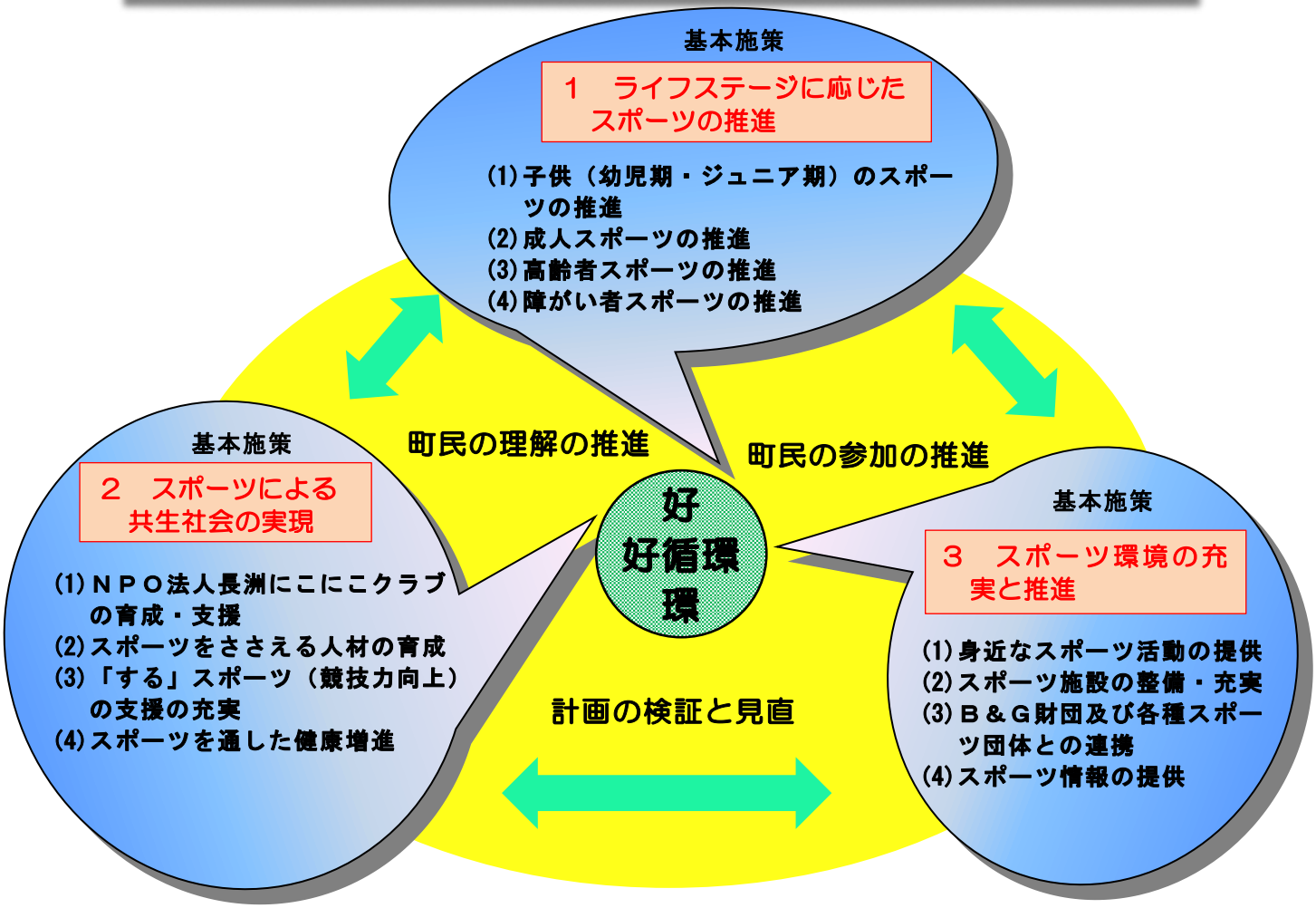
４　長洲町スポーツ推進計画の体系

基本理念

“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり

めざす姿

子供から高齢者まで、障がいのある人もない人も、いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもそれぞれの年齢や身体状況に応じて、また、多様なスポーツの関わりから、日常生活の中ですべての町民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら健康で明るい・活力ある生活を実現することをめざします。



第２章　基　本　構　想

１　基本理念とめざす姿

基 本 理 念

“ スポーツの力 ” で
活力ある・明るいまちづくり

め ざ す 姿

子供から高齢者まで、障がいのある人もない人も、いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもそれぞれの年齢や身体状況に応じて、また、多様なスポーツの関りから、日常生活の中で、すべての町民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら健康で明るい・活力ある生活を実現することをめざします。

２　基本施策

基本施策１　　ライフステージに応じたスポーツの推進

子供から大人、高齢者や障がいのある人等、町民の誰もが生涯にわたり、明るく豊かで、活力のある生活を営むために、それぞれの興味、目的、適正等に応じて、また、スポーツを特別なこととととらえずに、日常生活の中で自然に親しむ「スポーツ・イン・ライフ※1」を実践できる環境づくりを推進していきます。そのことによって、スポーツの価値を享受し、町民がスポーツに親しむ機運をより一層高めていきます。

基本施策２　　スポーツによる共生社会の実現

スポーツは 「みんなのもの」であり、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、それぞれの人生をいきいきとしたものとすることが期待できます。

また、スポーツを通じて人々がつながり、スポーツの価値を共有することができ、人々の意識や行動が変わります。このことが子供、高齢者、障がい者、女性、外国人等を含め、すべての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことで、心のバリアフリーや共生社会が実現するよう努めます。

基本施策３　　スポーツ環境の充実と推進

スポーツ施設の整備・充実と町民のスポーツ活動を支える支援体制の整備はスポーツを推進するための基盤として極めて重要です。町民のニーズに応えるために実態把握を行い、町民が日常的に誰もがスポーツ活動に親しみやすい環境づくりに努めます。また、社会状況の変化や多様化する町民のニーズに対応するためには、運動・スポーツの推進に係る行政組織間の連携や健康・体力づくりや競技力の向上に取り組むスポーツ関係団体等との情報の共有を図り、スポーツ環境の充実をめざします。

さらに、スポーツの分野におけるＩＣＴ技術の活用についてもスポーツ関係団体や指定管理者等含め充実を図ります。

第３章　スポーツ推進の具体的方策

基本施策１　ライフステージに応じたスポーツの推進

町民のライフステージを「幼児期・ジュニア期」「子育て世代・働き盛り世代」「高齢者世代」「障がいのある人」の４つと捉え、それぞれのステージに応じたスポーツの場を提供します。併せて、本町のスローガンでもある「“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり」に取り組んでいきます。

（１）子供(幼児期・ジュニア期)のスポーツの推進

施策の現状と課題

近年、次代を担う子供の体力の低下傾向において、文部科学省では、小・中学生を対象とした「新体力テスト」を全国的に実施し、子供たちの体力状況を把握することによる体力向上を図っています。

しかし、歯止めがかかってきているものの、基礎的な運動能力は高いとは言えない状況です。また、本町においても「積極的にスポーツをする子供」と「そうでない子供」の二極化が顕著になり、運動習慣が身についていない子供に対する支援の充実が引き続き大きな課題となっています。

今後は、子供たちの体力状況を把握し、実態に応じたより効果的な子供たちの体力向上の方策を確立することが必要です。

具体的な施策内容

幼児期からジュニア期にスポーツに親しむことは、子供たちの体力・運動能力の向上を図るとともに生涯を通じて、「楽しみながらスポーツに取り組む意識づくり」や「運動習慣の確立」につながる重要な時期といえます。このため、学校体育や社会体育のそれぞれの分野

に関わる各種団体等が連携し、子供たちの発育・発達段階に応じた多様な活動が効率的かつ効果的に行われるようなスポーツ活動の機会の提供とスポーツ環境の整備・充実を図ります。

◆学校運動部活動と各競技団体等との連携

○　部活動は、学校の教育活動の一環として児童・生徒の学校生活において、重要な役割を果たしてきました。本町では平成２８年度から小学校部活動は、地域の活動へ移行され、中学校部活動においては、地域の活動と連携し活動の充実を図るということで引き続き学校部活動として実施されています。

　しかし、働き方改革や指導者不足及び少子化の進行等により、学校単位での活動が困難な事例が出てきたり、それら問題点の解決のため、各団体と連携して段階的に学校単位から地域単位のスポーツ環境への構築を図る必要があり、地域のスポーツ指導者の協力を得て活動を行う等、運動部活動のクラブ化を推進していく必要があります。このため、運動部活動の現状を把握するとともに学校との情報交換等から進め、持続可能な運営体制の構築を図ります。

◆トップアスリートとの交流促進

○　オリンピックや世界大会等への出場選手等、高い技能や実績を有する各種トップアスリートを招き、子供たちが体験談を直接聞き、目にすることができる「夢の教室」や指導者等の指導力向上にもつながるＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）等が行う、「トップアスリート指導によるスポーツ教室」等、トップアスリートと住民が直接触れ合う機会の提供に努めます。

◆子供子育てスポーツ活動の充実

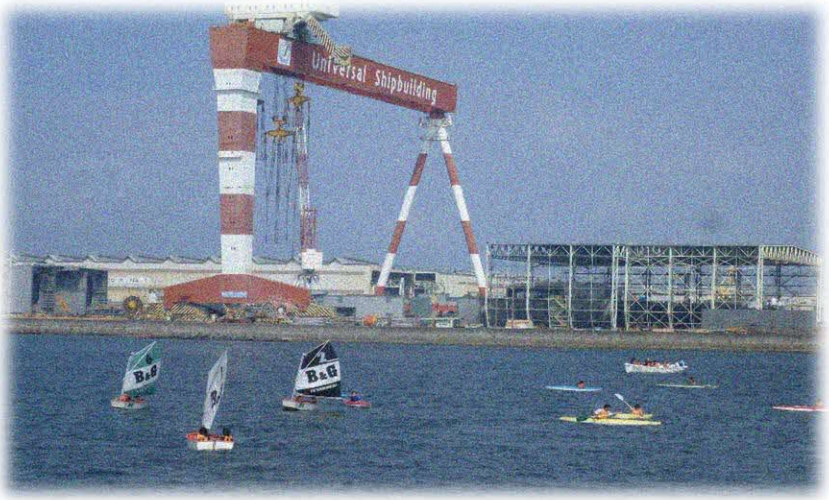
○　幼児・児童のスポーツ活動を通した健全で、健やかな身体づくりとしてＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）による「小学校水泳教室」や子供たちが楽しみながら積極的に身体を動かし、発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムの導入による未就学児の運動能力向上をめざし、子供子育てスポーツ活動への支援を図ります。

◆子供たちがスポーツに親しむ機会の充実

○　「子ども会運動会」や「球技大会」、地元スポーツ少年クラブ等によるスポーツ活動等、子供たちのスポーツ活動への参加をより促し、子供たちがいろいろなスポーツ活動に参加しやすい環境整備として、各種スポーツ大会等のスポーツに親しむ場や機会の拡充を図ります。

◆各種スポーツ教室等の開催支援

○　子供たちの心身の健全な発育・発達を目指し、町スポーツ推進委員協議会や町体育協会及びＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）等による多彩な運動教室の開催を支援し、子供たちがいろいろなスポーツに出会い、スポーツを始める機会を提供します。また、ジュニア世代の選手の育成や競技力の向上を目指して活動を行っている地元スポーツ少年クラブ等に対する活動支援を図ります。



（２）成人スポーツの推進

施策の現状と課題

仕事等が多忙でスポーツや運動に費やす時間が取りにくい状況の中、手軽にかつ効果的に行うことができるスポーツ活動の推進が必要となります。町民の誰もが生涯にわたって継続して健康や体力を維持向上するために、実施率の低い「働き盛り世代」「子育て世代」への働きかけが求められます。

具体的な施策内容

仕事や家庭で中心的な役割を担う年代であることから、時間が限られている中でも手軽に取り組めるスポーツ活動の普及、促進を図ります。

また、生活習慣病の予防及び改善のために継続的及び意識的に身体を動かすことを推奨し、意識啓発を図ります。

具体的には、スポーツ推進委員が行う町民等からの依頼によるスポーツ教室等の開催等、気軽に参加できる初心者向けの教室や地域コミュニティの醸成につながる町主催大会等の開催を図ります。

◆魅力あるスポーツ大会・イベント等の開催

○　町主催の各種スポーツ大会のより一層の推進に向け、町民、各種団体、参加者のニーズに合ったプログラム等の見直しを行い、スポーツを楽しむことができる機会の充実を図ります。

◆地域住民、地元企業によるスポーツ行事への支援

○　町民の誰もが気軽に参加できる地元のスポーツ行事等、町民の親睦やコミュニティづくりとして地域で開催されているスポーツ大会等の支援を行います。また、地元企業におけるスポーツ行事等の開催も支援します。

◆スポーツ出前講座の開催やスポーツ用具等の貸出し

○　ニュースポーツ等の紹介や体験を含めたスポーツの出前講座や地域・団体へのスポーツ用具等の貸出しを図り、気軽にスポーツ活動ができる環境整備を図ります。

◆スポーツ大会等への民間の力の活用

○　これまで行政主導で行ってきたスポーツ大会やスポーツ教室等各種スポーツ事業の推進について、長洲町体育協会、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）、指定管理者等、民間の力の活用により、関係団体と連携を図りながら、さらに魅力的で効率的なスポーツ事業の推進を図ります。

（３）高齢者スポーツの推進

施策の現状と課題

本町では、高齢者を対象とした軽体操、運動等の運動教室が行政（福祉保健介護課、生涯学習課）、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）及び各行政区により、それぞれ行われ高齢者の健康・体力づくりやコミュニティづくりの場となっています。

今後、高齢化が進行する中、高齢者の健康づくり・体力づくりを継続的かつ効果的に行えるように関係者間の連携のもと無理なく実施できるスポーツ・レクリエーションプログラムを活用するとともにできるだけ多くの方々に取り組んでいただけるよう普及・啓発を図る必要があります。

具体的な施策内容

超高齢社会の中、運動やスポーツ活動による高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりは、高齢者自身や地域社会にとっても、より一層その重要性を増してきています。

食生活の変化や医療技術等の進歩により平均寿命が延びている一方、加齢による体力の衰えが気になる高齢者においては健康づくり、体力づくりに対する関心が高まっており、これらに対する取り組みの充実が望まれています。このため、高齢者の体力や運動能力に合わせたスポーツ・レクリエーションプログラム等への参加を通じて「元気な高齢者」が増えていくように取り組みます。

◆各種高齢者スポーツ大会等の開催支援

○　福祉保健介護課や関係団体等と連携し、高齢者間の親睦・融和・交流や体力・健康づくり等を目的として開催されている老人クラブ連合会体育祭や各種グラウンドゴルフ大会等、各種高齢者のスポーツ大会等の開催を支援します。

◆介護予防・元気づくり事業の推進

○　高齢期になっても自立した生活が可能な限りできるよう、また、いきいきと毎日を過ごせるように、福祉保健介護課や関係団

体等と連携し、６５歳以上の高齢者の介護予防を目的として高齢者の体力向上につながる軽体操、脳を活性化させるプログラム等、介護予防・元気づくり事業に取り組みます。

◆健康・体力づくりへの働きかけ

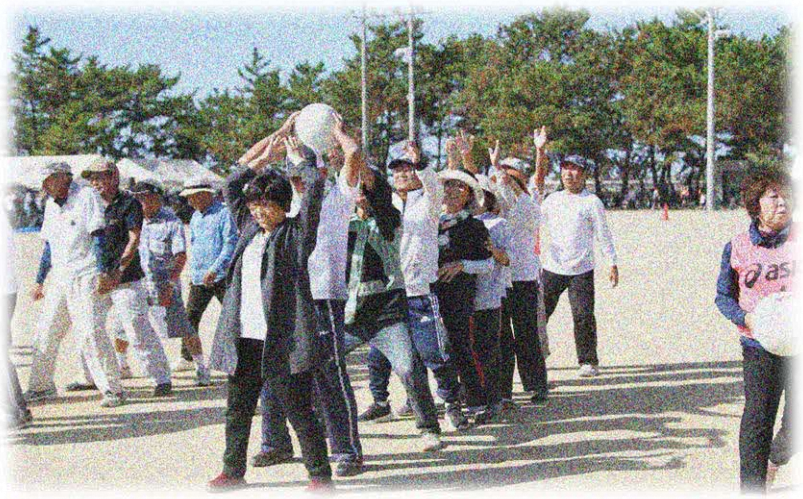
○　高齢者が健康でいきいきといつまでも地域で生活できるように、福祉保健介護課や関係団体等と連携し、健康づくり・体力づくりに対する意識づくりを図るとともに、健康診断の受診率向上に努めます。併せて、健康・体力づくりを継続させるための、「きっかけづくり」や「目標」として自分の身体状況の把握ができる場の提供を図ります。

◆地区公民館（介護予防拠点施設）での手軽な健康教室への参加促進

○　高齢者が長年住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせるように福祉保健介護課や関係団体等と連携し、身近な施設である地区公民館（介護予防拠点施設）を会場に気軽に参加できる運動教室等の開催・参加促進を図ります。

◆高齢者スポーツ教室等の開催支援

○　スポーツや運動を通じての高齢者の健康づくり・体力づくりのため、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）や指定管理者と連携しながら、高齢者が気軽に参加できるスポーツ教室の開催を支援します。



（４）障がい者スポーツの推進

施策の現状と課題

障がいのある人がスポーツに取り組むことは、心身の健康の保持増進や社会への参加機会の増加をもたらすことから、障がいのある方々の生活の質の向上が期待されます。

本町においては、障がいのある人のスポーツについては、施設や指導者の面で体制が不十分であり、障がい者スポーツに取り組める環境が整っているとは言えません。

また、障がいのある人がもっと利用しやすいよう、施設のバリアフリー化による環境整備を進めていくことが求められています。

このため、ソフト・ハードの両面から障がい者スポーツの推進を図る必要があります。

具体的な施策内容

ノーマライゼーション※2の理念のもと、障がいのある人のスポーツの推進は、身体の機能回復の手段としての福祉の観点にとどまらず、障害の種類、程度や体力等に合わせてスポーツに親しんだり、自己能力の開発等をめざしたり、充実感が実感できるような日常的にスポーツに参加することができる環境づくりが重要です。

そのため、障がいのある人のスポーツ活動を支える人材の確保を図るとともに、障がい者団体等と連携した障がい者スポーツ大会、講習会の開催、施設のバリアフリー化など、障がいのある人がスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。

◆ユニバーサルデザイン※3の推進

○　町スポーツ施設について、障がいのある人もない人にも優しく誰もが利用しやすい施設として、スポーツ施設のユニバーサルデザインの推進に取り組みます。

◆障がいのある人のスポーツ活動の支援

○　障がいのある人を対象とした県・郡主催のスポーツ大会等への参加を支援します。また、町主催のスポーツ行事への障がいのある人が参加しやすい機会の拡充に努めます。併せて、スポーツ活動参加時の障がいのある人の支援体制の拡充として、ボランティア体制の整備に努めます。

○　子供から高齢者まで、誰もが気軽に取り組めるユニバーサルスポーツの普及に努め、障がいのない人との交流機会の拡充と障がいに対する理解を促進します。

◆障がい者スポーツ教室の開催

○　長洲町身体障害者福祉協議会をはじめＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）や指定管理者、その他の団体等と県障がい者スポーツ協会など関係団体の協力を得ながら障がいのある人が参加できるスポーツ教室の開催を図ります。

◆障がいのある人の関係機関との連携

○　障がいのある人のスポーツ活動を促進するため、長洲町社会福祉協議会、長洲町身体障害者福祉協議会やＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）、社会福祉法人等の各種団体との連携を図ります。

ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を楽しむ

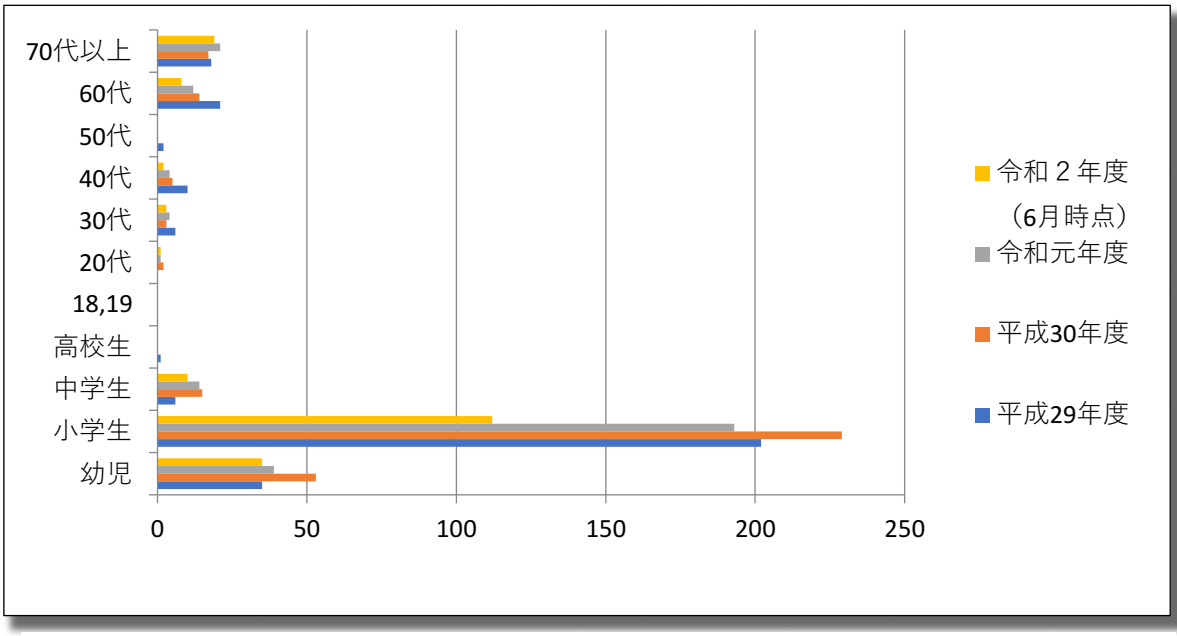
基本施策２　スポーツによる共生社会の実現

「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」町民の誰もが参加できる生涯スポーツ社会の実現に向けた環境整備を推進し、スポーツ参画人口が広がる町として、スポーツを通じて、地域社会との絆を深めるとともに共生社会の実現をめざします。

（１）ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブの育成・支援

施策の現状と課題

本町では平成２０年６月、総合型地域スポーツクラブ※4として「長洲にこにこクラブ」が設立され、平成２７年２月ＮＰＯ法人取得、平成２８年度から総合スポーツセンターの指定管理者として、町内になくてはならない組織となっています。教室は１３のプログラム、アカデミーとして５のプログラムを、また、イベントも多く取り入れ町民に愛される組織をめざし、スポーツを核に町民の「ひとづくり」「まちづくり」「いきがいづくり」の推進に力を入れています。しかし、令和元年度は、会員数２８０人と町民の１割に達しておらず、知名度も前回のアンケートより高くはなっているものの、まだ知らない町民も高い割合で存在します。クラブ内においては、財源や会員、指導者、スタッフの確保などクラブの自主運営に向けた課題も多く、町当局とのパートナーとしての存在が強固なものになるために、今後も支援が必要です。



☆長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）構成と会員数（H29 年度から令和２年）

具体的な施策内容

町民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るためには、身近で利用しやすいスポーツ環境の整備が不可欠です。町民が主体的に運営し、本町の特性やニーズに応じて、日常的なスポーツ活動の場を提供するクラブ運営に活動支援を行っています。

本町のスポーツ活動やコミュニティづくりの拠点として「健康！笑顔！元気あふれるまちづくり！」という理念のもと活動を行っています。

これからも、本町の課題を解決するために、クラブのミッション（現在）やビジョン（未来）を踏まえ質の向上を図るとともに、学校との連携や効果的な広報活動を図っていくことが必要です。

◆クラブの周知・加入促進

○　町民スポーツアンケート調査結果からもクラブの認知度を高める必要があります。このため、各種事業の開催時など、様々な機会を活用しながら、また方法論も議論しながら周知と加入促進のために支援します。

◆自立的なクラブ運営の促進

○　国の予定では、令和４年度から総合型地域スポーツクラブの質的充実等を促進するために登録・認証制度を検討しており、さらに行政と連携して必要な取組みを進めていきます。

○　「持続可能な総合型地域スポーツクラブの推進に向けた取組みの指針と評価指標」等を活用しＰＤＣＡサイクル※5による運営の改善等を図り、自立的で安定した運営ができるよう、総合型地域スポーツクラブと連携しながら支援します。

◆町におけるスポーツを通した活性化

○　子供から高齢者まで幅広い人々が、多彩なスポーツ活動を楽しむことができるように、多種・多様なスポーツプログラムの開催を支援します。スポーツを核としたコミュニティづくりやソリューション※6機能を持ち合わせた公益性のある団体として町民の誰もが認めるクラブとなるよう支援します。

（２）スポーツを支える人材の育成

施策の現状と課題

スポーツが文化として人々の生活に根付くためには、スポーツ参画人口の拡大が求められています。スポーツ参画人口には、「する」「みる」「ささえる」が挙げられますが、とりわけ「ささえる」については停滞しているのが現状です。

町民の多様化するスポーツニーズに対応した生涯スポーツ社会の実現や健康づくり等を推進するため、スポーツや運動に関する知識・技術をはじめとして、多様なスポーツの楽しみ方等の指導・助言等、子供から高齢者まで幅広い人々に対応できる指導者の育成・確保に継続して取り組む必要があります。

また、町体育協会や町スポーツ推進委員等の関係団体と連携を図り、広く町民に対してスポーツボランティアの参加を呼びかけ、スポーツ時の指導、各種スポーツイベントの運営スタッフ等、各種スポーツ活動に応じた人材を育成するとともに、適時適切に関わることができる体制づくりも必要となります。

スポーツに関わる人材としてスポーツ推進員や体育協会員が存在しますが、さらなる連携・協力が不可欠です。

◆長洲町スポーツ推進委員※7

スポーツ基本法第３２条において、スポーツ推進委員は、地域のスポーツ推進体制の重要な部分を担うものとして位置づけられており、本町では１５人が委嘱され日々活躍しています。

活動内容としては、実技指導や町教育委員会が実施するスポーツ事業の企画・立案・運営等の業務を行っています。また、同法の施行（平成２３年８月）より、町民のニーズを踏まえたスポーツのコーディネーターとしての役割が追加されましたが、総合型地域スポーツクラブの運営への参画、スポーツ活動全般にわたるコーディネート等の取組みについては十分でない面もあります。今後は、スポーツ推進のための事業の実施に係る調整役としての活躍が求められます。

玉名管内各地区のスポーツ推進委員数（令和２年度）

荒尾市　：　３８人	長洲町　：　１５人	南関町　：　１１人
和水町　：　１８人	玉東町　：　５人	玉名市　：　６１人

◆長洲町体育協会

長洲町体育協会は、競技スポーツとレクリエーションスポーツを推進し、町民の健全な心身の育成と明るく豊かな町民生活の形成に寄与し、関係団体の発展と相互の親睦、連携を図ることを目的とした組織です。現在１４の競技団体が所属しています。

本来、１５団体が加盟していますが、陸上は休部状態にあり、会員減少や後継者不足（会員の高齢化・若手の不足）等の共通の課題があり、活動の活性化を図っていくことが急務と言えます。

長洲町体育協会の加盟団体と構成人数（令和２年度）

1	女子バレーボール	：１５人	9	ソフトボール	：２１人
2	卓球	：１１人	10	弓道	：１２人
3	剣道	：１７人	11	軟式野球	：２５人
4	バドミントン	：１６人	12	ビーチボールバレー	：１１人
5	サッカー	：１８人	13	グラウンドゴルフ	：６８人
6	ソフトテニス	：２６人	14	男子バレー	：１７人
7	テニス	：３４人	15	陸上(現在、休部状態)	：５人
8	少林寺拳法	：１４人			

◆スポーツボランティア

町民がスポーツボランティアとして活動することは、個人のスポーツの興味・関心を高めるとともに、生きがいづくりや職種、世代を超えた交流の輪の拡大にもつながるものと期待されます。

町民アンケートで、スポーツをする目的で『「ささえる」ため』の項目では、前回の平成２６年実施では、１．４％を示し、今回の令和２年実施では、５．６％と増加しているもの、まだ少ない数字を示しています。「ささえる」活動は、各種の地域スポーツ等で円滑な運営のために大会運営の補助として、人々の支援によるスポーツボランティアが必要なだけではなく、相互のコミュニケーションの場となり、スポーツを「する」「みる」「ささえる」のつながりを生み出すことで、スポーツの価値を存分に享受することができます。「ささえる」活動の実態と効果を明確にすることは、スポーツ参画人口拡大に貢献すると考えられます。

具体的な施策内容

スポーツ推進委員をはじめ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年クラブ等の指導者等、地域におけるスポーツ指導者には、スポーツそのものの楽しさやスポーツマンシップ等を伝えることや競技力向上のための指導技術とともに指導者自身の資質の向上が求められています。

また、スポーツイベントの開催や各種大会の運営にはボランティアの存在は不可欠であり、指導者も含めたスポーツを支える人材を育成・確保する必要があります。

◆スポーツ推進委員の資質の向上

スポーツ推進委員（当時は体育指導委員）制度は昭和３６年（１９６２年）に制定されたスポーツ振興法によって必置制となり、これまで約６０年近くにわたり地域におけるスポーツ振興の推進役として活躍してきました。

制度創設以来、半世紀以上の歴史を有する世界に類を見ないスポーツ指導者制度と言えます。

しかし、当初の職務と比較すると、より幅の広いスポーツ活動や地域スポーツの推進等の連絡調整といったコーディネーターとしての役割が、追加され、より高い資質が求められる時代へと変化してきました。

スポーツ推進委員の職務はすべて公的なものであることから、法的に位置づけられた非常勤公務員としての自覚と組織の確立をしなければなりません。

○　時代の変化に対応できるためにも、スポーツ推進委員一人ひとりの意識改革と研修のあり方を見直し、これからスポーツ推進委員が住民の期待に応えうるためにも、住民や関係団体との連携・協働を図り、個人としても組織としても自主性の向上につながる実践を進めます。

○　一方、スポーツ推進委員自身の資質向上はもとより、スポーツ推進委員に新たに課せられた任務を正しく理解し、その任務を遂行する人材を委嘱するとともに、地域住民の認知度も高めていきます。

○　長洲町生涯スポーツ行政担当は、スポーツ推進委員の役割を明確にし、諸事業を効率的･効果的に進めるためにも検証していく必要があります。

◆地域スポーツ指導者の育成

○　地域スポーツの推進に携わる関係者の資質の向上を図るとともに、地域におけるスポーツ環境の整備・充実に寄与するため、地域スポーツ指導者研修会を開催します。

○　指導者の資格取得に対する支援を行うことにより、指導者としての人材を確保し、地域スポーツ指導者を増やしていきます。

◆スポーツボランティアの育成

スポーツを「ささえる」ことで、多くの人々が交わり共感し合うことにより、社会の絆が多くなっています。スポーツを「ささえる」から「する」「みる」「ささえる」の好循環を生み出し、スポーツ参画人口の拡大に貢献することが大いに期待できます。

○　スポーツイベント開催に伴うスポーツボランティアへの呼びかけや研修会のインフォメーションを行い、スポーツを「ささえる」活動への機運が高まるよう進めていきます。

○　町のホームページや広報誌を活用して、スポーツボランティアの活動内容や募集情報を積極的に紹介しながら、ボランティア未経験者への動機づけや意識啓発を図り、ボランティア活動への参加者を開拓・拡大します。

（３）「する」スポーツ（競技力向上）の支援の充実

施策の現状と課題

本町における競技スポーツは、町体育協会を中心として、その加盟団体が各種競技大会への参加や開催等、連携を図りながら進めてきました。

しかし、競技人口の減少とともに、加盟団体における会員の高齢化や会員の減少等が進み、加盟団体における活動の活性化が課題となってきています。

また、ジュニア期から一貫した指導体制の整備とともに、指導者の養成・確保といった取組みも必要となっています。

全国大会等で活躍する地元のトップアスリートの姿は、見る人に感動や希望を与えます。このため本町の競技力向上をめざし、各種大会で活躍するトップアスリートの育成・活動を支援することが必要です。

「スポーツ」は、スポーツ基本法の趣旨によれば、個人の心身の健全な発育・発達、健康・体力の保持等を目的とする活動であり、国際的な競技力の競争を

通じて国民に誇り、夢と感動を与え、さらには、地域・経済の活性化、共生社会や健康長寿社会の実現、国際理解の促進など幅広く社会に貢献する営みです。

具体的な施策内容

◆競技者・指導者の育成環境づくり

○　優秀な指導者によるスポーツ教室・実技講習会を開催し、町体育協会やＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）及び各種スポーツ団体等との連携を図りながら競技者人口の拡大に努め、優れた素質のある競技者を発掘・育成します。

○　中学校の運動部活動と小学生の時期に取り組んでいく競技が継続できるよう町体育協会やＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）及び各種スポーツ団体等において、一貫指導を受けられる環境の整備に努めます。また、小学生の時期の豊かなスポーツ環境を整えるよう進めていきます。

○　多くのスポーツ環境を整えることで、そこに関わる多くの指導者を確保しながら育成と資質の向上を図ることを意識したスポーツ活動を推進します。

◆全国大会等の各種競技大会参加への支援

○　県内外で開催される各種競技大会において優秀な成績をおさめ、全国大会に出場する選手・団体に対する奨励金の交付による支援とともに町民に対する啓発活動も併せて進めていきます。

○　特に情報が入りにくい、高校生や他県で活躍する長洲町出身の人材については、情報収集の方法についても啓発を続けながら、リアルタイムに情報が伝わるシステムを構築していきます。

◆優秀なスポーツ選手等の表彰

○　全国大会等で優秀な成績をおさめた個人、団体や地域のスポーツ推進に貢献した個人や団体等を表彰することにより、より一層のスポーツの推進を図ります。

○　上記した内容と同じように情報の収集にはタイムリーなものにするためにも、町広報誌や町ホームページ等を活用することで、町民への広報と興味・関心を高めるためのものにしていきます。

◆各種競技大会等の工夫した開催と支援

○　スポーツ推進や競技力の向上等を目的に開催される各種競技大会の開催について、熊本県スポーツ協会や玉名郡の体育協会及び町体育協会等、関係団体と連携しながら開催・支援を図ります。

（４）スポーツを通した健康増進

施策の現状と課題

スポーツを通じた健康増進を図るにあたっては、スポーツ参画人口の拡大が不可欠です。

本町の成人の「週に１回以上のスポーツ実施率」は、前回の平成２６年度調査では、４６．２％から今回の令和２年度調査では、５３．３％と増加傾向にありましたが、国の目標の６５％程度までには至っていないことと３日以上になると３０％の目標に対して２６．１％であり、実施率の低い２０代・３０代等のビジネスパーソン※8に対するアプローチが課題です。

一方、我が国の国民医療費は約４３兆円にも達している中、本町では平成２３年度にピークを迎え、その後、低くなっているものの後期高齢者の数の増加に伴い高齢期になっても健康障害を起こさないためには、早い時期からの予防活動が非常に重要です。

スポーツにより、健康寿命が平均寿命に限りなく近づくような社会を構築するためには、障がいのある人もない人も、子供も高齢者も、すべての町民の誰もがいつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境整備が重要であり、さらなる取組強化が求められています。

ともすれば、「スポーツ」という言葉は、部活動や競技大会での印象から、激しい運動や勝敗を競うことと捉えている人も多いようですが、より幅広い身体活動として解されることも大切です。

そのような中に、スポーツ実施率が低い、２０代・３０代といった若者世代に対する施策の検討も課題として考えられます。

具体的な施策内容

厚生労働省の「健康づくりのための身体活動基準２０１３」では、生活習慣病予防のために、「今より毎日１０分ずつ長く歩くようにする」「３０分以上の運動を週２回以上行う」といった身体活動を推奨しています。また、健康づくりのために身体活動指針（アクティブガイド）では、毎日今より１０分多く体を動かすだけで健康寿命の延伸が期待できるとされています。

◆ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の育成

○　町民のニーズに応えられるようなプログラムの充実が図られ、身近にスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成に取り組みます。

◆くまもとスマートライフプロジェクトの推進

○　健康で元気に楽しく毎日が送れることを目標とした「くまもとスマートライフプロジェクト」※9を推進し、日々の暮らしの中で気軽に体を動かす町民が増えるよう、「くまもとスマートライフアプリ（くまモン歩数計アプリ）」等を活用した健康づくりの普及に啓発を進めます。

◆庁内横断的な連携・協働活動の推進

○　町は、厚生労働省が創設した「保健医療２０３５推進シティ」を平成２９年（２０１７年）２月に選定を受けています。福祉保健介護課・社会福祉協議会、さらには区独自での様々な取組み等の評価であると考えます。今後さらに、「連携・協働」をキーワードとして事業展開を進めていきます。

○　また、まちづくり課で設定したフットパスコース※10が完成し、キンギョづきあいコースとカラダ目覚めるコースがあり、それぞれ７kmとゆっくり楽しめるコースです。

国の「ＦＵＮ＋ＷＡＬＫ　ＰＲＯＪＥＣＴ」※11や前述した「くまもとスマートライフプロジェクト」等を推進するよう、コースの啓発とともに、町民に対する利用促進の推進を図ります。

◆地域資源を生かす等、多様な視点からのアプローチ

○　長洲町のシンボル施設『金魚の館』や『金魚と鯉の郷広場』等、町の宝である地域資源をウォーキングコースに位置づけ、人々の趣味や特技等を好みに合わせて、いろいろな視点で楽しめる海岸ウォーキングコースを計画されています。荒尾市と長洲町両市町の宝である地域資源を結ぶ、コースが令和４年（２０２２年）に完成します。

関係各課との連携のもと、心身ともに健康なひとづくりとなるように、町民の多くが利用するよう協力をしていきます。

基本施策３　スポーツ環境の充実と推進

誰もが安全快適にスポーツに取り組むために、長洲町総合スポーツセンター等拠点となる施設の管理運営は重要です。
さらに、身近な地区公民館（介護予防拠点施設）や計画されているウォーキングコース等、誰もが手軽に楽しみながらスポーツに触れることができる場を活用したスポーツを推進していく必要があります。
また、町民がスポーツに関する情報を十分に得られるため町内で実施されているスポーツに関する情報を広く収集する体制の整備とともに、「広報ながす」やホームページ、ＳＮＳ等各種情報媒体を利用した効果的な情報提供に努めます。
近年、ＩＣＴの技術が様々なところで活用され、スポーツの分野においてもスポーツ・レクリエーション活動等の拡充が期待されます。
その効果を上げるためにもスポーツ分野でのＩＣＴ技術の活用の充実を図ります。

（１）身近なスポーツ活動の場の提供

施策の現状と課題

スポーツ施設や学校体育施設は、日常的なスポーツや健康づくりの場として、多くの町民に積極的に利用されています。
今後は、利用者の要望や意見を参考に、利用者が快適に施設を利用できるように努める必要があります。
また、身近な地区公民館(介護予防拠点施設)で気軽に参加できる健康運動等が行われ高齢者の健康増進は図られてはいますが、まだスポーツに触れることのない人たちへのアプローチが必要です。

具体的な施策内容

学校体育館においては、利用者の利便性を考え、備品や道具の維持管理等について、関係する課で調整を図ります。
また、各主体によるスポーツ施設や地区公民館等での事業等について、情報共有を行い利用される方への利便性を向上させるため情報提供できる体制づくりに取り組みます。

◆学校体育施設の有効利用

○　学校体育施設は町民にとって身近で日常的に利用できるスポーツ施設のひとつです。このため小中学校体育施設の平日(夜間)や土日開放を引き続き小・中学校と連携しながら行っていきます。

　また、利用者の利便性といろいろなスポーツ活動ができるよう備品等の整備についても関係各課と連携し充実を図ります。

◆地区公民館（介護予防拠点施設）でのスポーツ・レクリエーションプログラムの推進

○　福祉保健介護課による高齢者を対象とした身近な施設である地区公民館（介護予防拠点施設）で気軽に参加できるストレッチや軽体操等を内容とするスポーツ・レクリエーションプログラム等の取組みを推進します。

◆スポーツに触れることのない人たちへのアプローチや周知

○　現在、スポーツをしていない人やこれからスポーツを始めようとする人にとって、スポーツ・レクリエーション活動は、老若男女問わず誰でも行いやすいことから、スポーツ推進委員との連携によりその紹介・普及に努めます。

○　性別・年齢を問わず取り組むことができ、世代間交流を促す軽スポーツ・レクリエーション活動や健康づくりをテーマとしたスポーツイベントを推進します。

○　町民の主体的なスポーツ活動を促進するため、スポーツ大会、スポーツ施設情報のほか、地域スポーツの情報、健康やスポーツに関する情報等といった町民のニーズに対応した幅広いスポーツ情報の提供を図ります。

地区公民館を利用した手軽な健康教室

（２）スポーツ施設の整備・拡充

施策の現状と課題

本町のスポーツ施設は、Ｂ＆Ｇ財団※12から譲渡された体育館、武道場及び艇庫をはじめとして各施設で老朽化が進んでいます。建設から３０年以上経過している施設や設備については、適正な維持・管理を行っていくとともに、町個別施設計画に基づき、計画的な施設改修に取り組んでいかなければなりません。

また、スポーツ施設の管理・運営に関して、平成２３年１０月から指定管理者制度を導入し、サービス向上と効率的で利用しやすい施設管理に努めています。

しかし、今回の公共施設についての調査では、ソフト展開での希望が３２．６％と一番多い割合を示していました。ハード面では「施設数の増加」が２６．７％、「利用手続きなどの簡略化」と「利用案内などの広報の充実」がそれぞれ１８．６％と続いています。

また、障がい者や高齢者のスポーツ環境として、ハード・ソフト面から利用しやすい環境としては高い評価は得ていません。

具体的な施策内容

スポーツ施設の整備・充実は、町民のスポーツ活動を推進するための基盤として極めて重要です。このため、町民の誰もが、スポーツ施設を安全・快適に利用することができるよう、Ｂ＆Ｇ財団等の修繕助成等を活用しながら、施設の利用形態や状況等も含め、町個別施設計画に基づき、老朽化した既存施設を計画的に修繕や改修を行い、スポーツ施設の整備に努めます。

また、スポーツ施設の管理運営については利用者のサービス向上と効率的運営を目指し、民間の有する能力・人材を活用しながら指定管理者と連携・協力を図ります。

◆スポーツ施設の整備

○　施設の利用形態や状況及び町民の要望等も含め、町個別施設計画に基づき、老朽化した施設の計画的な改修整備に取り組み、バリアフリー化も含め利用者の方々が安心して快適にスポーツ活動ができるよう施設機能の維持・充実を図ります。

◆指定管理者制度の活用

○　利用者サービスの向上と効率的な管理運営を目指し、総合スポーツセンターの管理運営に平成２３年１０月から指定管理者制度を導入しました。民間のノウハウを活用した「各種スポーツ教室の開催」「きめ細やかなサービス」「利便性の提供」及び「満足度の向上」に取り組み、利用者拡大に向け指定管理者と協力しながら適切な管理運営を図ります。

◆民間のスポーツ施設の利活用

○　町民の各種スポーツ活動の促進を図るため地元企業や有明広域行政事務組合と連携し、これら所有のグラウンド等、民間のスポーツ施設の利活用を推進します。

（３）Ｂ＆Ｇ財団及び各種スポーツ団体との連携

施策の現状と課題

社会状況の変化や多様化する町民のスポーツニーズに対応するには、運動・スポーツの推進に係る行政組織間の連携、また、健康・体力づくりや競技力の向上に取り組むスポーツ関係団体の充実が不可欠です。

本町でも、少子高齢化が進み、学校での運動部活動が成り立たなくなったり、指導者不足や各種団体の会員減少、後継者不足、財源不足等、多くの課題があります。

これまでのように、各種団体の単独活動だけでは先細りの状況になっていくのは明らかであり、今後さらに複数の関係団体と連携・協働を図りながら、それぞれの団体が活性化できるようにする必要があります。

具体的な施策内容

地域スポーツの推進のみならず、健康づくりや生きがいづくり、さらには、地域コミュニティの形成等、様々な役割を担っている町体育協会、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツク

ラブ）等との連携・協働を強化し、さらには横断的な全町的取組をムーブメントにしながら、地域住民の生活の中に新たなスポーツ活動も含めた「スポーツ・イン・ライフ※1」をめざしていきます。

◆横断的なスポーツ推進体制の整備

○　町民の健康・体力づくりやスポーツの推進に係る行政組織の連携・協働を一層促進するため、定期的な情報提供や会議の開催、研修会の合同開催等を通して、それぞれの役割分担を踏まえた横断的なスポーツ推進体制を整備していきます。

○　町内における全町的体制でのスポーツ推進を図るため、スポーツ活動に関わる町内関係団体や個人が、情報を共有し相互に連携・協力した町スポーツ関係者の交流ネットワーク（仮称）「町スポーツ推進会議」の整備を考えています。

◆関係団体との連携・協働

○　Ｂ＆Ｇ財団との連携

海洋性レクリエーションを通じた青少年の健全育成と地域住民の健康づくりを図るための「Ｂ＆Ｇプラン」に基づき、時代の変化や社会のニーズに対応した事業を展開します。

○　長洲町体育協会との連携

体育協会は、スポーツを通じて町民の体力を向上し、明るく健康な町づくりに寄与することを目的として活動している団体です。また、「各種競技会並びに講習会の開催」「加盟団体の育成強化」「役員・選手の派遣」「調査・研究」「クラブの育成（少年部）」等、広範囲にわたって事業を展開する団体でもあります。そのため、各種事業の推進や事業成果の把握等が効率的に推進できる体制の整備･充実が図られるよう支援します。

○　長洲町スポーツ推進委員協議会の充実

本委員会はスポーツ基本法に基づき、本町では教育長が委嘱する推進委員１５名で構成されています。地域スポーツ推進の中核団体で、実技指導等やスポーツの推進のための実施に係る連絡調整役として役割が大きく期待されています。そのため、研修会等の開催を通してスポーツ推進委員の資質の向上と活動の活性化に努めていきます。

○　学校体育団体との連携

小・中学校体育連盟の長洲町各小中学校における体育・スポーツ推進を通して、児童生徒の心身の健全な育成や各競技種目の競技力の向上に取り組んでいます。

今後も児童生徒のスポーツ環境の整備・充実を図るとともに生涯にわたってスポーツに親しむ人づくりの基盤整備、競技者の育成支援などの観点から町体育協会や町スポーツ推進委員及びＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)等と機能的に連携し、地域の指導者の活用など相互の連携・機能充実を図ります。

○　長洲町身体障害者福祉協議会との連携

障がいのある人のスポーツ・レクリエーションの普及・推進を図るため、情報の共有を積極的に進め、さらなる推進に努めます。

（４）スポーツ情報の提供

施策の現状と課題

スポーツ情報の内容は、いろいろな視点での情報があると考えます。スポーツの良さや本計画の内容、本町のスポーツ環境（ハード面・ソフト面）について等、正しく知ることからスポーツの推進が始まることを再確認しながら、進める必要があります。

今回の調査で「スポーツをもっと推進させるために、長洲町は今後どのようなことに力を入れてもらいたいか」の質問に対して、「広報活動」を選択した割合が２３．０％と前回からの調査より課題としての意識は低くなってはいますが、まだまだ認知されていない部分はあるのではないかと考えています。

調査での意見で、「体力が向上することで、どんな効果があるのかを明確にする方が児童生徒も保護者にも意図が伝わりやすいのでは？」「何のための体力を向上させるかも必要だと思います。」という内容もありました。

また、スポーツに関わる主体は町民の方々です。「する」「みる」「ささえる」「知る・学ぶ」といった視点でのスポーツに関する様々な情報を知ることにも力を注ぐ必要があります。

町民がスポーツに対して興味や関心を持つためにも、多くの情報を提供する必要があります。

具体的な施策内容

スポーツ施設の利用案内、イベント情報、スポーツ教室等についての情報提供は広報誌「広報ながす」や町ホームページ、ＳＮＳ等を活用したり、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ独自の広報での告知を、スポーツの医学的・生理学的必要性等は学校教育や福祉保健介護課等関係者の連携のもと、いろいろな情報を提供しながら、住民の方々のスポーツへの関心を高めていきます。

◆計画の広報活動の推進

○　この計画の基本理念「“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり」をめざすことにおいて、生涯スポーツの社会の実現のために、町民のスポーツに携わる全ての人々が基本理念はもちろん、この計画のめざす姿を共有し、具体的内容を熟知できるよう様々な機会を利活用して周知を継続していきます。

◆積極的なスポーツ情報の発信・提供

○　町広報誌「広報ながす」や町ホームページ等を活用し、スポーツに関する情報の積極的な提供と町内で活動するスポーツ団体やサークル等についての活動情報、各種運動教室、気軽に運動できる環境等の様々なスポーツ関連情報の提供の充実を図ります。

○　学校教育との連携（地域学校協働活動の観点）の取組みとして、今後考えていく必要があります。地域スポーツを推進するためにも学校教育の課題を共有し、今後の児童生徒の持続可能なスポーツ環境の整備を図ることが必要です。

「地域の活動としてのスポーツ環境をどう構築していくか」中学校の学校運動部活動の課題がクローズアップされる中、今後地域との連携・協働作業の中で課題解決を図っていきます。

◆住民ニーズの把握

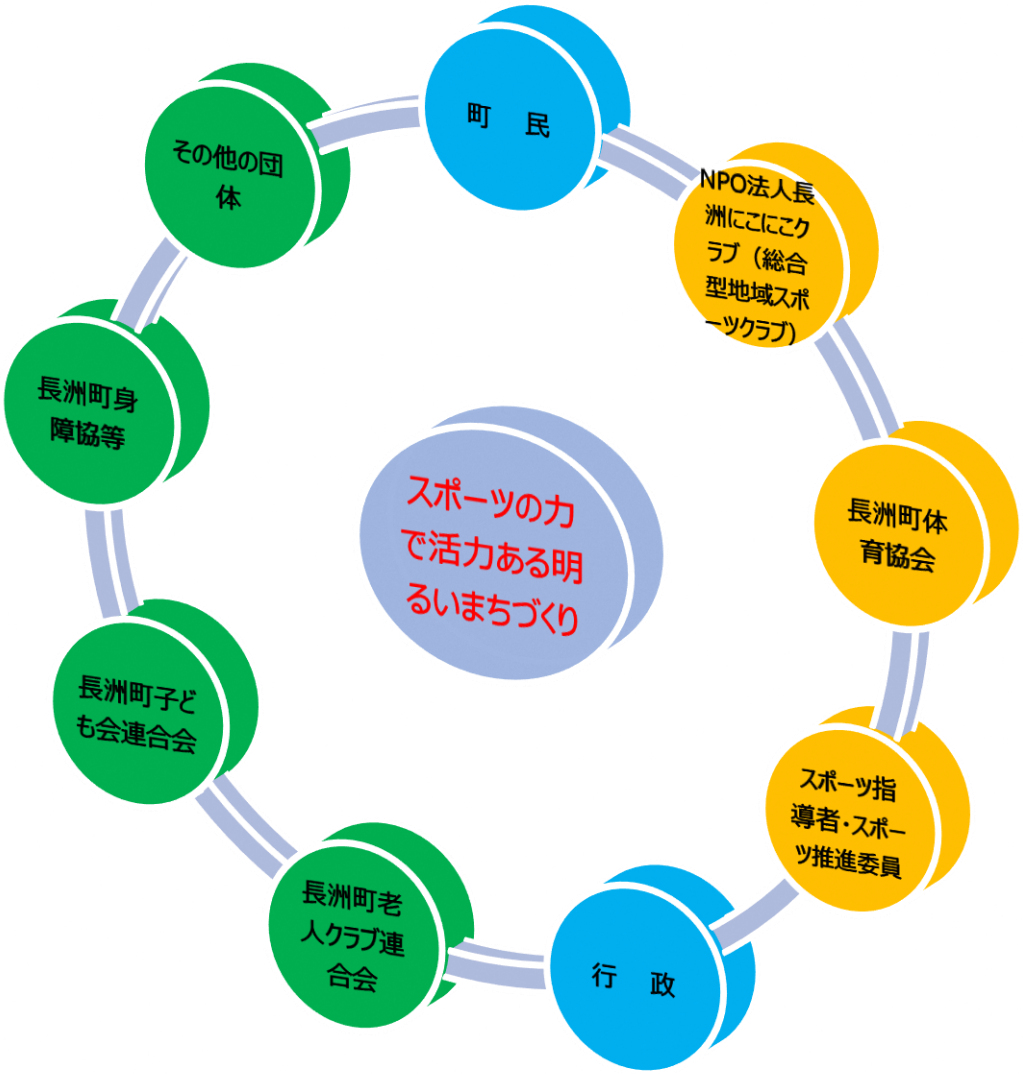
○　多様化するスポーツニーズに適切に対応し、スポーツ活動への住民参加をより促すため、施設利用者に対するアンケート調査や町体育協会、町スポーツ推進委員等との意見交換等を行い、スポーツ活動に関する住民ニーズの把握に努めます。

第４章　計画の推進に向けて

１　実現に向けた各主体の役割

本計画に掲げたスポーツ推進の目標、基本方針を実現するためには国、県の動向を注視し、行政のみならず、町民・体育協会・社会福祉協議会・スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・各スポーツ団体等が主体となり、共同し、一体となって積極的に取り組むことが重要となります。

今後は、これら関係機関や団体との役割分担や連携・協働のもと、長洲町のスポーツの推進に向けて計画を進めていきます。



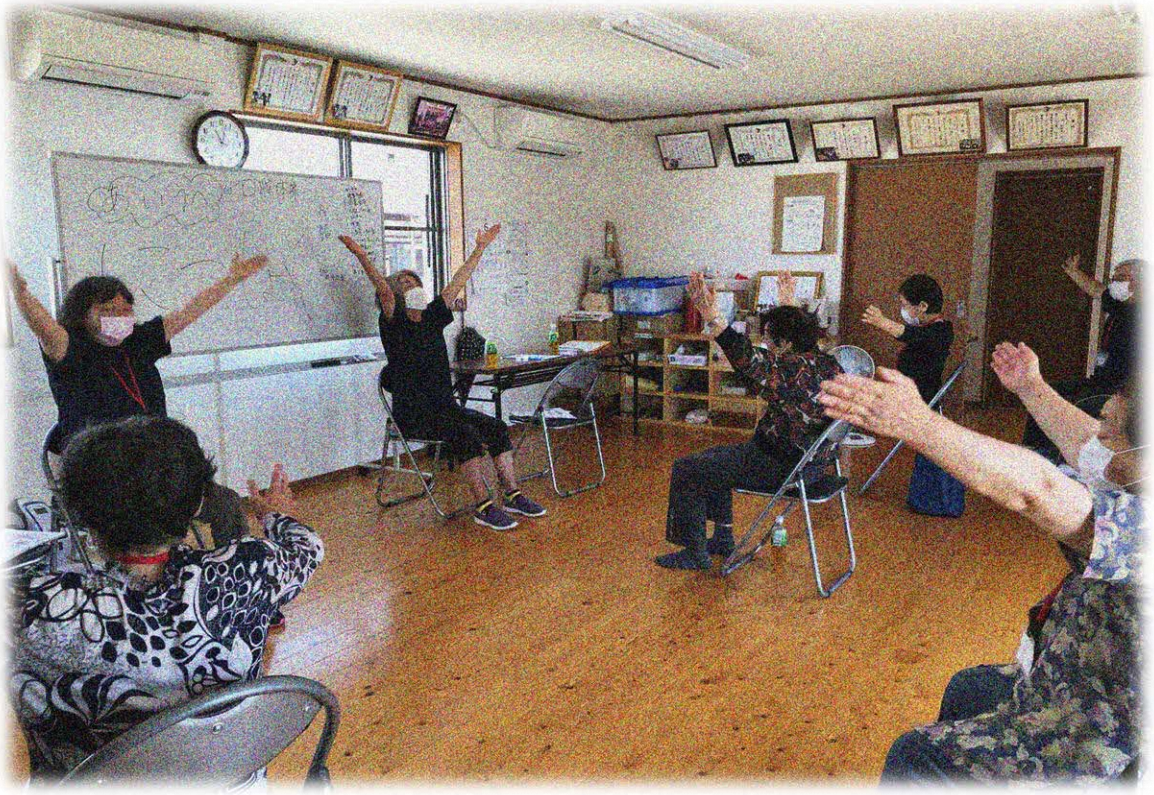
関係団体や行政等の役割を明確にしたうえで連携し、
計画的な事業の推進を図ります。

関係団体等	行政関係
長洲町体育協会 ・競技スポーツの推進や指導者育成等スポーツの裾野を拡大	**生涯学習課** ・スポーツに関わる活動支援や行政との協働の橋渡し ・スポーツをする場や機会の提供
長洲町身体障がい者福祉協議会等 ・スポーツを通じた障がいのある人の自立と社会参加	**学校教育課** ・学校での体育・保健体育の授業及び運動部活動等の指導（支援）
長洲町スポーツ推進委員協議会・スポーツ指導者 ・スポーツやニュースポーツ等の実技指導や行政との連絡調整	**福祉保健介護課** ・スポーツ活動への高齢者や障がいのある人の参加促進 ・地区公民館（介護予防拠点施設）での気軽に参加できる運動教室の開催及び参加促進
ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ） ・スポーツ活動や文化活動を通して地域住民の健康増進や「笑顔・元気あふれるまちづくり」という公益活動の推進	**子育て支援課** ・子供の発達段階に応じて、楽しみながら、継続的にスポーツに親しむことができる「きっかけづくり」となる場の提供
長洲町子ども会連合会 ・子供たちのいろいろなスポーツ活動への参加促進	**長洲町社会福祉協議会** ・障がいのある人や高齢者のスポーツ活動の推進
長洲町老人クラブ連合会 ・スポーツを通じた高齢者の健康・生きがいづくり	**指定管理者** ・施設の維持管理、有効利用やスポーツをする場及び機会の提供

関係課及び関係機関と連携し、それぞれが主体的にスポーツに取り組めるよう環境整備等の支援を行う等、きめ細やかな施策の推進を行います。

２　計画の進捗状況の検証と計画の見直し

本計画は、横断的かつ総合的な取組みとして推進しますが、その取組みの「まとめ」や進捗状況について、関係団体や各課と連携しながら計画に掲げた「具体的な方策」等の成果や課題等を共有し、次年度以降の取組みに反映させます。



本文中の用語の補足説明

◆スポーツ・イン・ライフ※1（P 5　17行目、P30　3行目）

生活の中に自然とスポーツが取り込まれていること。

◆ノーマライゼーション※2（P14　14行目）

障がいのある方と健常者とはお互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来望ましい姿であるとする考え方。

◆ユニバーサルデザイン※3（P14　23行目）

多くの方に使いやすいデザインの手法。

◆総合型地域スポーツクラブ※4（P16　8行目、その他）

身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。
それぞれの地域において、スポーツの推進やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしている。

◆ＰＤＣＡサイクル※5（P17　22行目）

ＰＤＣＡサイクルとは、Plan(計画)・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のこと。

◆ソリューション※6（P17　28行目）

高度で難解な問題に対する具体的な解決策。

◆スポーツ推進委員※7(P18　21行目、その他)

地域における住民のスポーツ活動を推進するため、スポーツ基本法に基づき市区町村の教育委員会が委嘱する非常勤の特別公務員。スポーツを推進する事業の実施における連絡や調整、住民に対する実技の指導や助言を行う。地域住民と行政との隔たりをなくし、スポーツ施策を活発化させる役割を担っている。

◆ビジネスパーソン※8（P23　13行目）

ビジネスマンとビジネスウーマンの総称。性差のない表現として用いられる。

◆くまもとスマートライフプロジェクト※9（P24　13行目）

プロジェクトの趣旨に賛同する企業・団体に、その社員や職員の健康意識向上につながる啓発活動を行っていただき、また企業活動を通じて、より多くの人々が健康づくりの意識を高め、行動を変えるよう働きかけてもらうことによって、県民の生活習慣の改善、ひいては健康寿命をのばすことを目的とした取組み。

◆フットパス※10（P24　22行目）

森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと。

◆ＦＵＮ＋ＷＡＬＫ　ＰＲＯＪＥＣＴ※11（P24　25行目）

歩くことをもっと楽しく、楽しいことをもっと健康的なものにするスポーツ庁の官民連携プロジェクト。
「歩く」を入口に、国民の健康増進を目指している。

◆Ｂ＆Ｇ財団※12（P28　3行目、その他）

ブルーシー・アンド・グリーンランド財団の略
青い海と緑の大地を活動の場として、海洋性レクリエーションをはじめとする自然体験活動などを通じて、次代を担う青少年の健全育成と幼児から高齢者までの心とからだの健康づくりを推進することを目的に設立された公益財団法人。

スポーツ推進計画策定に関する審査委員会名簿

役　職	所 属 団 体	氏　名
委 員 長	長洲町スポーツ推進委員協議会	吉 田 一 明
副委員長	長洲町体育協会	光 安 晴 美
委　　員	NPO 法人長洲にこにこクラブ	橋 垣 真 美
委　　員	長洲中学校校長	中 山 直 幸
委　　員	長洲町子ども会連合会	髙 松 孝 二
委　　員	長洲町老人クラブ連合会	島 﨑 藤 江
委　　員	長洲町身体障害者福祉協議会	塩 本 信 子
委　　員	（公財）熊本県スポーツ協会 クラブアドバイザー	永 田 好 文

永く住みたいまち、ながす
長洲町

第２期　長洲町スポーツ推進計画

発行年月　令和３年３月
発　　行　長洲町教育委員会
企画編集　長洲町教育委員会

生涯学習課
〒869-0123
熊本県長洲町大字長洲 2772-2
電　　話　0968-78-0053
Ｆ　Ａ　Ｘ　0968-78-0345
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　staiku@town.nagasu.lg.jp

資　料　編

1　長洲町のスポーツ活動状況に関するアンケート調査結果　P 1～P52

2　第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題　P53～P60

3　町内スポーツ施設の整備状況及び利用状況　P61～P62

長洲町のスポーツ活動状況に関するアンケート調査

集計結果

長洲町教育委員会

生涯学習課

１　調査の概要

（１）調査の目的

この調査（長洲町のスポーツ活動状況に関するアンケート調査）は、町民のスポーツに関する意識・活動状況について調査し、これまでの政策評価や今後の施策立案等に必要な基礎資料を得ることを目的とするものです。

（２）調査項目

１	スポーツの意識について	【Q6】
２	地域スポーツの推進について	【Q7】
３	競技スポーツの推進について	【Q8.9.10.11】
４	健康や体力づくりの意識について	【Q12.13.】
５	運動やスポーツの実施状況について	【Q14.14-1.14-2.14-3.15】
６	幼児期・児童生徒の体力について	【Q16.17.18.19】
７	スポーツ施設について	【Q20.21.21-1】
８	高齢者、障がい者のスポーツ環境について	【Q22.23.24.25】
９	スポーツクラブ、同好会について	【Q26.26-1】
１０	総合型地域スポーツクラブについて	【Q27.27-1.27-2.27-3.28】
１１	長洲町のスポーツ推進の効果について	【Q29】
１２	長洲町のスポーツ推進策への要望について	【Q30】

（３）調査設計

ア　調 査 期 間　　令和２年６月４日（木）～　６月３０日（火）２７日間

イ　調査対象者等　　長洲町住民台帳に基づき、満２０歳以上の住民２４０名
（無作為抽出、郵送法）

ウ　回 収 結 果　　有効回答者数９０名（回収率３７．５％）
無効回答者数０名
※ 小学生（２・４年生）１３２名（回収率９９．６％）
※ 中学生（１・３年生）２３４名（回収率９４．４％）

（４）その他

ア　過去の調査（平成 26 年１月）と比較可能な設問については、過去の調査結果を併せて示しています。

イ　小数点以下第二位の四捨五入により、各項目の合計が１００．０％にならない場合があります。

ウ　今回の調査では、男女別は調査項目に入れていません。
回答者の男女別、年代別、居住地域別の実際の人口比と差異がありますので、質問内容によっては、男女や年代による影響を受けることも考えられます。

エ　（一般）成人対象の結果あとに添付している小中学生対象内容についても併せて、今後の施策立案等に必要な基礎資料としていきます。

（5） 回答者の年代別、居住地域別の内訳

年代別

	実際の町の人口		調査回答者		差異
	人数	構成比(A)	人数	構成比(B)	(B)-(A)
20歳～24歳	741	5.5%	9	10.0%	4.5%
25歳～29歳	721	5.4%	5	5.6%	0.2%
30歳～34歳	868	6.5%	10	11.1%	4.6%
35歳～39歳	932	7.0%	4	4.4%	-2.6%
40歳～44歳	926	6.9%	8	8.9%	2.0%
45歳～49歳	873	6.5%	7	7.8%	1.3%
50歳～54歳	770	5.4%	10	11.1%	5.7%
55歳～59歳	809	6.0%	4	4.4%	-1.6%
60歳～64歳	1,122	8.4%	1	1.1%	-7.3%
65歳～69歳	1,607	12.0%	8	8.9%	-3.1%
70歳以上	4,023	30.0%	24	26.7%	-3.3%
合計	13,392	100%	90	100%	

※ 長洲町統計 令和2年3月末のデーターを使用

居住地域別

	実際の町の人口		調査回答者		差異
	人数	構成比(C)	人数	構成比(D)	(D)-(C)
長洲小校区	5,100	31.9%	26	29.9%	-2.0%
清里小校区	1,754	11.0%	15	17.2%	6.2%
六栄小校区	5,160	32.3%	27	31.0%	-1.3%
腹赤小校区	3,961	24.8%	19	21.8%	-3.0%
合計	15,975	100.0%	87	100%	
未回答者			3		

※ 長洲町統計 令和2年3月末のデーターを使用

◇ 有効回答者90名のうち、未回答者3名を除く87名の居住地域別比率

2 調査結果

（1） 調査該当者の属性

職業別

職業	内訳	人数	構成比	人数	構成比
自営業主	農林漁業	7	8.0%	3	3.4%
	商工サービス業			3	3.4%
	自由業			1	1.1%
家族従業者	農林漁業	4	4.6%	1	1.1%
	商工サービス業			3	3.4%
	自由業			0	0.0%
雇用者	管理職	38	43.7%	4	4.6%
	専門、技術職			15	17.2%
	事務職			14	16.1%
	労務職			5	5.7%
無職	主婦（夫）	38	43.7%	17	19.5%
	学生			4	4.6%
	その他			17	19.5%
合計		87	100%	87	100%

※有効回答者90名のうち、未回答者3名を除く87名の職業別比率

休みの形態別

休みの形態	人数	構成比
完全週休2日制	21	24.4%
その他週休2日制（隔週・月1回など）	8	9.3%
週休1日半制	5	5.8%
週休1日制	3	3.5%
週休制ではないが休日はある	10	11.6%
休日はない	1	1.2%
その他	38	44.2%
合計	86	100%

※回答選択者86名の休みの形態別比率

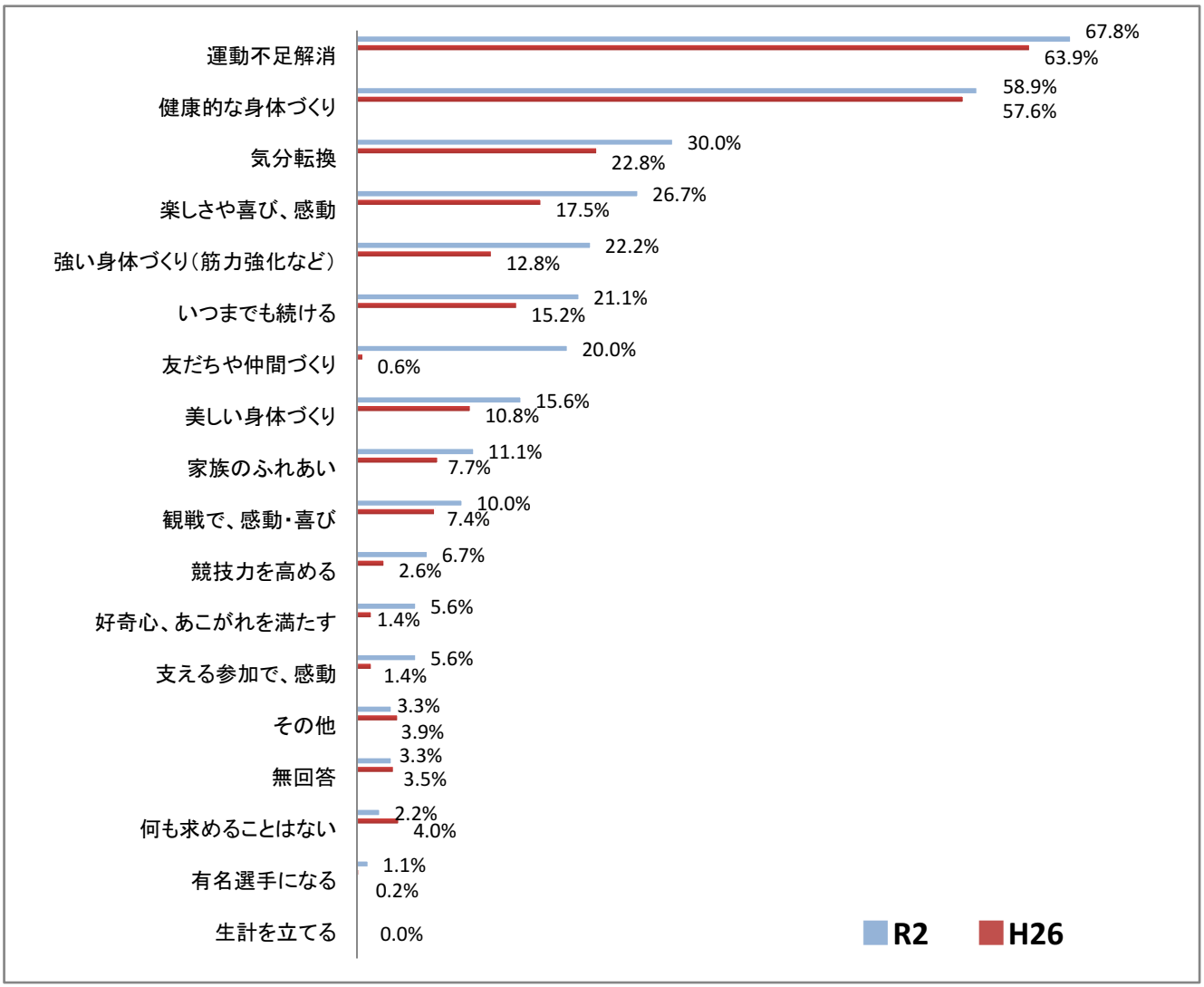
（2） 集計結果

Ⅰ スポーツの意識について

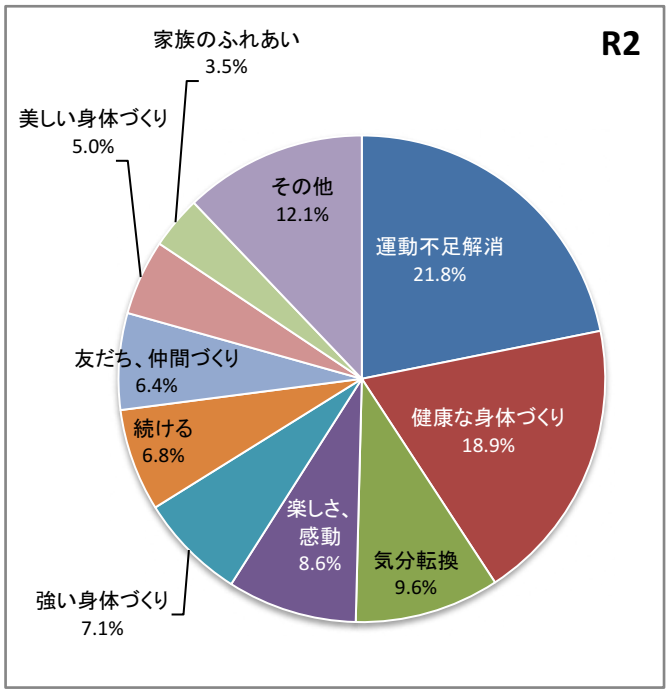
問6　どんなことを目的にスポーツをしますか。（複数回答可）

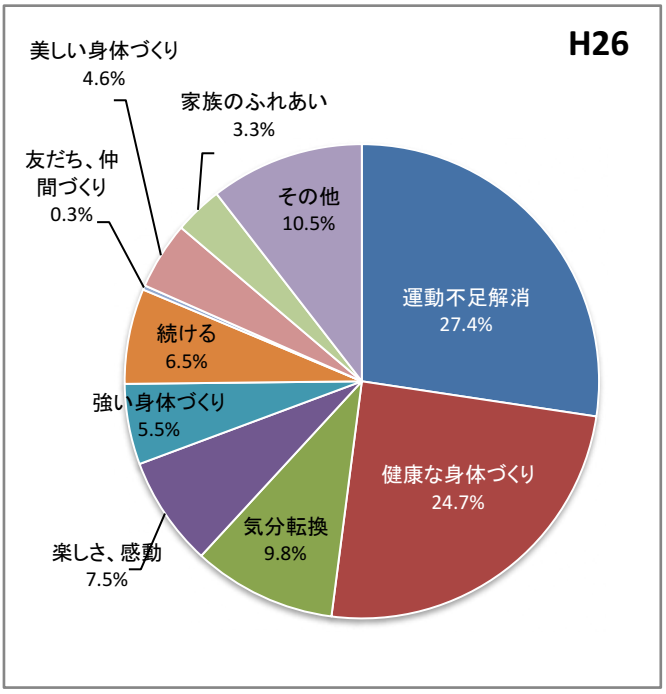
※回答者数　（R2）90　（H26）623

回答（複数回答可）	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
運動不足解消	61	398	67.8%	63.9%
健康的な身体づくり	53	359	58.9%	57.6%
気分転換	27	142	30.0%	22.8%
楽しさや喜び、感動	24	109	26.7%	17.5%
強い身体づくり（筋力強化など）	20	80	22.2%	12.8%
いつまでも続ける	19	95	21.1%	15.2%
友だちや仲間づくり	18	4	20.0%	0.6%
美しい身体づくり	14	67	15.6%	10.8%
家族のふれあい	10	48	11.1%	7.7%
観戦で、感動・喜び	9	46	10.0%	7.4%
競技力を高める	6	16	6.7%	2.6%
好奇心、あこがれを満たす	5	9	5.6%	1.4%
支える参加で、感動	5	9	5.6%	1.4%
その他	3	24	3.3%	3.9%
無回答	3	22	3.3%	3.5%
何も求めることはない	2	25	2.2%	4.0%
有名選手になる	1	1	1.1%	0.2%
生計を立てる	0	0	0.0%	0%
合計	280	1,454	311.2%	233.3%



回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
運動不足解消	61	398	21.8%	27.4%
健康的な身体づくり	53	359	18.9%	24.7%
気分転換	27	142	9.6%	9.8%
楽しさや喜び、感動	24	109	8.6%	7.5%
強い身体づくり（筋力強化など）	20	80	7.1%	5.5%
いつまでも続ける	19	95	6.8%	6.5%
友だちや仲間づくり	18	4	6.4%	0.3%
美しい身体づくり	14	67	5.0%	4.6%
家族のふれあい	10	48	3.5%	3.3%
その他	34	152	12.1%	10.5%
合計	280	1,454	100%	100%



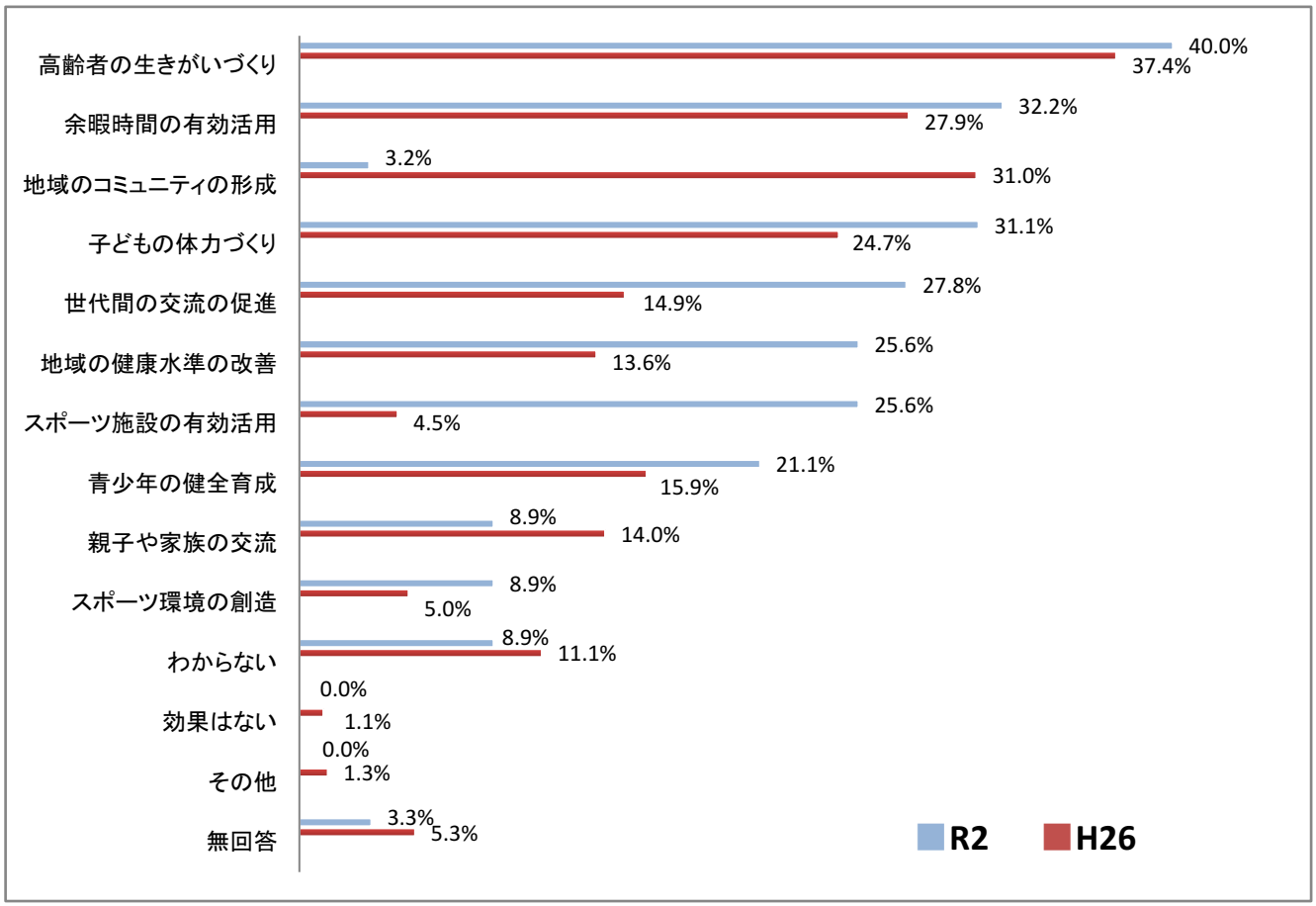


2 地域スポーツの推進について

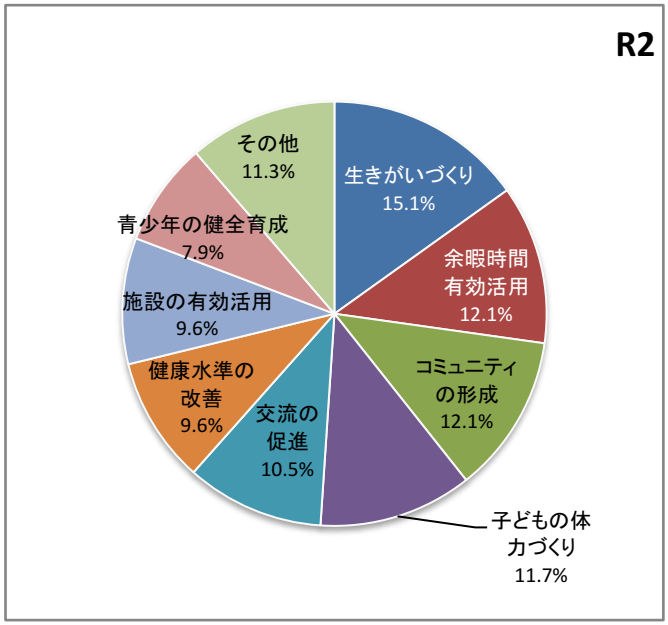
問7　地域団体によるスポーツの推進について、どのような効果を期待しますか。(複数回答可)

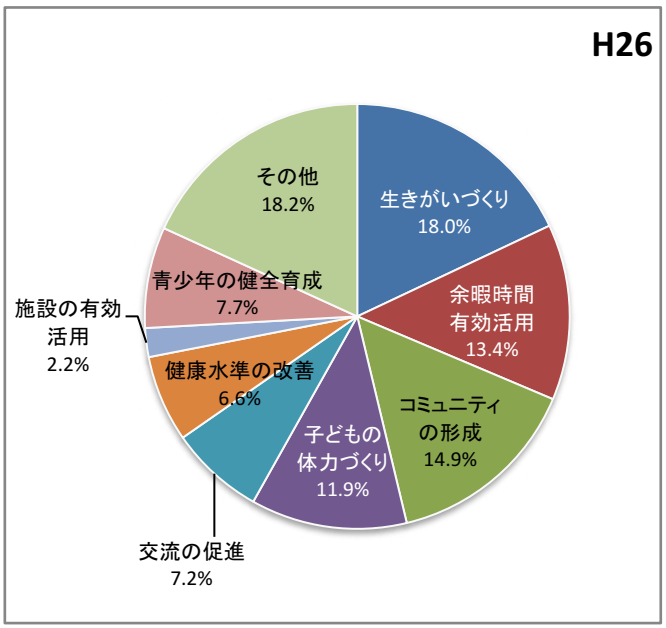
※ 回答者数 (R2)90 (H26)623

回答（複数回答可）	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
高齢者の生きがいづくり	36	233	40.0%	37.4%
余暇時間の有効活用	29	174	32.2%	27.9%
地域のコミュニティの形成	29	193	3.2%	31.0%
子どもの体力づくり	28	154	31.1%	24.7%
世代間の交流の促進	25	93	27.8%	14.9%
地域の健康水準の改善	23	85	25.6%	13.6%
スポーツ施設の有効活用	23	28	25.6%	4.5%
青少年の健全育成	19	99	21.1%	15.9%
親子や家族の交流	8	87	8.9%	14.0%
スポーツ環境の創造	8	31	8.9%	5.0%
わからない	8	69	8.9%	11.1%
効果はない	0	7	0.0%	1.1%
その他	0	8	0.0%	1.3%
無回答	3	33	3.3%	5.3%
合計	239	1,294	236.6%	207.7%



回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
高齢者の生きがいづくり	36	233	15.1%	18.0%
余暇時間の有効活用	29	174	12.1%	13.4%
地域のコミュニティの形成	29	193	12.1%	14.9%
子どもの体力づくり	28	154	11.7%	11.9%
世代間の交流の促進	25	93	10.5%	7.2%
地域の健康水準の改善	23	85	9.6%	6.6%
スポーツ施設の有効活用	23	28	9.6%	2.2%
青少年の健全育成	19	99	7.9%	7.7%
その他	27	235	11.3%	18.2%
	239	1,294	100%	100%

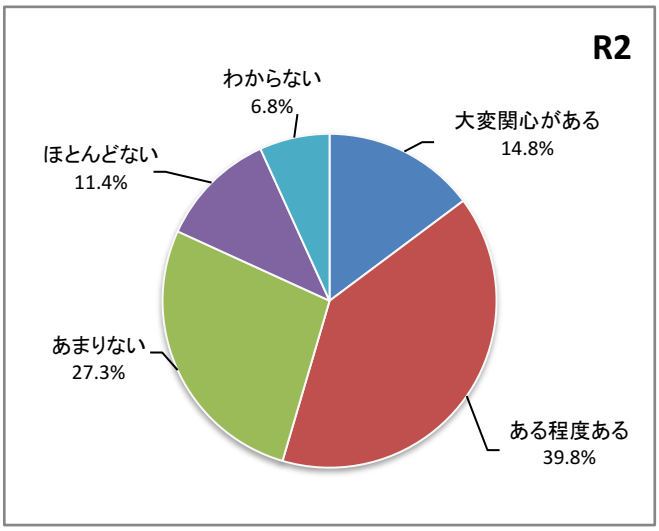


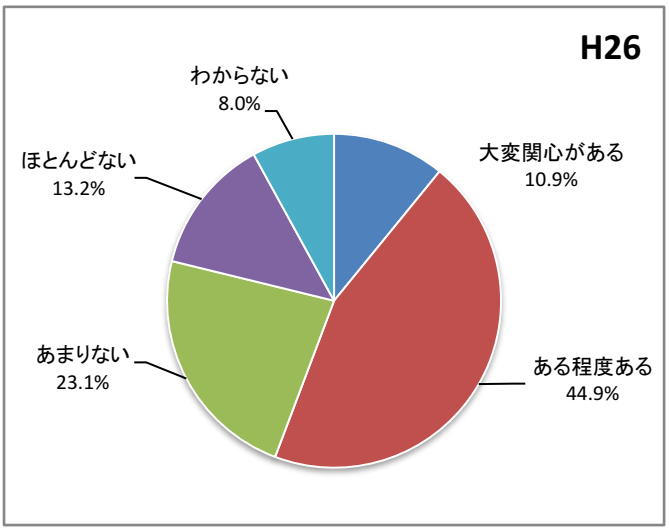


3 競技スポーツの推進について

問8　各種国際大会や国民体育大会等での長洲町選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。

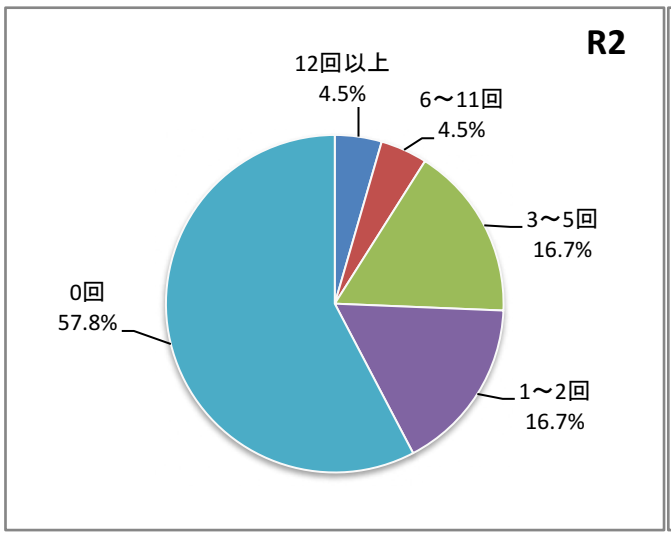
回答（単一回答）	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
大変関心がある	13	67	14.8%	10.9%
ある程度関心がある	35	276	39.8%	44.9%
あまり関心がない	24	142	27.3%	23.1%
ほとんど（全く）関心がない	10	81	11.4%	13.2%
わからない	6	49	6.8%	8.0%
合計	88	615	100%	100%
無回答	2	8		

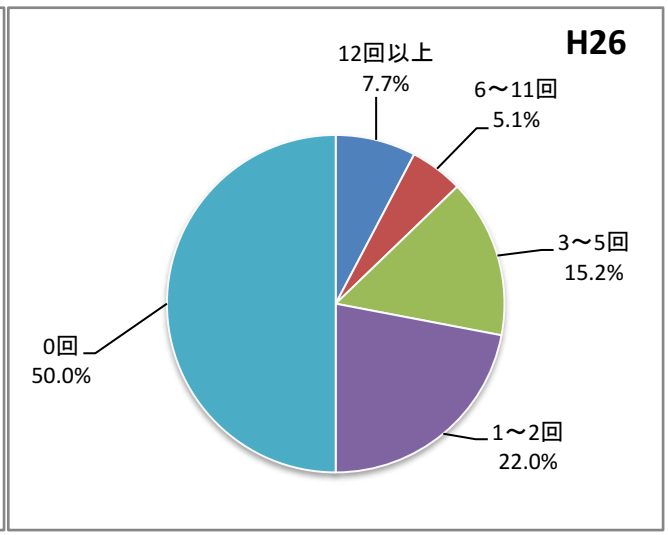




問9　テレビ以外でこの一年間に何回、屋内外スポーツを観戦しましたか。

回答（単一回答）	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
12回以上	4	38	4.5%	7.7%
6～11回	4	25	4.5%	5.1%
3～5回	15	75	16.7%	15.2%
1～2回	15	108	16.7%	22.0%
0回	52	246	57.8%	50.0%
合計	90	492	100%	100%
無回答	0	30		

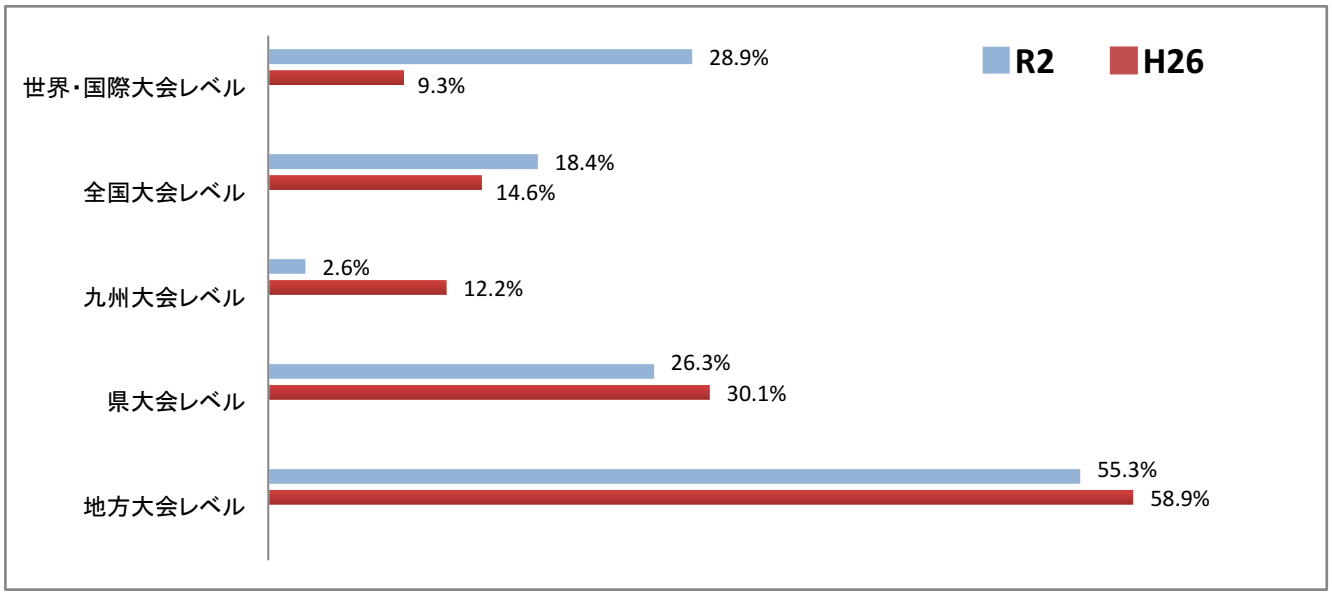


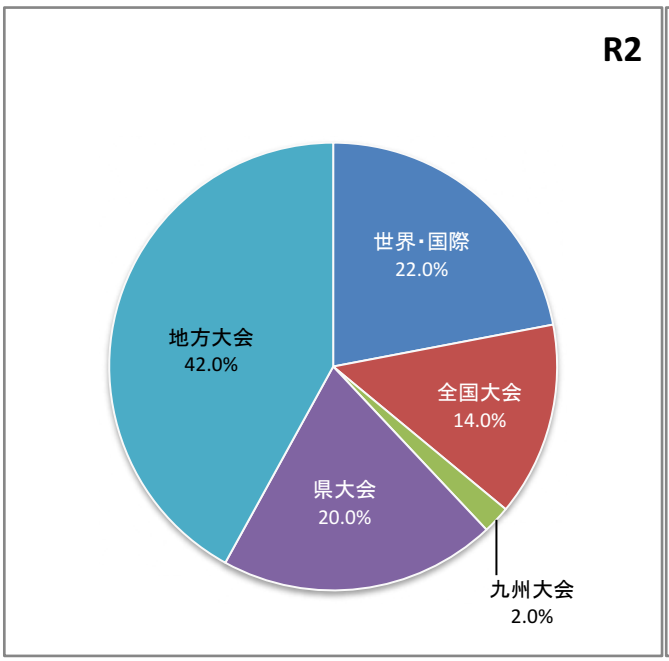


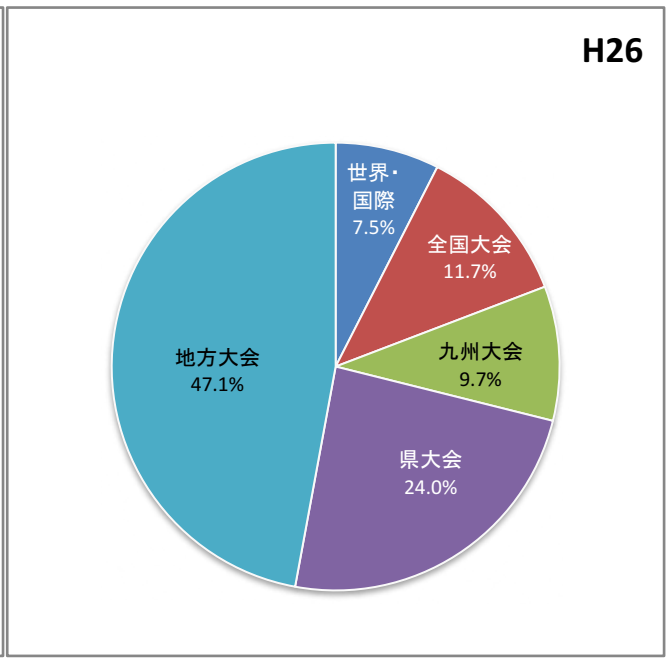
問10(SQ)　問9の質問で1・2・3・4を選んだ方は、そのスポーツ観戦はどのレベルの大会ですか。

※問9で一回以上の対象者　(R2)38　(H26)246

回答(複数回答可)	回答数		回答数に占める比率		回答者を占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
世界・国際大会レベル	11	23	22.0%	7.5%	28.9%	9.3%
全国大会レベル	7	36	14.0%	11.7%	18.4%	14.6%
九州大会レベル	1	30	2.0%	9.7%	2.6%	12.2%
県大会レベル	10	74	20.0%	24.0%	26.3%	30.1%
地方大会レベル	21	145	42.0%	47.1%	55.3%	58.9%
合計	50	308	100%	100%	131.5%	125.1%
無回答	1	0				



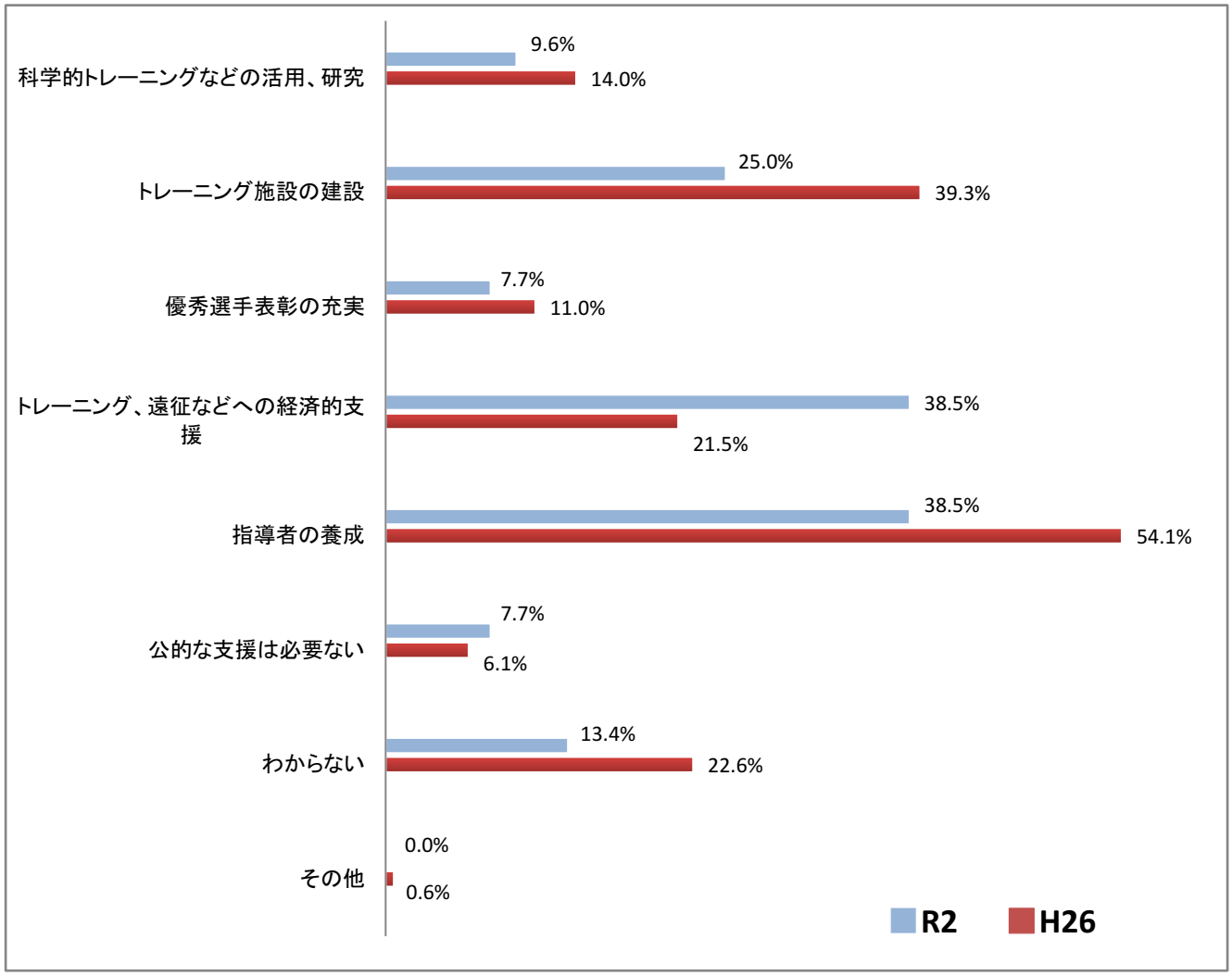




問11(SQ)　問9の質問で「5．0回」を選んだ方は、長洲町の選手が各種大会で活躍するためには、どのような公的支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

※ 5の0回の該当者(回答者) (R2)52 (H26)492(※H26は全対象となっている。)

回答(複数回答可)	回答数		回答数を占める比率		回答者を占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
科学的トレーニングなどの活用、研究	5	69	6.5%	7.4%	9.6%	14.0%
トレーニング施設の建設	13	195	16.9%	21.1%	25.0%	39.3%
優秀選手表彰の充実	4	54	5.2%	5.8%	7.7%	11.0%
トレーニング、遠征などへの経済的支援	20	199	26.0%	21.5%	38.5%	21.5%
指導者の養成	20	266	26.0%	28.7%	38.5%	54.1%
公的な支援は必要ない	4	30	5.2%	3.2%	7.7%	6.1%
わからない	11	111	14.3%	12.0%	13.4%	22.6%
その他	0	3	0.0%	0.3%	0.0%	0.6%
合計	77	927	100%	100%	140%	169%
無回答	1	34				



「その他」での記述内容

○　小学生は送迎を支援すべきだと思います。娘が小学生の時、ミニバスケをしていましたが、6年の時4校合同で1チームになりましたので、他校区の体育館に行くときに不便さを感じました。
　親としては送迎大変です。この不便さが無くなれば、もっとクラブの加入者が増えるのではないかと思います。

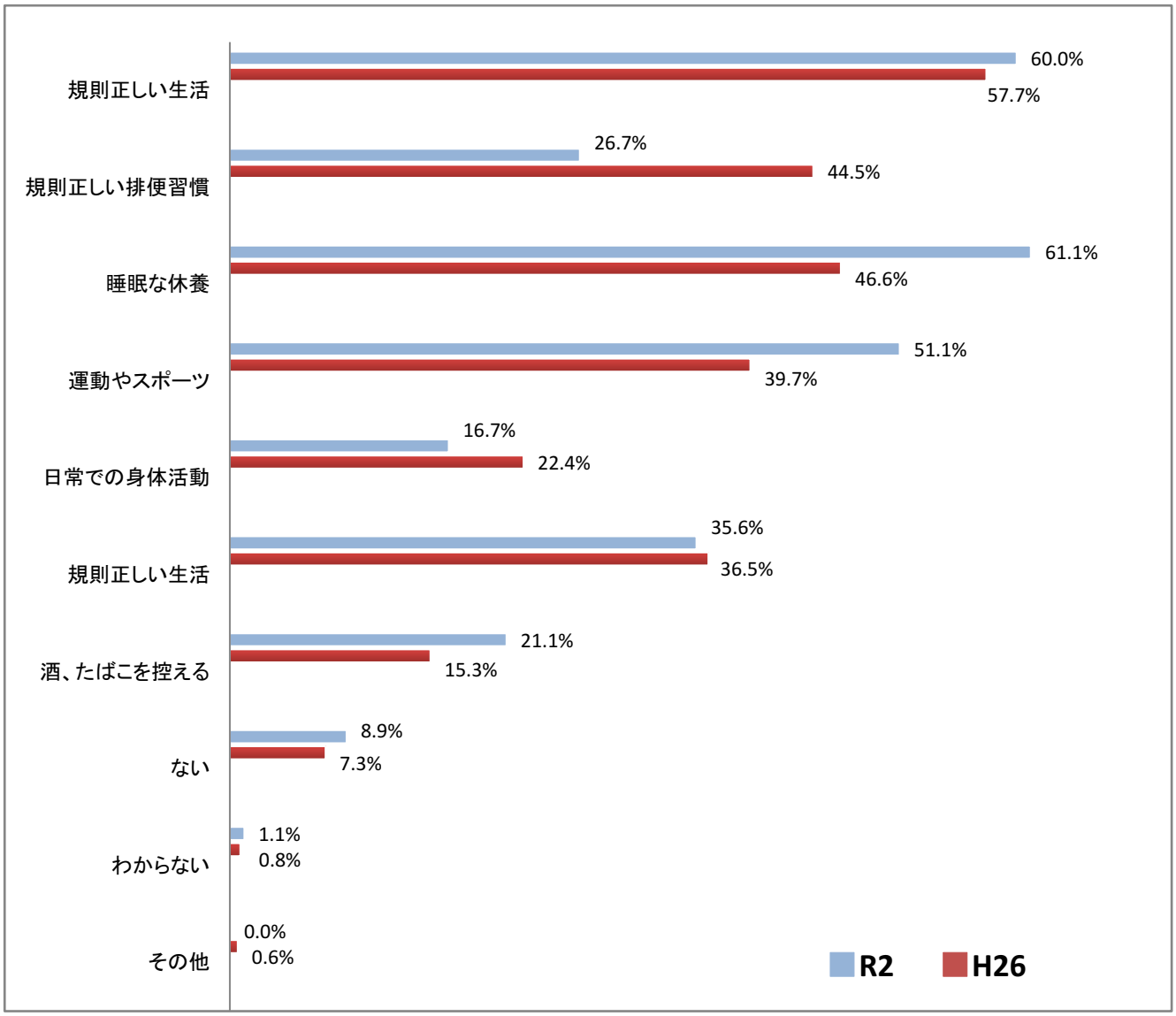
○　充実していると思います。

4 健康や体力づくりの意識について

問12　日頃ご自分の健康や体力の維持増進のために、何か心掛けていることがありますか。（複数回答可）

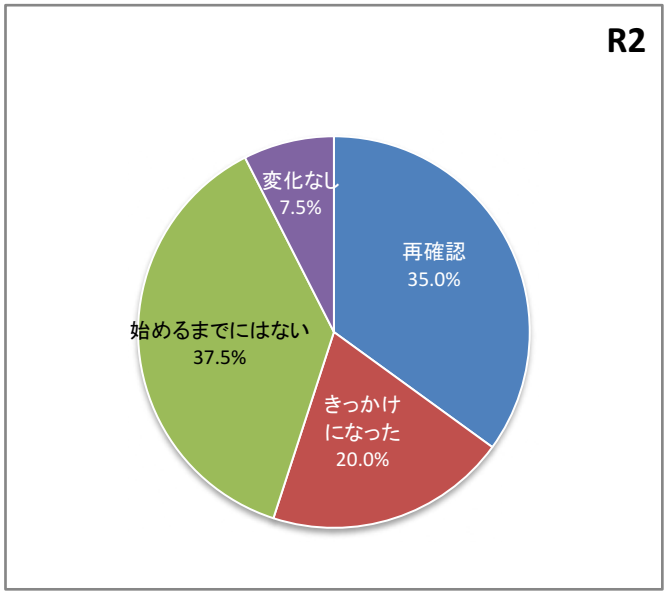
※回答者　（R2）90　（H26）620

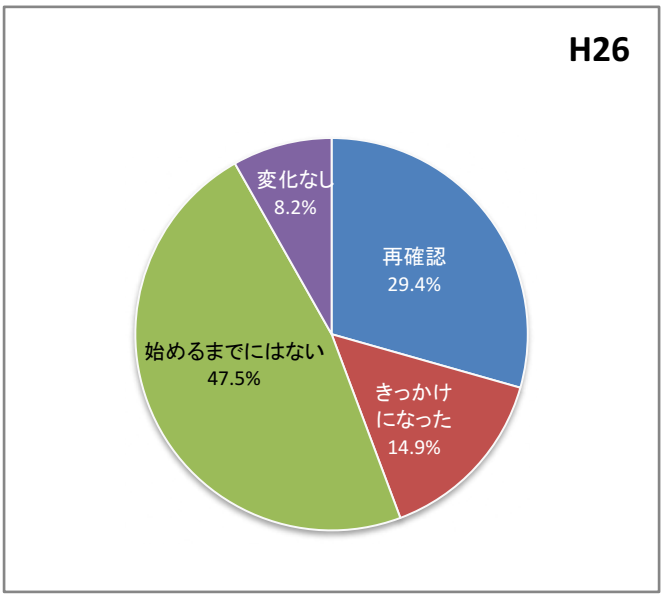
回答（複数回答可）	回答数		回答数を占める比率		回答者を占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
規則正しい生活	54	358	21.3%	21.3%	60.0%	57.7%
規則正しい排便習慣	24	276	9.4%	16.4%	26.7%	44.5%
睡眠な休養	55	289	21.7%	17.2%	61.1%	46.6%
運動やスポーツ	46	246	18.1%	14.6%	51.1%	39.7%
日常での身体活動	15	139	5.9%	8.3%	16.7%	22.4%
規則正しい生活	32	226	12.6%	13.4%	35.6%	36.5%
酒、たばこを控える	19	95	7.5%	5.6%	21.1%	15.3%
ない	8	45	3.1%	2.7%	8.9%	7.3%
わからない	1	5	0.4%	0.3%	1.1%	0.8%
その他	0	4	0.0%	0.2%	0.0%	0.6%
合計	254	1683	100%	100%	282.3%	271.4%
無回答	0	3				



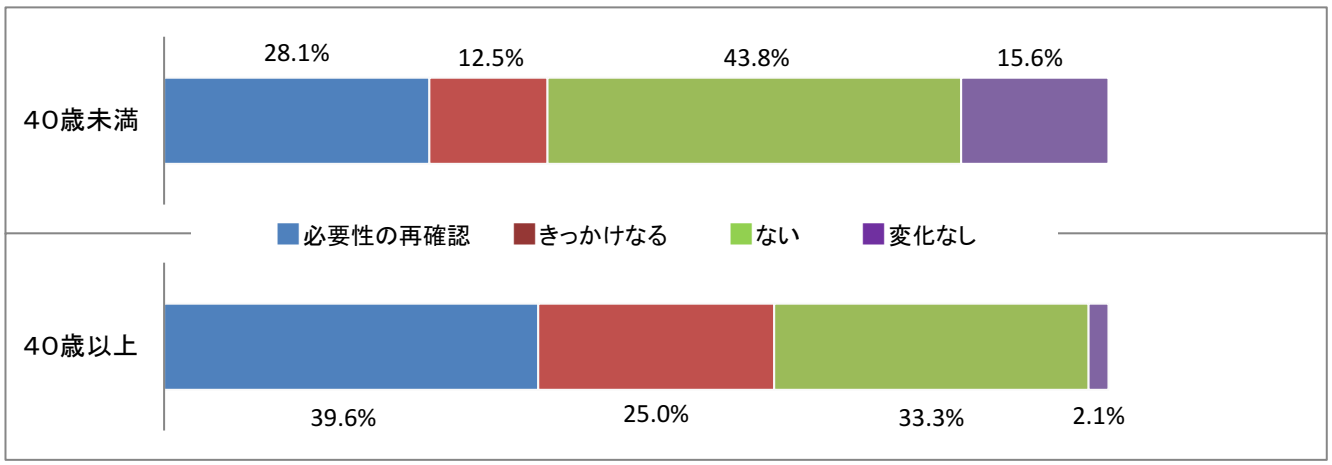
問13　メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査・特定保健指導」は、運動の必要性を考えるきっかけになっていますか。（複数回答可）

回答（単一回答）	回答数		回答数を占める比率	
	R2	H26	R2	H26
継続する必要性を再確認	28	165	35.0%	29.4%
始めるきっかけになった	16	84	20.0%	14.9%
始めるまでにはない	30	267	37.5%	47.5%
変化はない	6	46	7.5%	8.2%
合計	80	562	100%	100%
無回答	10	61		





回答（単一回答）	回答数			回答数に占める比率		
	40歳未満	40歳以上	年代不明	40歳未満	40歳以上	年代不明
継続する必要性を再確認	9	19	0	28.1%	39.6%	0
始めるきっかけになった	4	12	0	12.5%	25.0%	0
始めるまでにはない	14	16	0	43.8%	33.3%	0
変化はない	5	1	0	15.6%	2.1%	0
合計	32	48	0	100%	100%	0
回答	4	6				



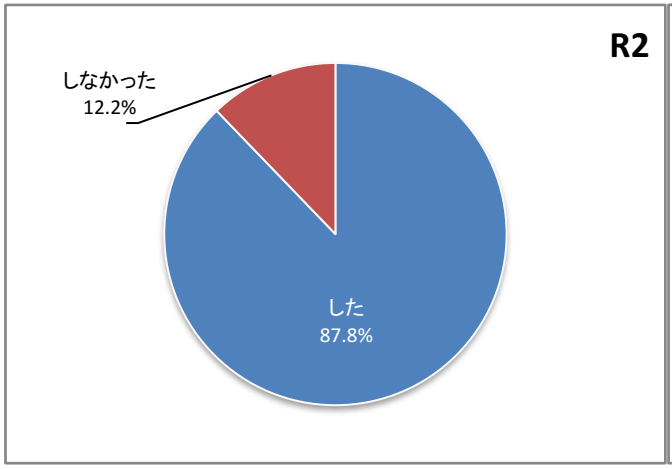
5 運動やスポーツの実施状況について

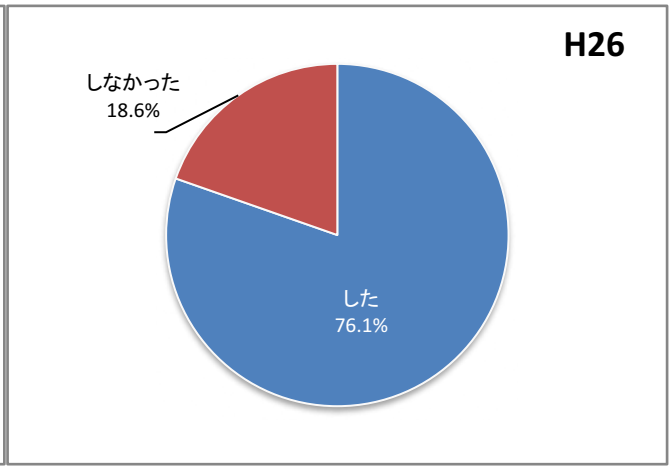
問14　この一年間で、一回に30分以上行った運動やスポーツがあれば全部上げてください。

通勤等で片道15分（往復30分）以上の徒歩等のように、連続的・断続的にかかわらず意識的に体を動かしている場合は、運動とする。　ただし、学校の体育授業や、職業は含まない。

●スポーツをしなかった人の割合

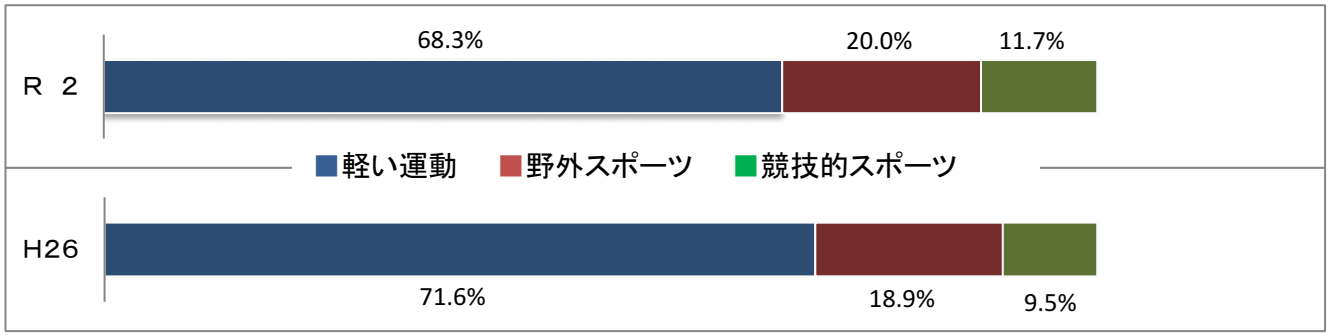
回答	回答数		回答者に占める比率	
	した	しなかった	した	しなかった
R2	79	11	87.8%	12.2%
H26	474	116	76.1%	18.6%

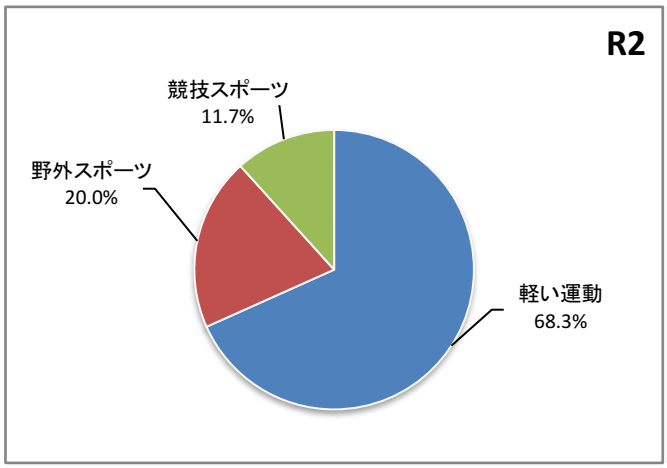


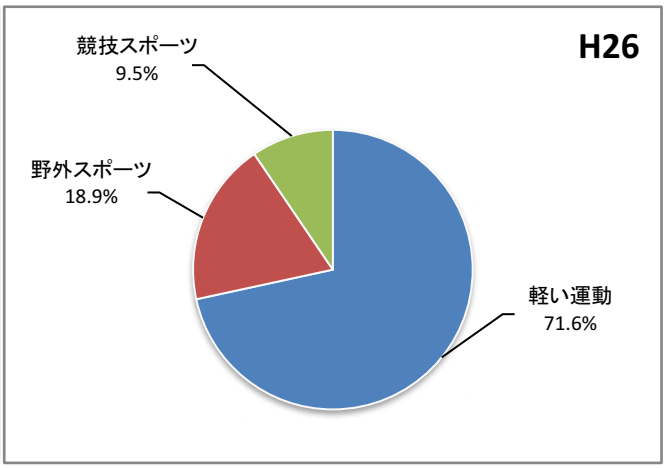


●実施したスポーツの割合

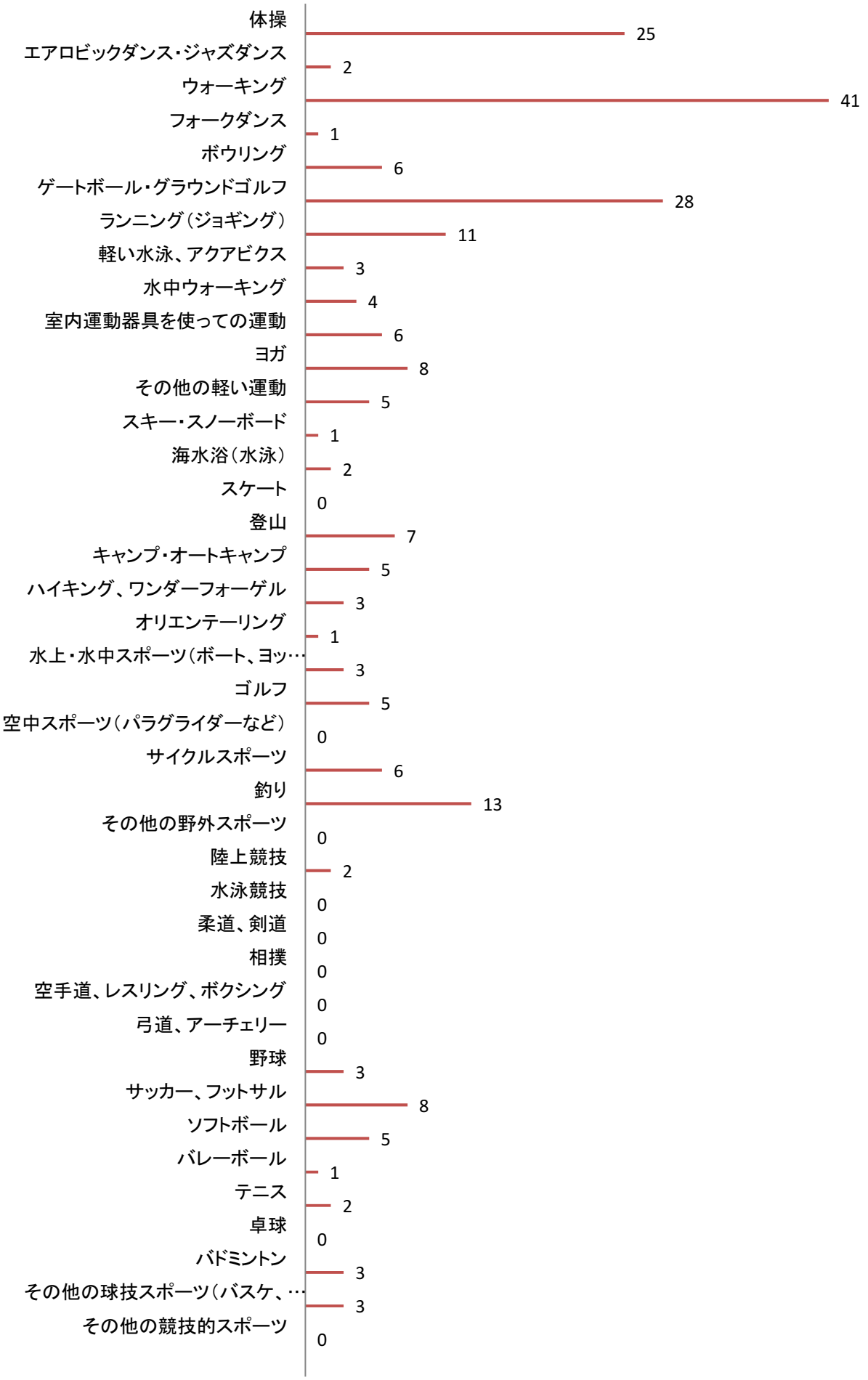
	回答数（複数回答可）			回答者に占める比率		
	軽い運動	野外スポーツ	競技スポーツ	軽い運動	野外スポーツ	競技スポーツ
R 2	15	46	27	68.3%	20.0%	11.7%
H26	757	200	100	71.6%	18.9%	9.5%







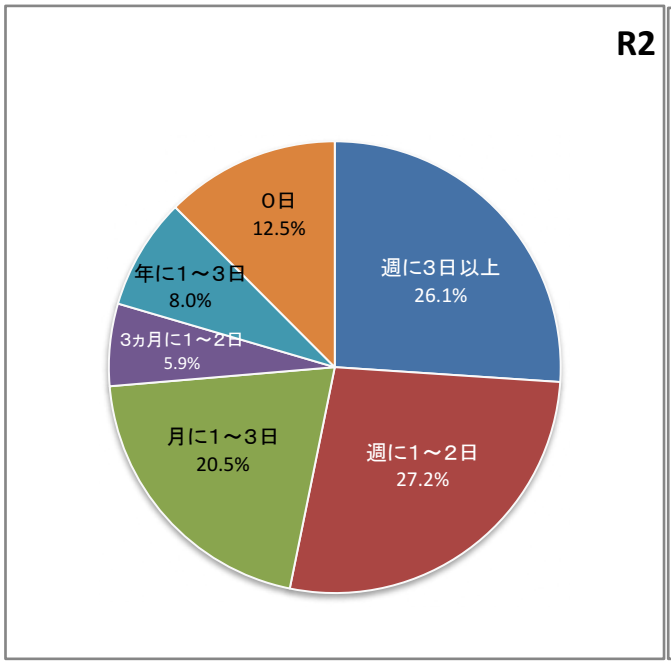
● 行ったスポーツの種類

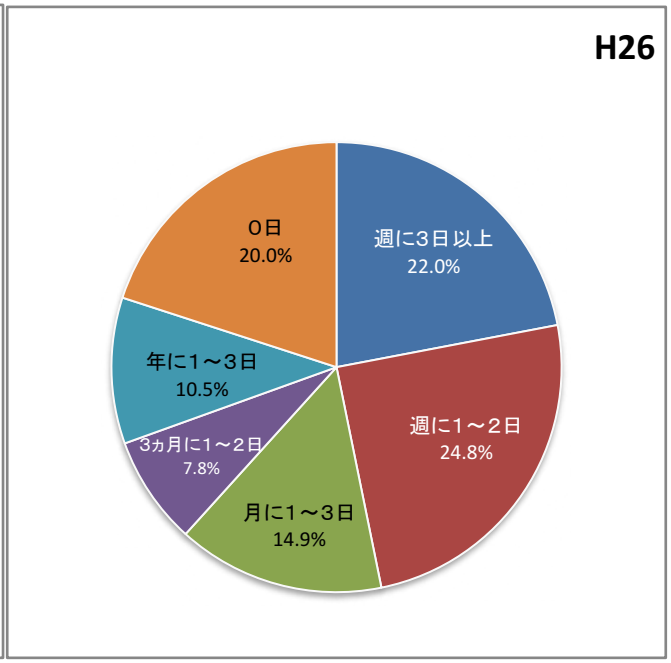

体操 25
エアロビックダンス・ジャズダンス 2
ウォーキング 41
フォークダンス 1
ボウリング 6
ゲートボール・グラウンドゴルフ 28
ランニング（ジョギング） 11
軽い水泳、アクアビクス 3
水中ウォーキング 4
室内運動器具を使っての運動 6
ヨガ 8
その他の軽い運動 5
スキー・スノーボード 1
海水浴（水泳） 2
スケート 0
登山 7
キャンプ・オートキャンプ 5
ハイキング、ワンダーフォーゲル 3
オリエンテーリング 1
水上・水中スポーツ（ボート、ヨッ… 3
ゴルフ 5
空中スポーツ（パラグライダーなど） 0
サイクルスポーツ 6
釣り 13
その他の野外スポーツ 0
陸上競技 2
水泳競技 0
柔道、剣道 0
相撲 0
空手道、レスリング、ボクシング 0
弓道、アーチェリー 0
野球 3
サッカー、フットサル 8
ソフトボール 5
バレーボール 1
テニス 2
卓球 0
バドミントン 3
その他の球技スポーツ（バスケ、… 3
その他の競技的スポーツ 0

問14-1（SQa）　その運動やスポーツを行った日数は、どのくらいですか。

※問14で「しなかった」の回答者を0日で加えて集計

回答（単一回答）	回答数		回答者を占める比率	
	R2	H26	R2	H26
週に3日以上	23	124	26.1%	22.0%
週に1～2日	24	140	27.2%	24.8%
月に1～3日	18	84	20.5%	14.9%
3ヵ月に1～2日	5	44	5.9%	7.8%
年に1～3日	7	59	8.0%	10.5%
0日	11	113	12.5%	20.0%
合計	88	564	100%	100%

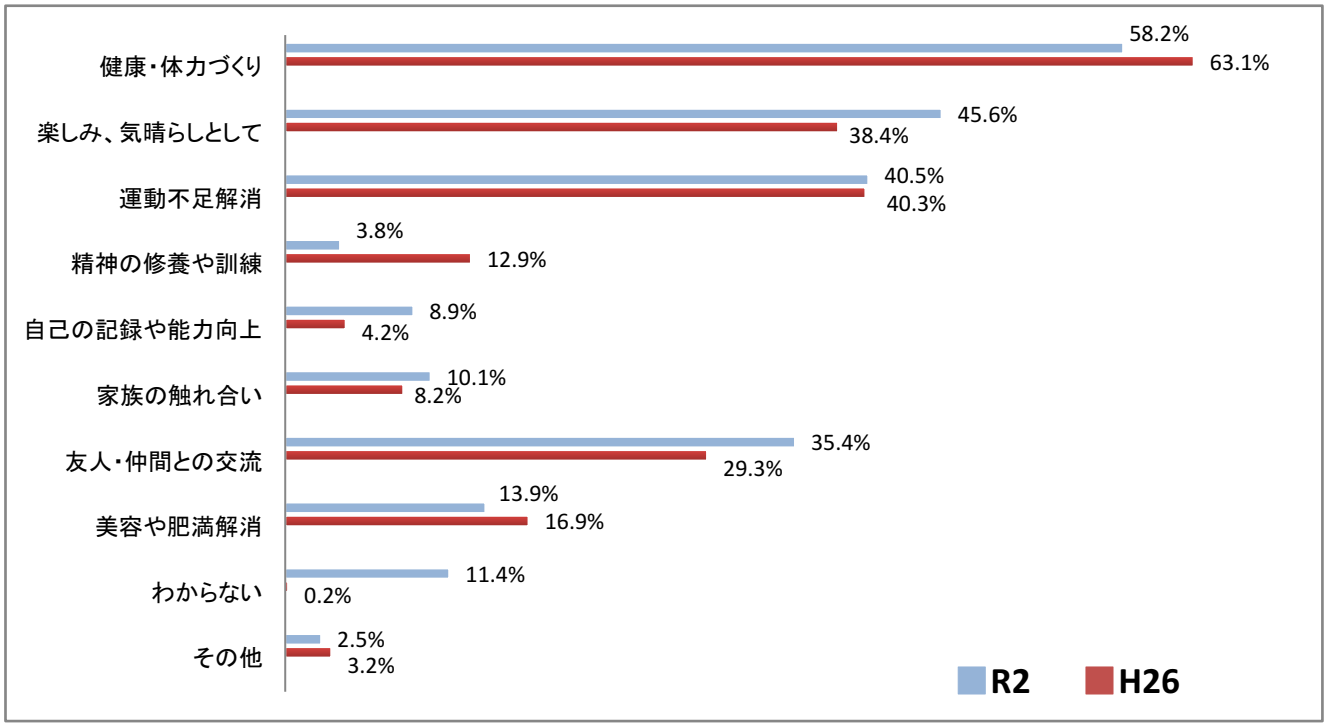


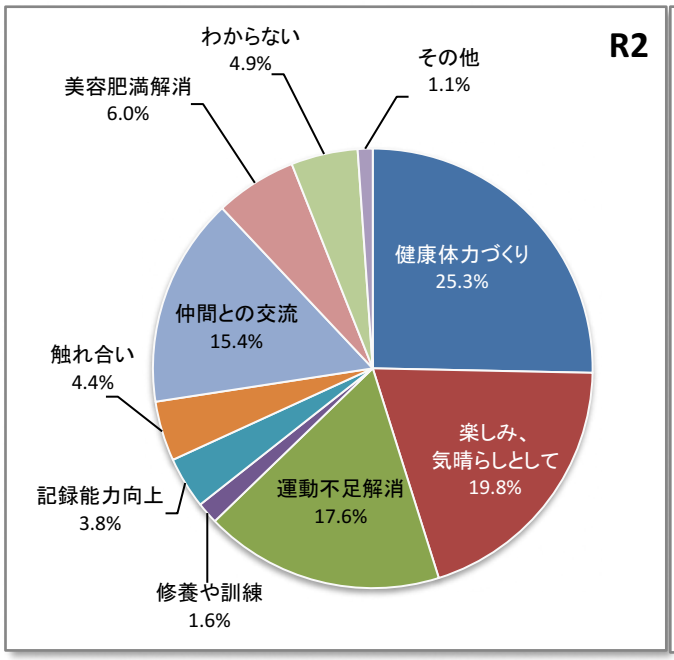


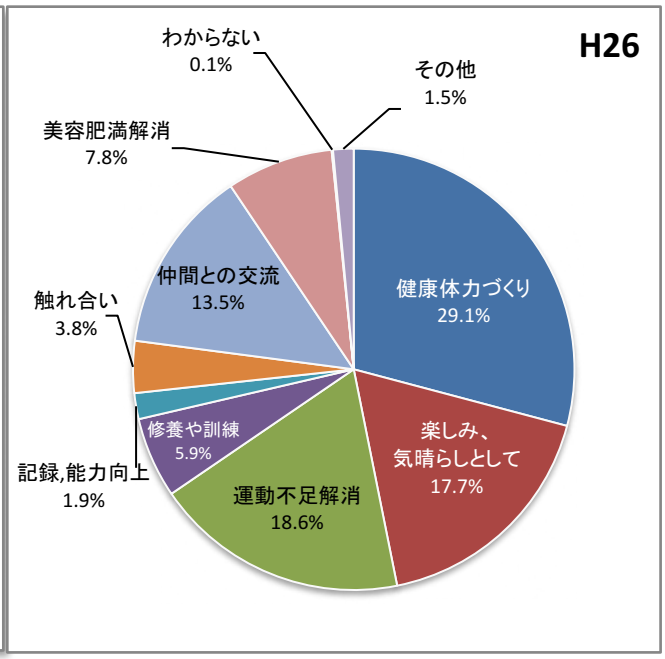
問14-2（SQb）　運動やスポーツをしたのは、どのような理由からですか。(3つまで回答)

※回答者　（R2）79　（H26）474

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
健康・体力づくり	46	299	25.3%	29.1%	58.2%	63.1%
楽しみ、気晴らしとして	36	182	19.8%	17.7%	45.6%	38.4%
運動不足解消	32	191	17.6%	18.6%	40.5%	40.3%
精神の修養や訓練	3	61	1.6%	5.9%	3.8%	12.9%
自己の記録や能力向上	7	20	3.8%	1.9%	8.9%	4.2%
家族の触れ合い	8	39	4.4%	3.8%	10.1%	8.2%
友人・仲間との交流	28	139	15.4%	13.5%	35.4%	29.3%
美容や肥満解消	11	80	6.0%	7.8%	13.9%	16.9%
わからない	9	1	4.9%	0.1%	11.4%	0.2%
その他	2	15	1.1%	1.5%	2.5%	3.2%
合計	182	1027	100%	100%	230.3%	216.7%
無回答	0	13				



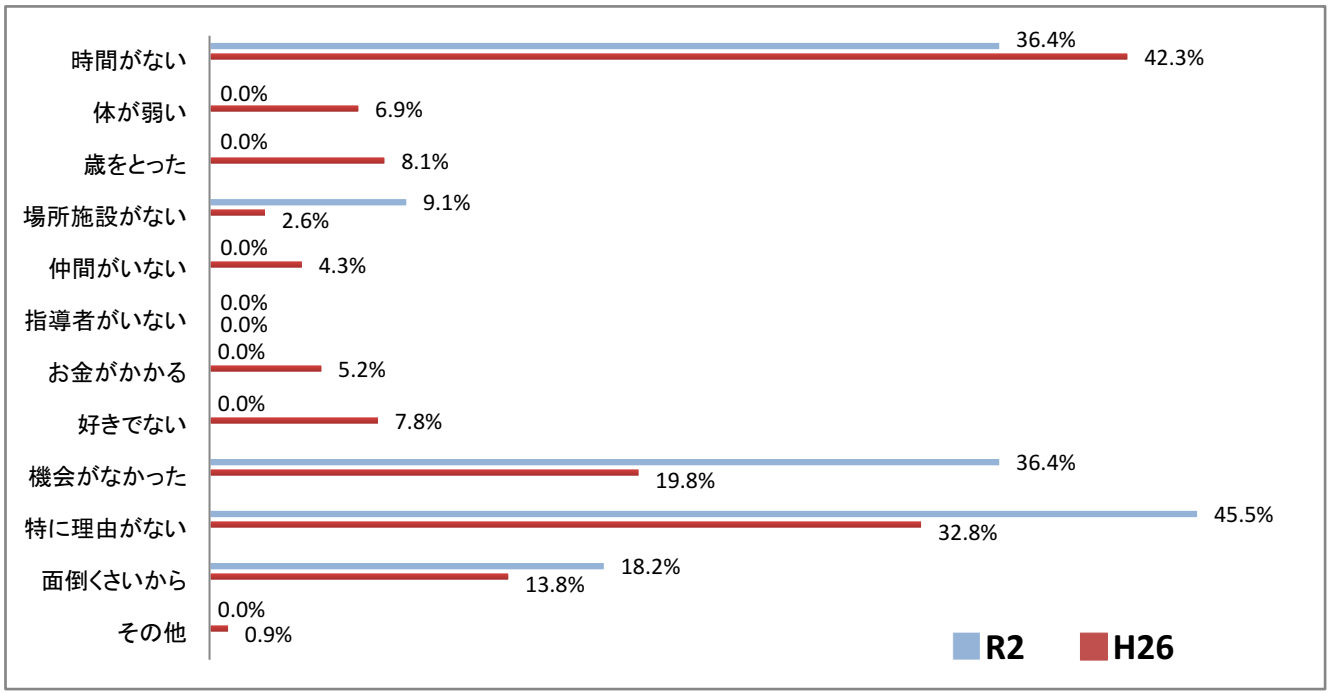


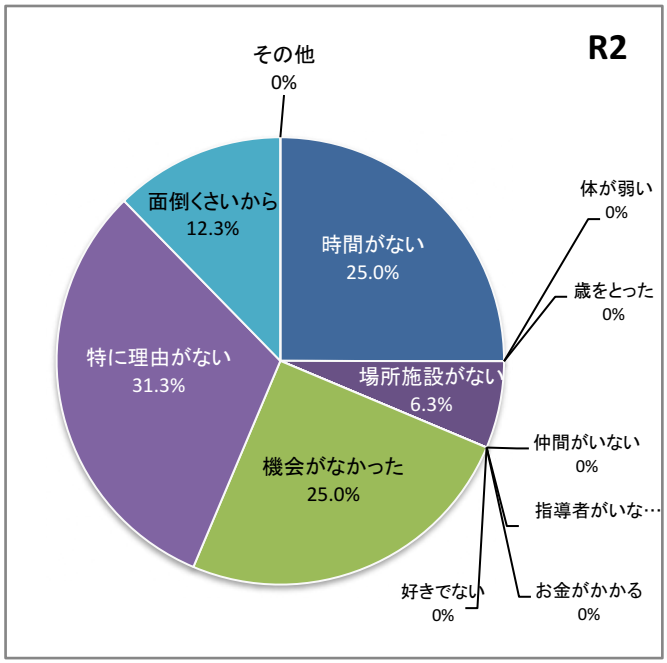


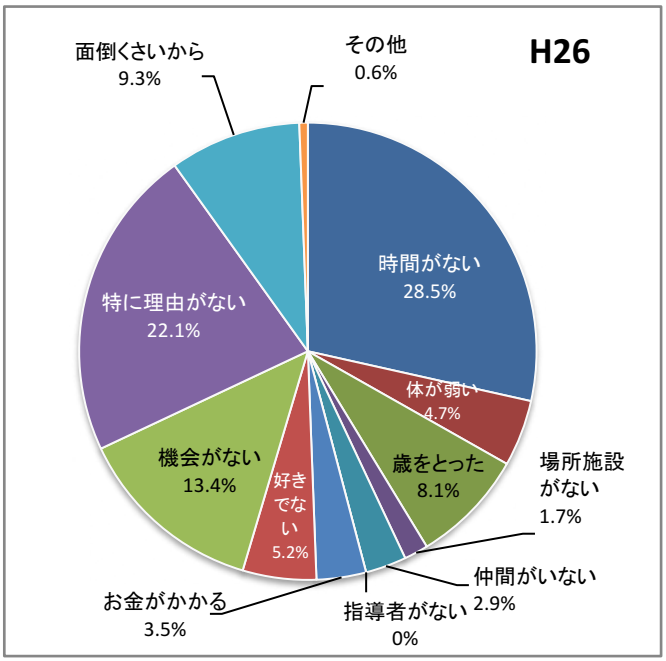
問14-3(SQc)　運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。(3つまで回答)

※回答者　(R2)11　　(H26)116

回答(複数回答可)	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
時間がない	4	49	25.0%	28.5%	36.4%	42.3%
体が弱い	0	8	0.0%	4.7%	0.0%	6.9%
歳をとった	0	14	0.0%	8.1%	0.0%	8.1%
場所施設がない	1	3	6.3%	1.7%	9.1%	2.6%
仲間がいない	0	5	0.0%	2.9%	0.0%	4.3%
指導者がいない	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
お金がかかる	0	6	0.0%	3.5%	0.0%	5.2%
好きでない	0	9	0.0%	5.2%	0.0%	7.8%
機会がなかった	4	23	25.0%	13.4%	36.4%	19.8%
特に理由がない	5	38	31.3%	22.1%	45.5%	32.8%
面倒くさいから	2	16	12.3%	9.3%	18.2%	13.8%
その他	0	1	0.0%	0.6%	0.0%	0.9%
合計	16	172	100%	100%	145.6%	145%



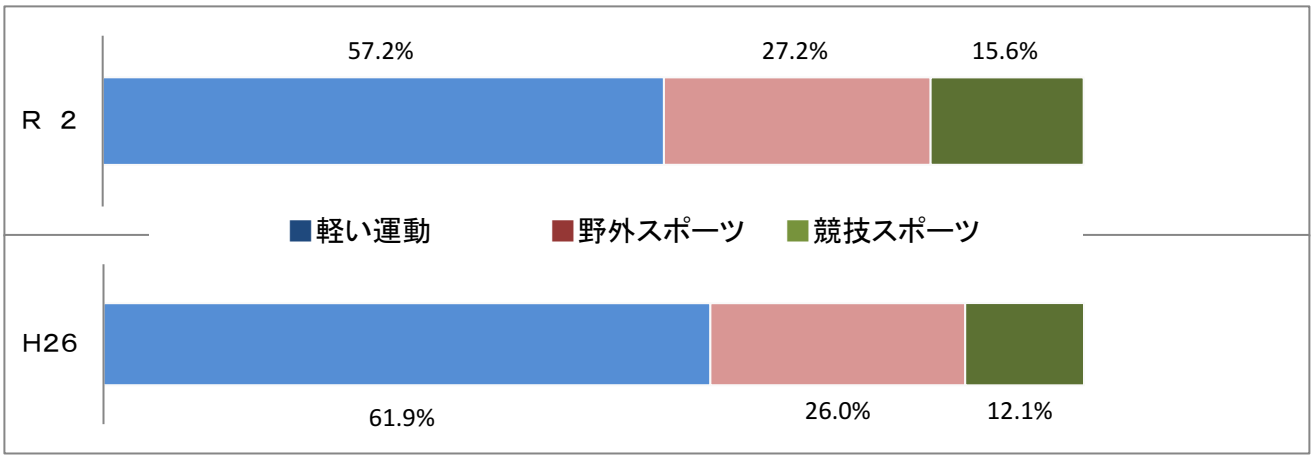




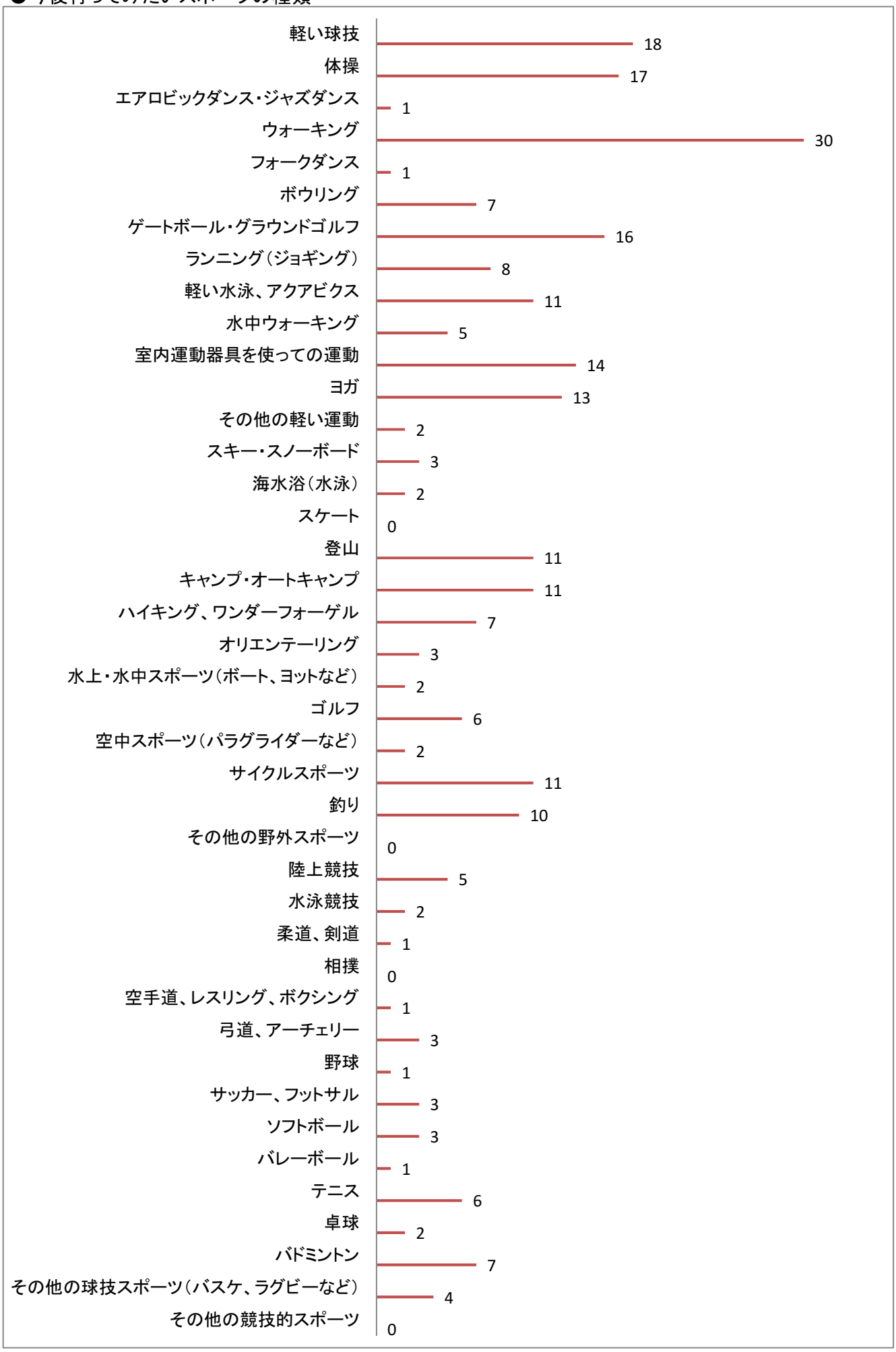
問15　現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思う運動やスポーツがありますか。
（複数回答）

●今後行ってみたいスポーツの割合　※回答数　（R2）250　（H26）1331

	回答数（複数回答可）			回答者に占める比率		
	軽い運動	野外スポーツ	競技スポーツ	軽い運動	野外スポーツ	競技スポーツ
R 2	143	68	39	57.2%	27.2%	15.6%
H26	824	346	161	61.9%	26.0%	12.1%



●今後行ってみたいスポーツの種類

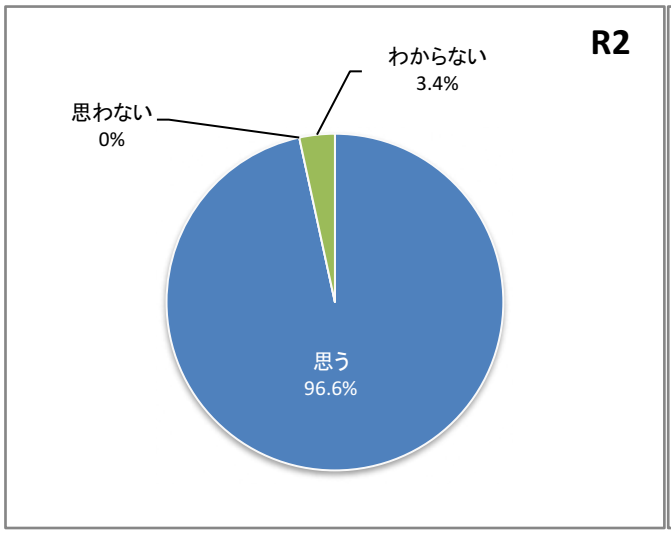


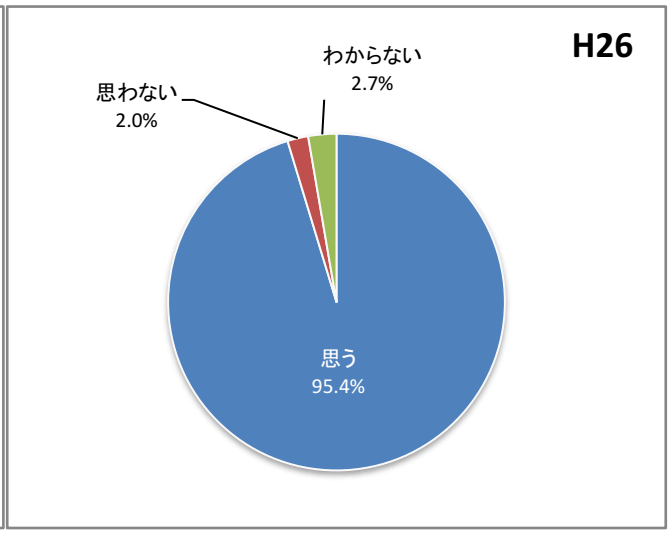
6 幼児期・児童生徒の体力について

問16　幼児期から、遊びやからだを動かす習慣をつけた方がいいと思いますか。(単一回答)

※ 回答者 (R2)90　(H26)601

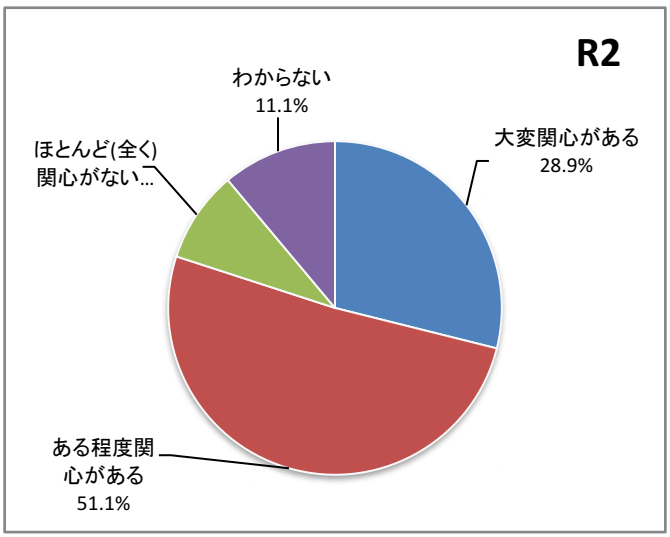
回答(単一回答)	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
思う	86	573	96.6%	95.4%
思わない	0	12	0.0%	2.0%
わからない	3	16	3.4%	2.7%
合計	89	601	100%	100%
無回答	1	22		

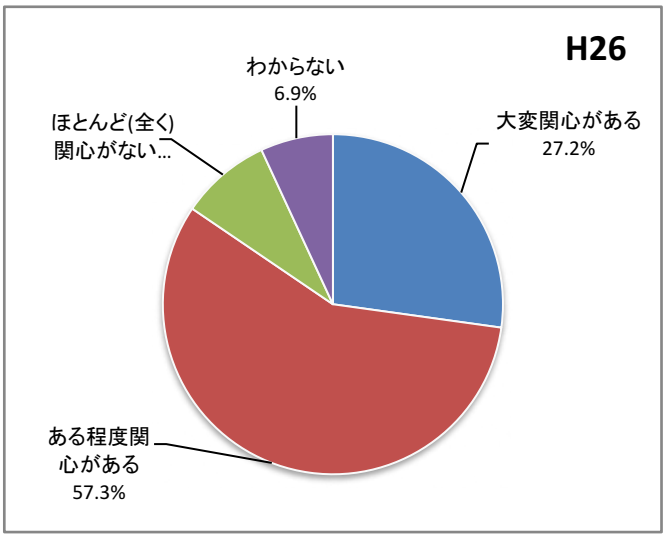




問17　小中・高等学校の児童生徒の体力低下が課題となっていますが、このことに関してどう思いますか。(単一回答)

回答(単一回答)	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
大変関心がある	26	162	28.9%	27.2%
ある程度関心がある	46	341	51.1%	57.3%
ほとんど(全く)関心がない	8	51	8.9%	8.6%
わからない	10	41	11.1%	6.9%
合計	90	595	100%	100%
無回答	0	28		

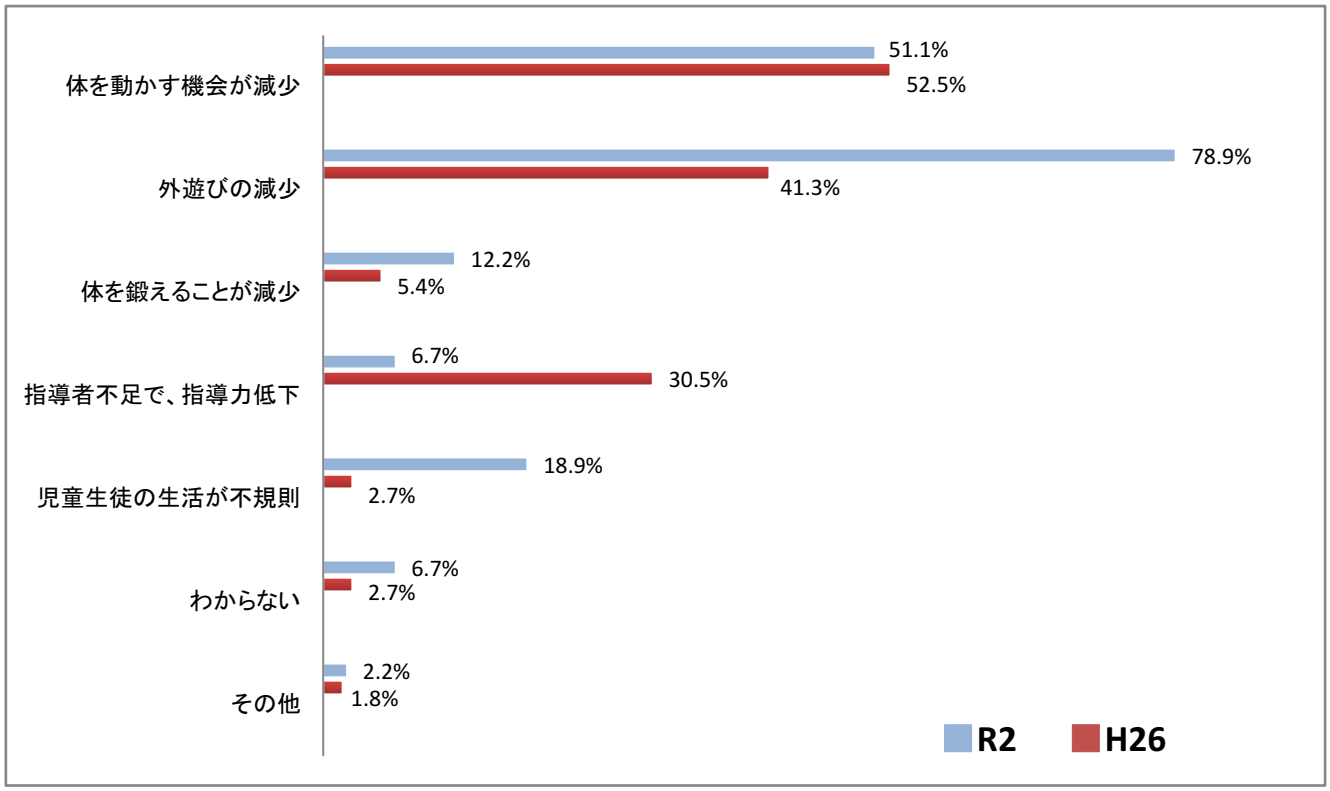


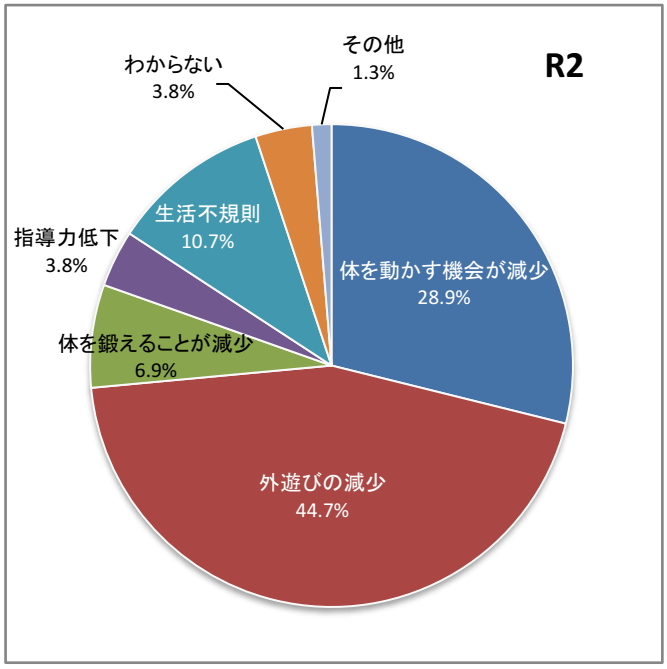


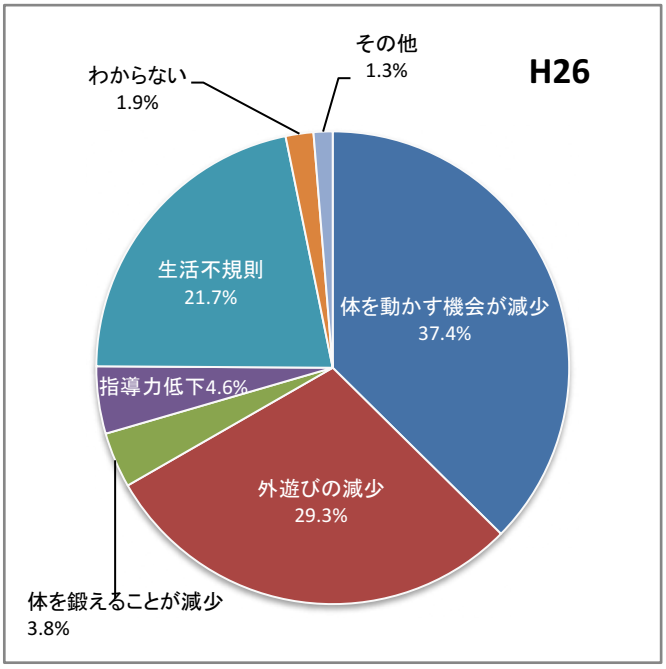
問18　児童生徒の体力低下の原因を、どのようにお考えですか。(2つまで)

※回答者　(R2)90　(H26)596

回答(2つまで回答可)	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
体を動かす機会が減少	46	313	28.9%	37.4%	51.1%	52.5%
外遊びの減少	71	246	44.7%	29.3%	78.9%	41.3%
体を鍛えることが減少	11	32	6.9%	3.8%	12.2%	5.4%
指導者不足で、指導力低下	6	39	3.8%	4.6%	6.7%	30.5%
児童生徒の生活が不規則	17	182	10.7%	21.7%	18.9%	2.7%
わからない	6	16	3.8%	1.9%	6.7%	2.7%
その他	2	11	1.3%	1.3%	2.2%	1.8%
合計	159	839	100%	100%	176.7%	136.9%
無回答	0	27				



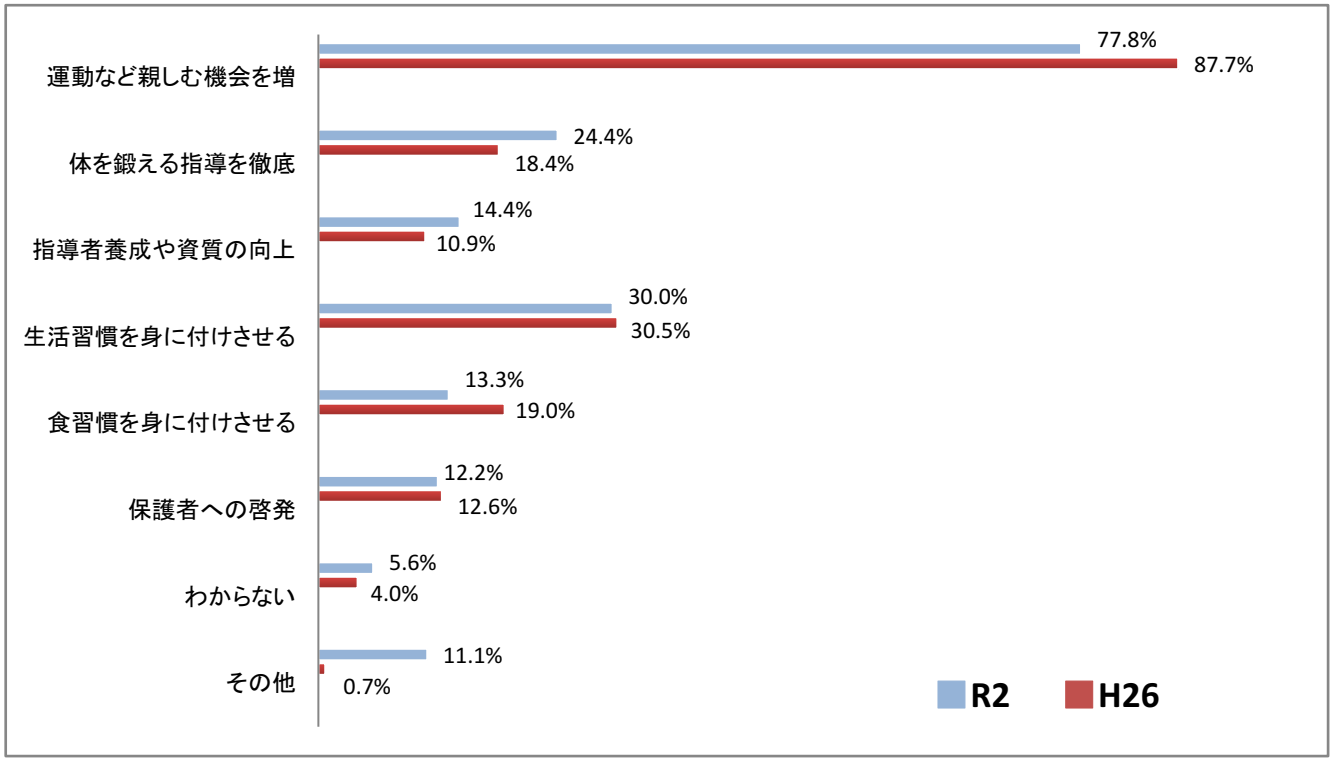


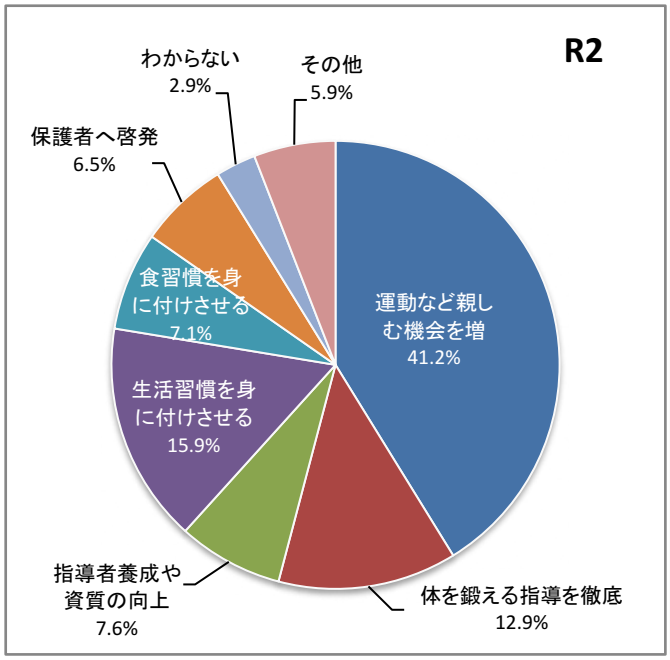


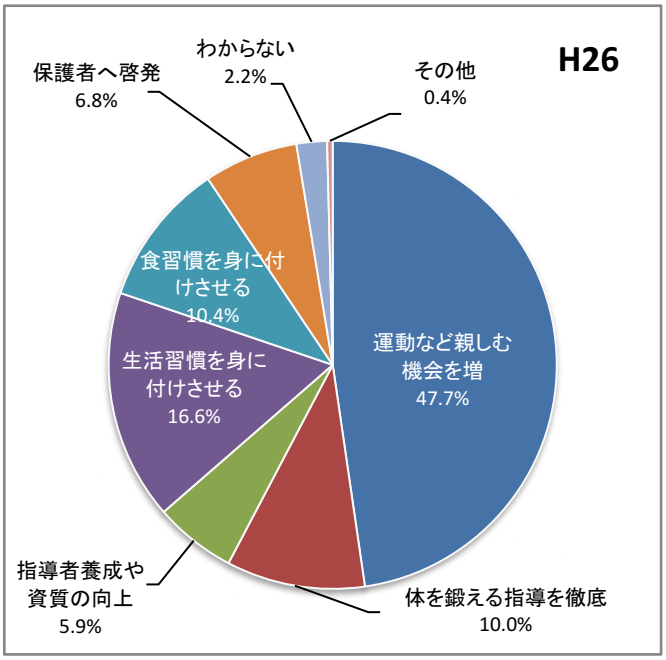
問19　児童生徒の体力を向上させるためには、どのようにしたらよいと思いますか。(2つまで)

※回答者　(R2)90　(H26)604

回答(2つまで回答可)	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
運動など親しむ機会を増	70	530	41.2%	47.7%	77.8%	87.7%
体を鍛える指導を徹底	22	111	12.9%	10.0%	24.4%	18.4%
指導者養成や資質の向上	13	66	7.6%	5.9%	14.4%	10.9%
生活習慣を身に付けさせる	27	184	15.9%	16.6%	30.0%	30.5%
食習慣を身に付けさせる	12	115	7.1%	10.4%	13.3%	19.0%
保護者への啓発	11	76	6.5%	6.8%	12.2%	12.6%
わからない	5	24	2.9%	2.2%	5.6%	4.0%
その他	10	4	5.9%	0.4%	11.1%	0.7%
合計	170	1,110	100%	100%	188.8%	183.8%
無回答	0	19				





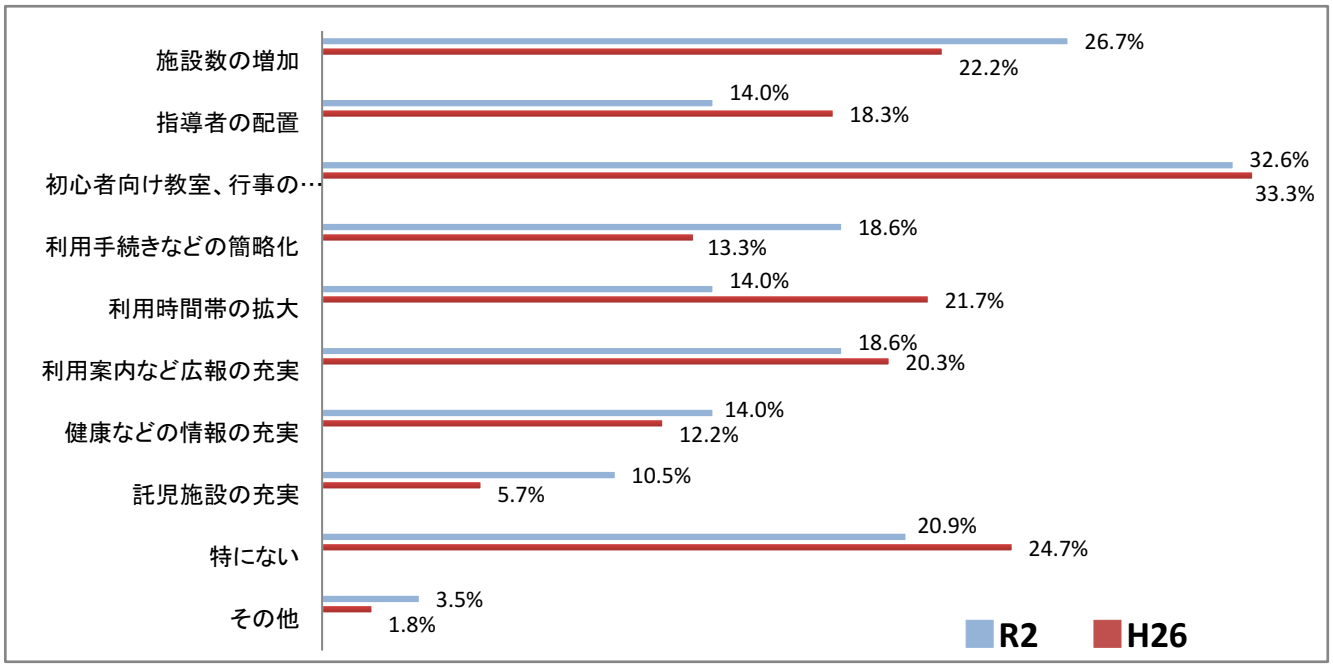


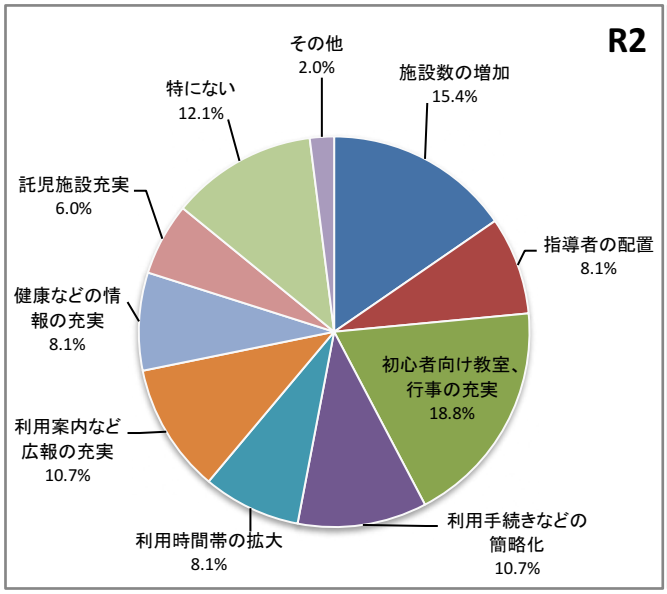
7　スポーツ施設について

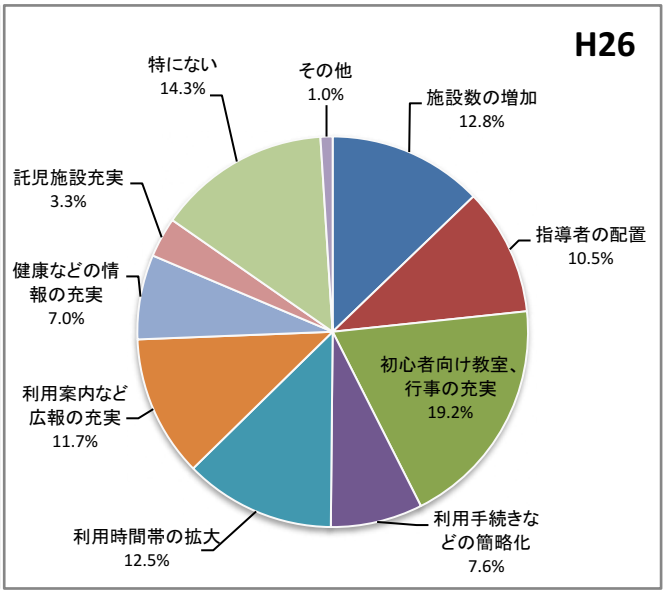
問20　町の体育館、温水プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。（複数回答可）

※回答者　（R2）86　（H26）558

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
施設数の増加	23	124	15.4%	12.8%	26.7%	22.2%
指導者の配置	12	102	8.1%	10.5%	14.0%	18.3%
初心者向け教室、行事の充実	28	186	18.8%	19.2%	32.6%	33.3%
利用手続きなどの簡略化	16	74	10.7%	7.6%	18.6%	13.3%
利用時間帯の拡大	12	121	8.1%	12.5%	14.0%	21.7%
利用案内など広報の充実	16	113	10.7%	11.7%	18.6%	20.3%
健康などの情報の充実	12	68	8.1%	7.0%	14.0%	12.2%
託児施設の充実	9	32	6.0%	3.3%	10.5%	5.7%
特にない	18	138	12.1%	14.3%	20.9%	24.7%
その他	3	10	2.0%	1.0%	3.5%	1.8%
合計	149	968	100%	100%	173.4%	173.5%
無回答	4	65				



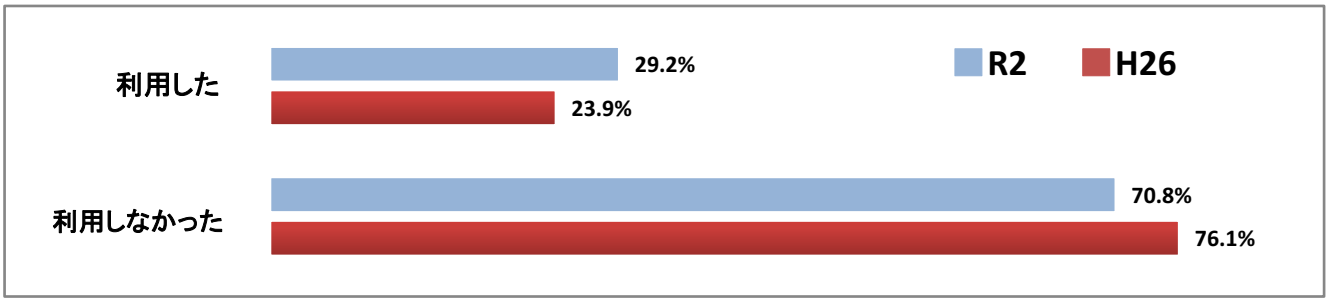




問21　この1年に長洲町の小中学校の体育施設（運動場、体育館）を運動、スポーツのために利用しましたか。

※学校主催による運動会への参加は除く

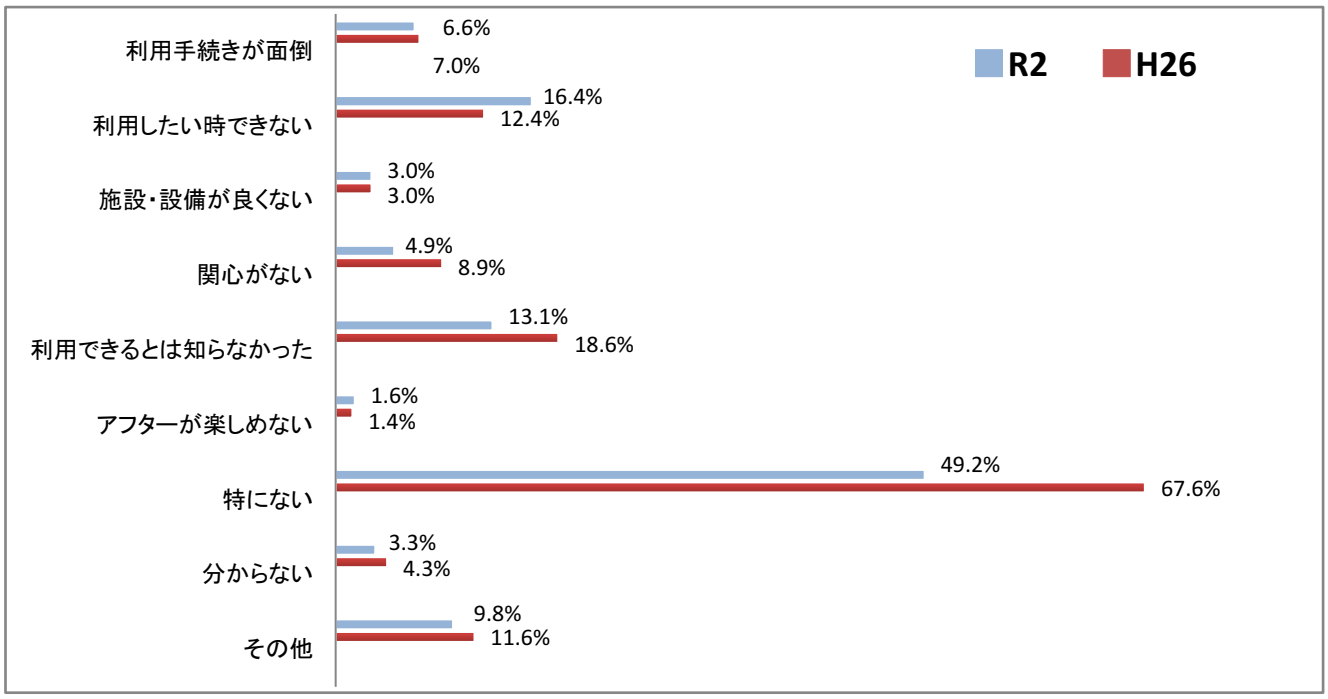
回答（単一回答）	回答数		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
利用した	26	116	29.2%	23.9%
利用しなかった	63	370	70.8%	76.1%
合計	89	486	100%	100%
無回答	1	137		

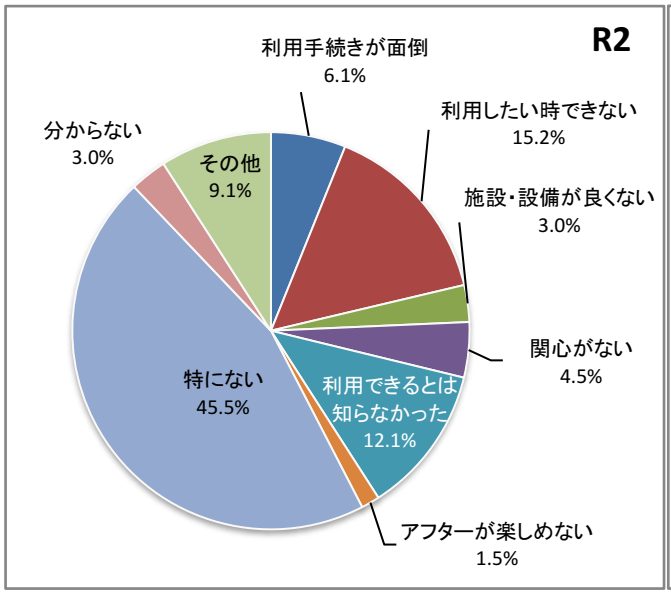


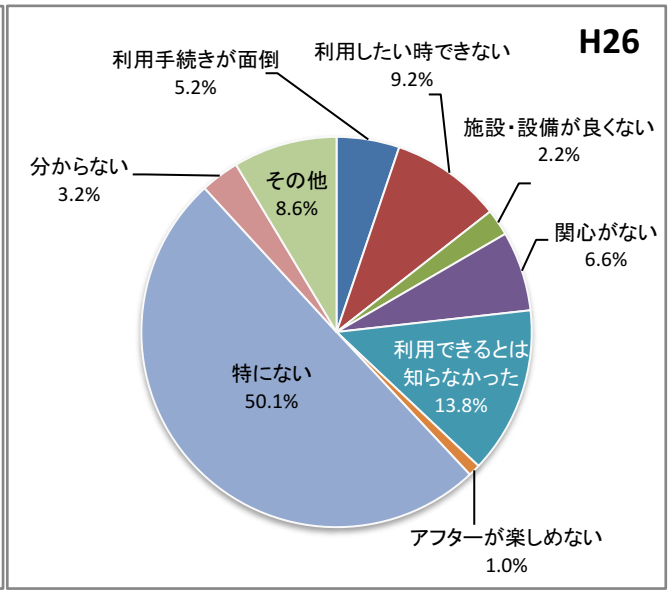
問21-1（SQ）　利用しなった理由があるとすれば、どのようなことですか。(複数回答可)

※回答者　(R2)61　(H26)370

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
利用手続きが面倒	4	26	6.1%	5.2%	6.6%	7.0%
利用したい時できない	10	46	15.2%	9.2%	16.4%	12.4%
施設・設備が良くない	2	11	3.0%	2.2%	3.0%	3.0%
関心がない	3	33	4.5%	6.6%	4.9%	8.9%
利用できるとは知らなかった	8	69	12.1%	13.8%	13.1%	18.6%
アフターが楽しめない	1	5	1.5%	1.0%	1.6%	1.4%
特にない	30	250	45.5%	50.1%	49.2%	67.6%
分からない	2	16	3.0%	3.2%	3.3%	4.3%
その他	6	43	9.1%	8.6%	9.8%	11.6%
合計	66	499	100%	100%	107.9%	134.8%
無回答	2	0				



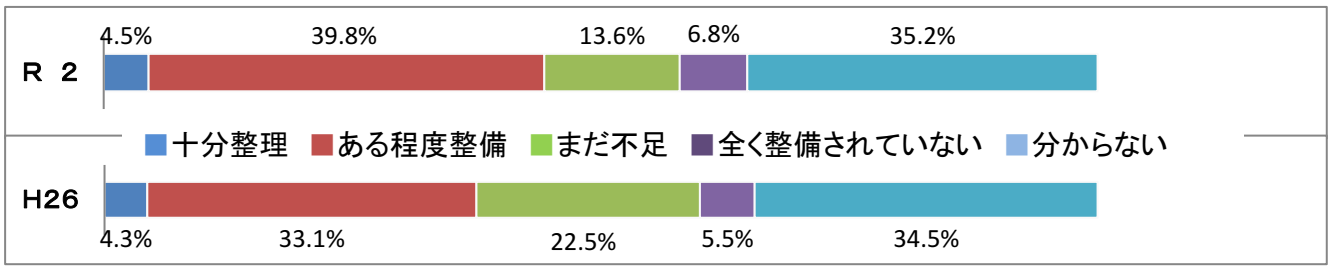


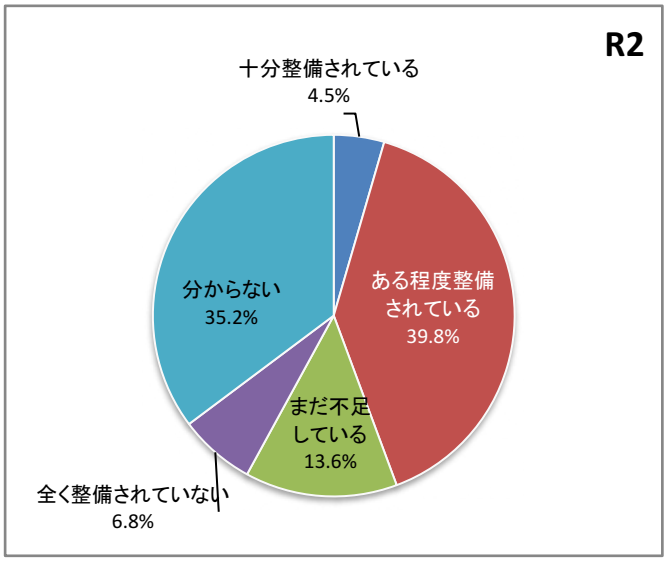


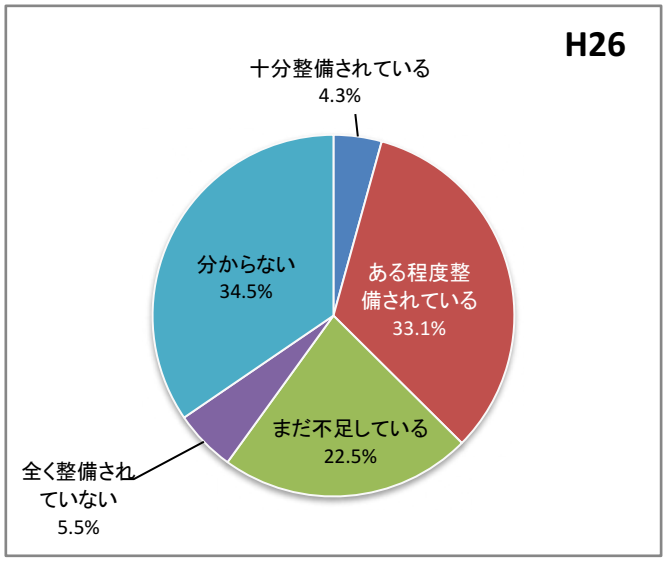
8 高齢者、障がい者のスポーツ環境について

問22　高齢者の方々が運動やスポーツを気軽にできる環境が整備されていると思いますか。

回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R 2	H26	R 2	H26
十分整備されている	4	25	4.5%	4.3%
ある程度整備されている	35	191	39.8%	33.1%
まだ不足している	12	130	13.6%	22.5%
全く整備されていない	6	32	6.8%	5.5%
分からない	31	199	35.2%	34.5%
合計	88	577	100%	100%
無回答	2	46		



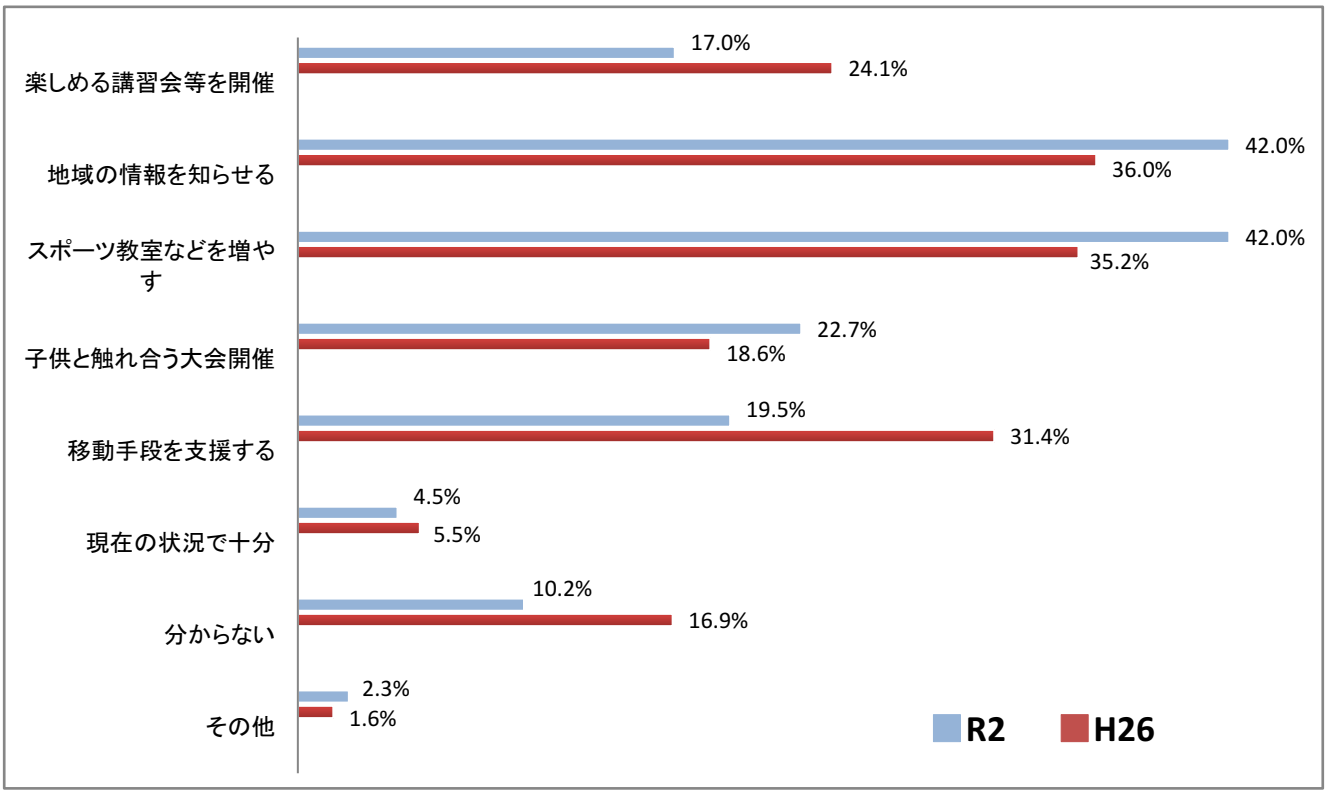


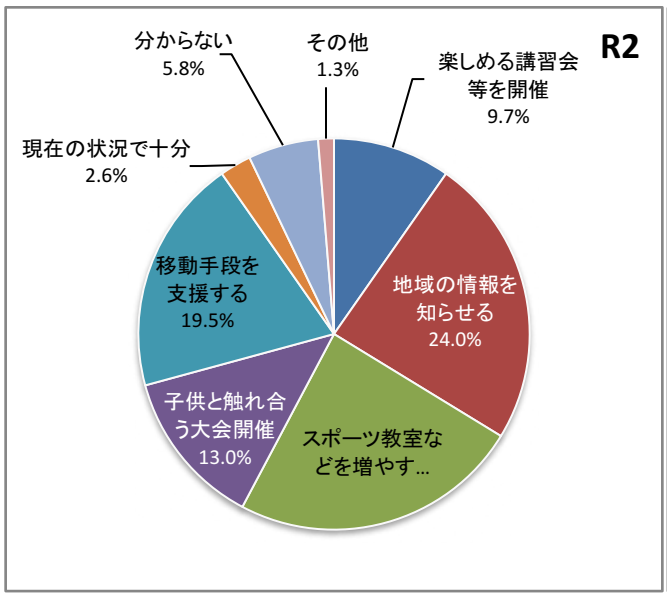


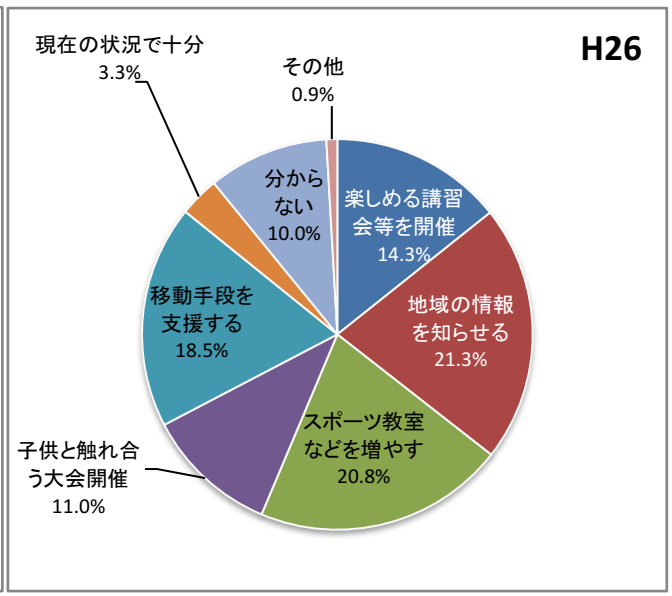
問23　どうすれば更に多くの高齢者が、運動やスポーツにより親しむことができると思いますか。（複数回答可）

※回答者　(R2)88　(H26)580

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
楽しめる講習会等を開催	15	140	9.7%	14.3%	17.0%	24.1%
地域の情報を知らせる	37	209	24.0%	21.3%	42.0%	36.0%
スポーツ教室などを増やす	37	204	24.0%	20.8%	42.0%	35.2%
子供と触れ合う大会開催	20	108	13.0%	11.0%	22.7%	18.6%
移動手段を支援する	30	182	19.5%	18.5%	19.5%	31.4%
現在の状況で十分	4	32	2.6%	3.3%	4.5%	5.5%
分からない	9	98	5.8%	10.0%	10.2%	16.9%
その他	2	9	1.3%	0.9%	2.3%	1.6%
合計	154	982	100%	100%	160.2%	169.3%
無回答	2	43				

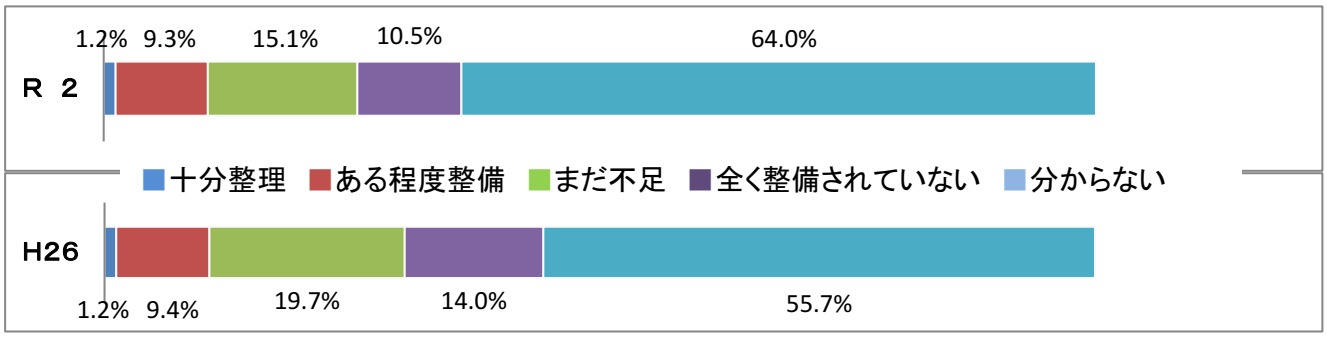


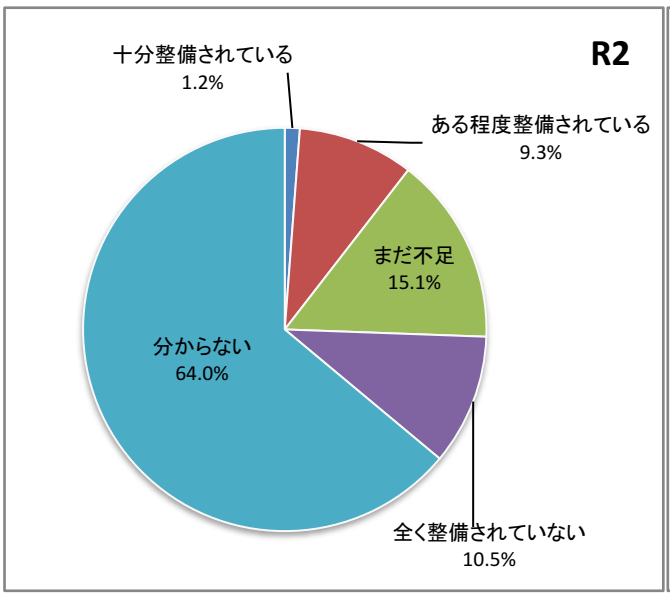


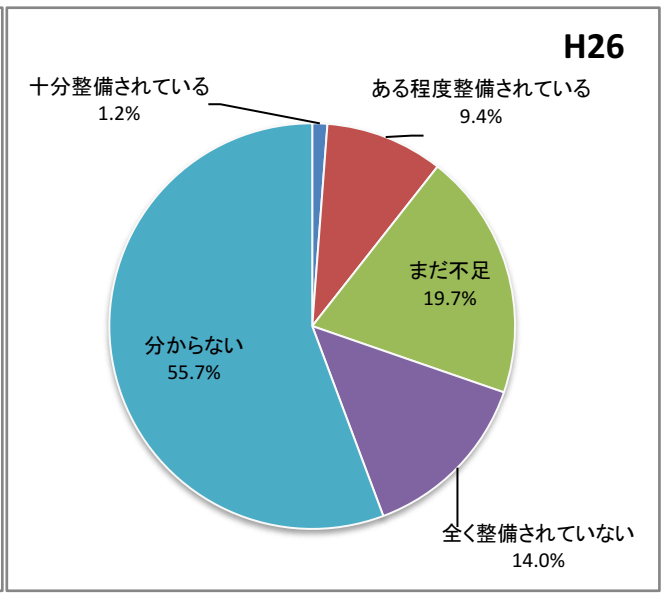


問24　障がいのある方々が、運動やスポーツを気軽にできる環境が整備されていると思いますか。

回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R 2	H26	R 2	H26
十分整備されている	1	7	1.2%	1.2%
ある程度整備されている	8	54	9.3%	9.4%
まだ不足している	13	113	15.1%	19.7%
全く整備されていない	9	80	10.5%	14.0%
分からない	55	319	64.0%	55.7%
合計	86	573	100%	100%
無回答	4	50		



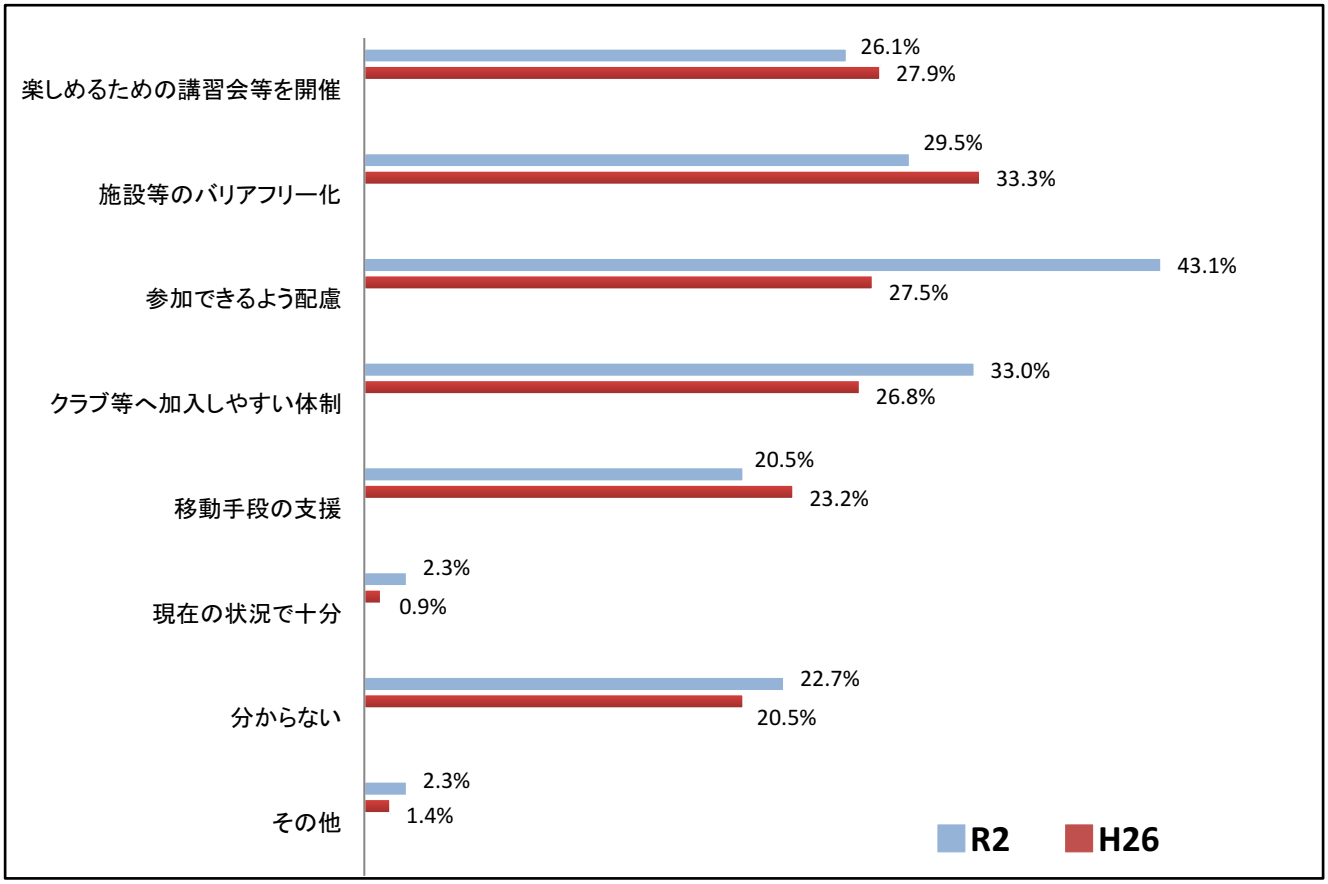


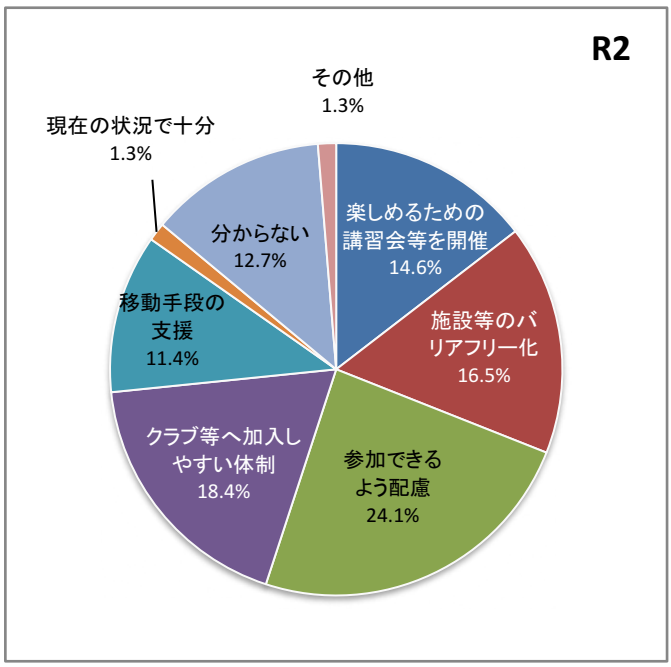


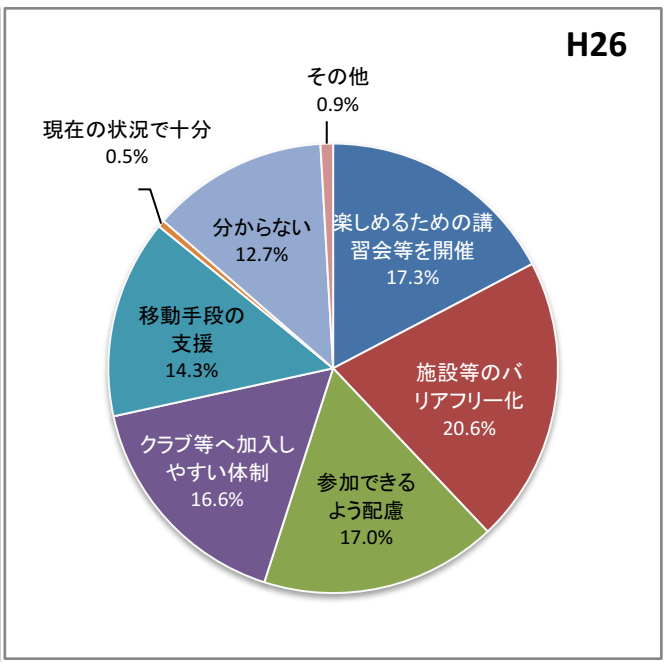
問25　どうすれば障がいのある方々が、運動やスポーツに、より親しむことができると思いますか。（複数回答可）

※回答者　（R2）88　　（H26）570

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
楽しめるための講習会等を開催	23	159	14.6%	17.3%	26.1%	27.9%
施設等のバリアフリー化	26	190	16.5%	20.6%	29.5%	33.3%
参加できるよう配慮	38	157	24.1%	17.0%	43.1%	27.5%
クラブ等へ加入しやすい体制	29	153	18.4%	16.6%	33.0%	26.8%
移動手段の支援	18	132	11.4%	14.3%	20.5%	23.2%
現在の状況で十分	2	5	1.3%	0.5%	2.3%	0.9%
分からない	20	117	12.7%	12.7%	22.7%	20.5%
その他	2	8	1.3%	0.9%	2.3%	1.4%
合計	158	921	100%	100%	179.5%	161.5%
無回答	2	53				



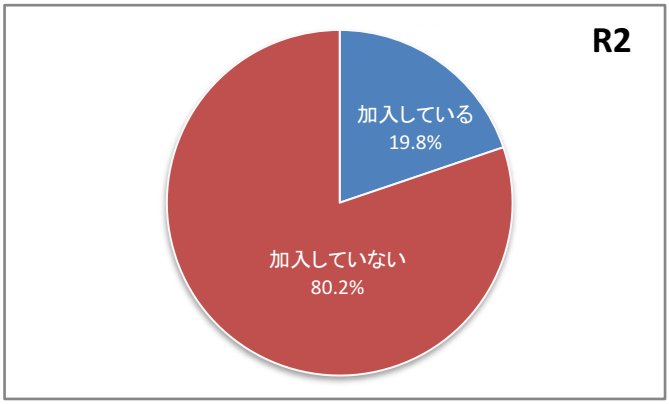


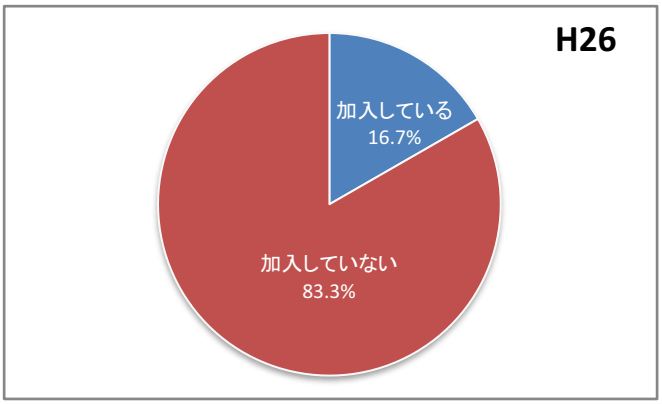


9 スポーツクラブ、同好会について

問26　運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。

回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
加入している	17	97	19.8%	16.7%
加入していない	69	485	80.2%	83.3%
合計	86	582	100%	100%
無回答	4	41		



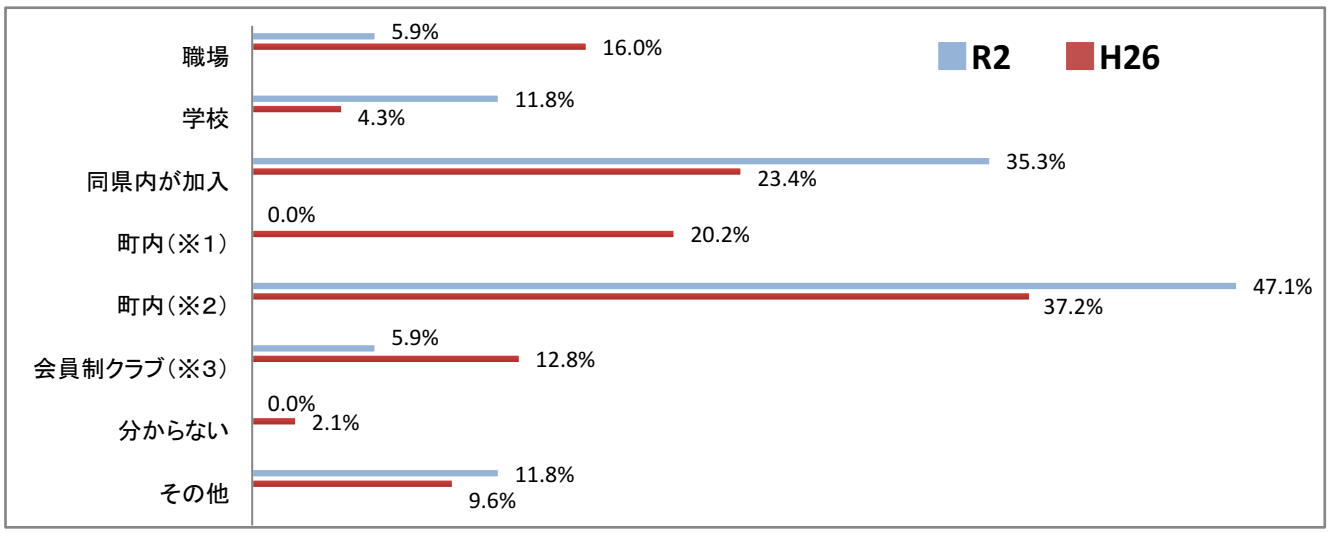


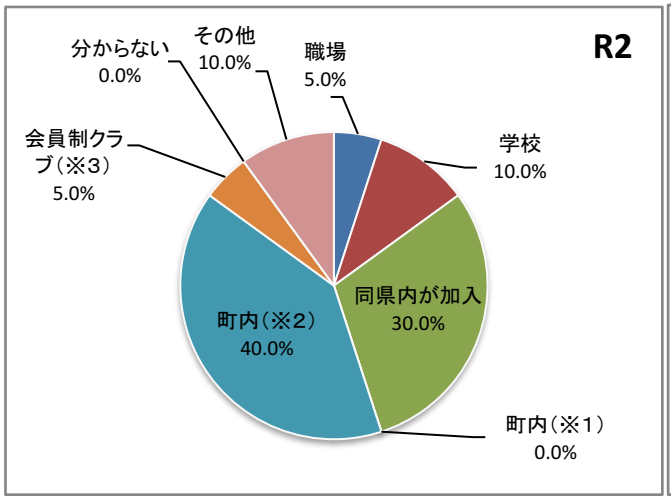
問26－1（SQ）　どのようなクラブや同好会ですか。（複数回答可）

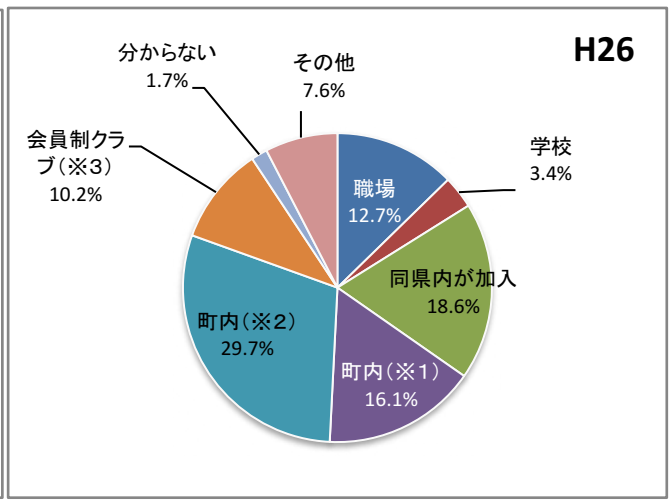
※　回答者　（R2）17　（H26）94

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
職場	1	15	5.0%	12.7%	5.9%	16.0%
学校	2	4	10.0%	3.4%	11.8%	4.3%
同県内が加入	6	22	30.0%	18.6%	35.3%	23.4%
町内（※1）	0	19	0.0%	16.1%	0.0%	20.2%
町内（※2）	8	35	40.0%	29.7%	47.1%	37.2%
会員制クラブ（※3）	1	12	5.0%	10.2%	5.9%	12.8%
分からない	0	2	0.0%	1.7%	0.0%	2.1%
その他	2	9	10.0%	7.6%	11.8%	9.6%
合計	20	118	100%	100%	117.8%	125.6%
無回答	0	3				

※1「NPO法人長洲にこにこクラブ」、 ※2「NPO法人長洲にこにこクラブ」以外　、※3 民間スポーツ施設などが開設



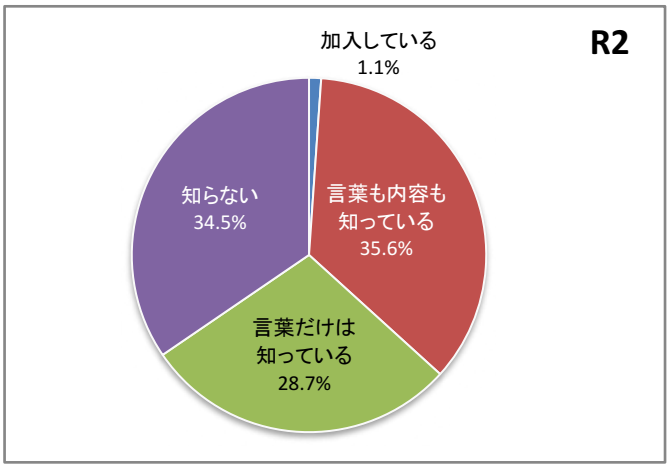


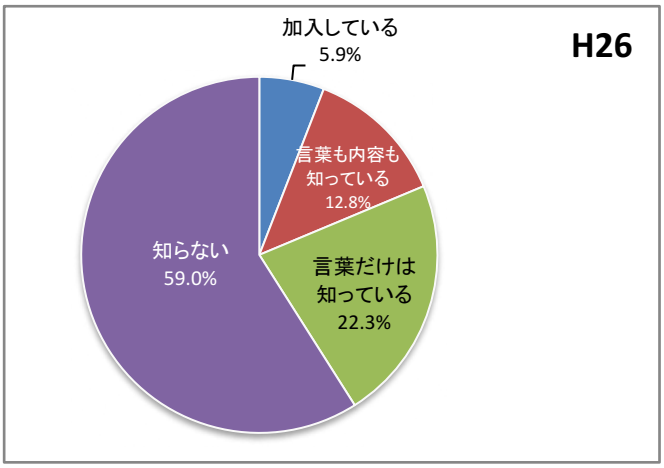


10 総合型地域スポーツクラブについて

問27（SQ）　「NPO法人長洲にこにこクラブ」を知っていますか。

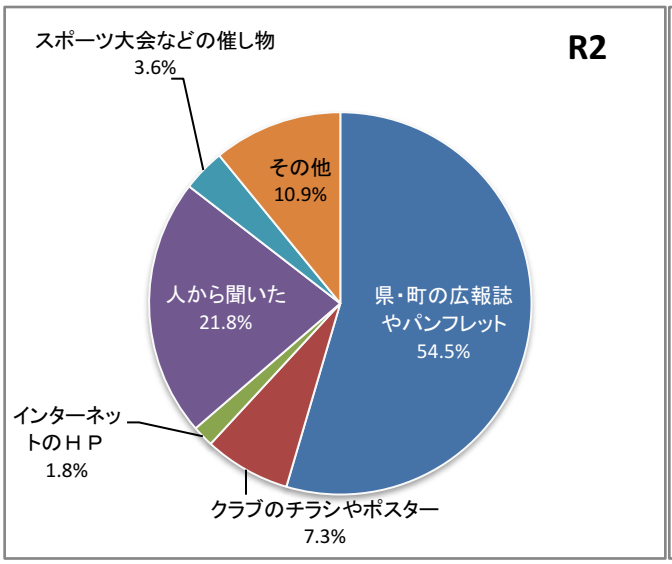
回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
加入している	1	31	1.1%	5.9%
言葉も内容も知っている	31	67	35.6%	12.8%
言葉だけは知っている	25	117	28.7%	22.3%
知らない	30	310	34.5%	59.0%
合計	87	525	100%	100%
無回答	3	98		

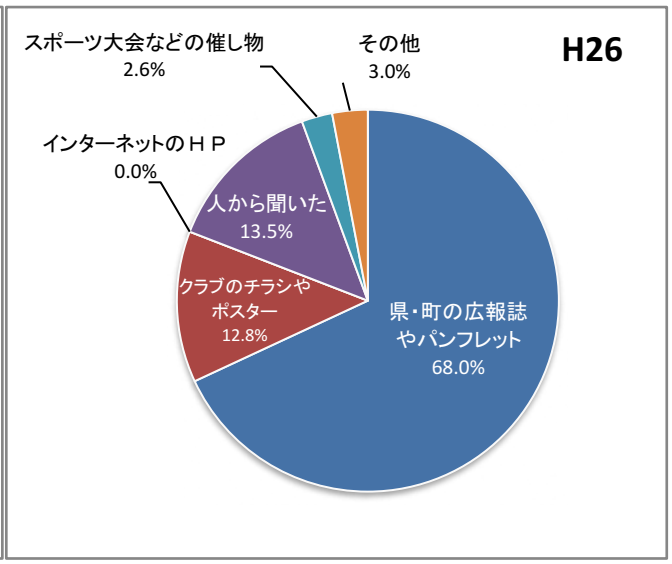




問27－1（SQ）　「NPO法人長洲にこにこクラブ」をどのようにして知りましたか。

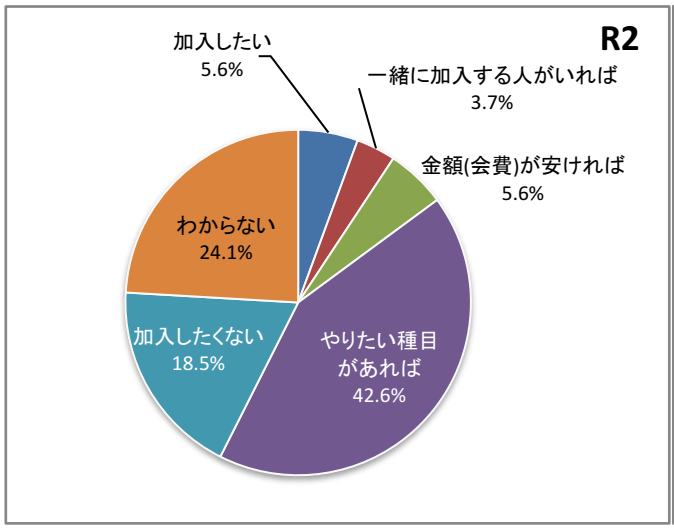
回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
県・町の広報誌やパンフレット	30	181	54.5%	68.0%
クラブのチラシやポスター	4	34	7.3%	12.8%
インターネットのHP	1	0	1.8%	0.0%
人から聞いた	12	36	21.8%	13.5%
スポーツ大会などの催し物	2	7	3.6%	2.6%
その他	6	8	10.9%	3.0%
合計	55	266	100%	100%
無回答	2	1		

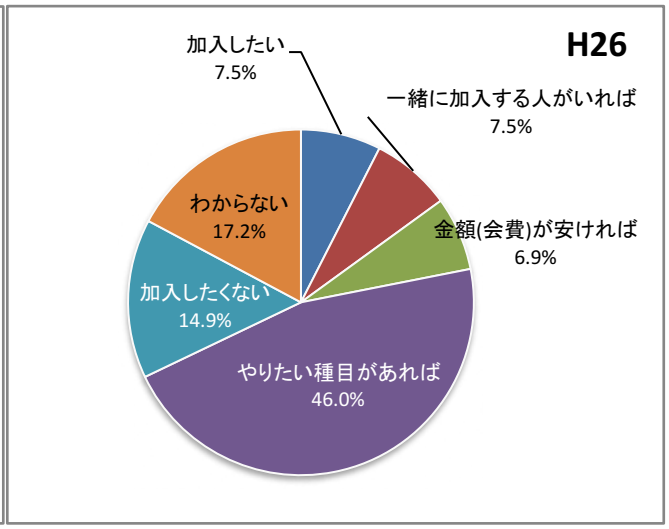




問27−2（SQ）「NPO法人長洲にこにこクラブ」が近くにあれば加入したいですか。

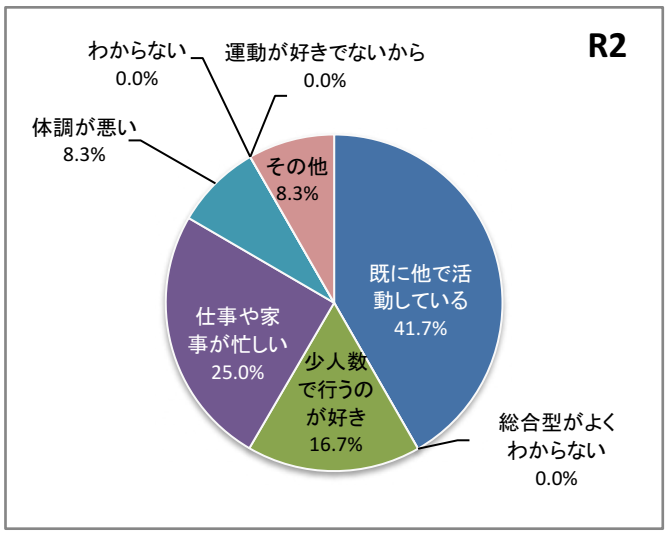
回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
加入したい	3	13	5.6%	7.5%
一緒に加入する人がいれば	2	13	3.7%	7.5%
金額(会費)が安ければ	3	12	5.6%	6.9%
やりたい種目があれば	23	80	42.6%	46.0%
加入したくない	10	26	18.5%	14.9%
わからない	13	30	24.1%	17.2%
合計	54	174	100%	100%
無回答	7	8		

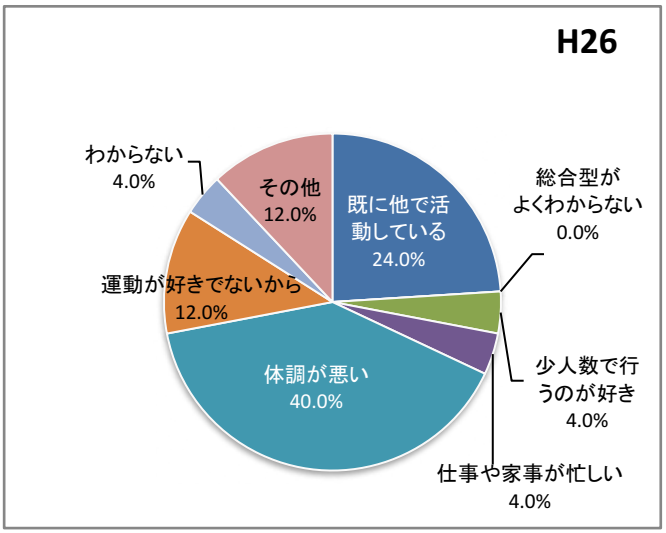




問27−3（SQ）「NPO法人長洲にこにこクラブ」に加入したくないのはなぜですか。

回答（単一回答）	回答数		回答数に占める比率	
	R2	H26	R2	H26
既に他で活動している	5	6	41.7%	24.0%
総合型がよくわからない	0	0	0.0%	0.0%
少人数で行うのが好き	2	1	16.7%	4.0%
仕事や家事が忙しい	3	1	25.0%	4.0%
体調が悪い	1	10	8.3%	40.0%
運動が好きでないから	0	3	0.0%	12.0%
わからない	0	1	0.0%	4.0%
その他	1	3	8.3%	12.0%
合計	12	25	100%	100%

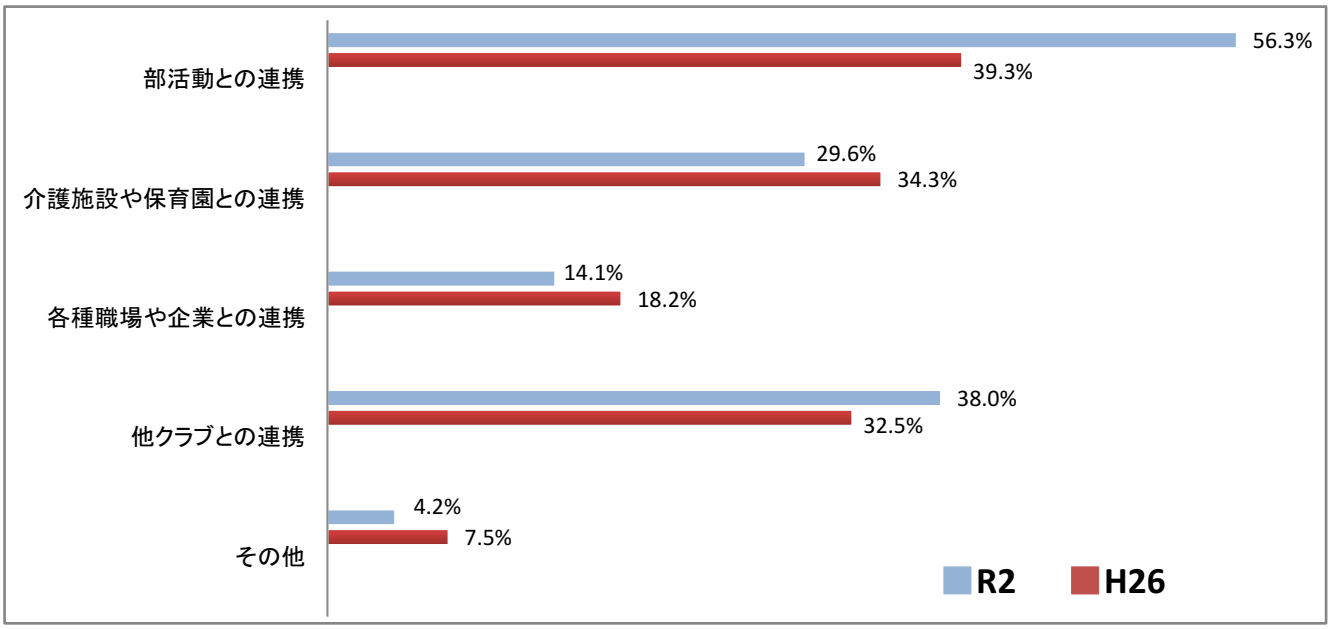


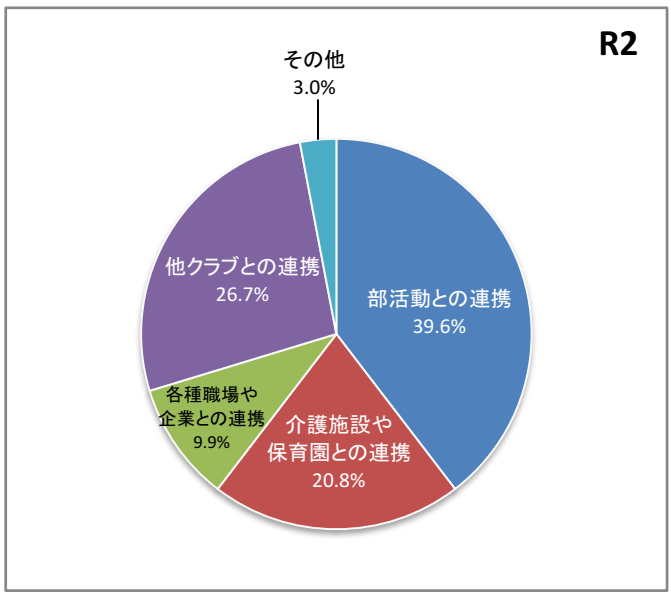


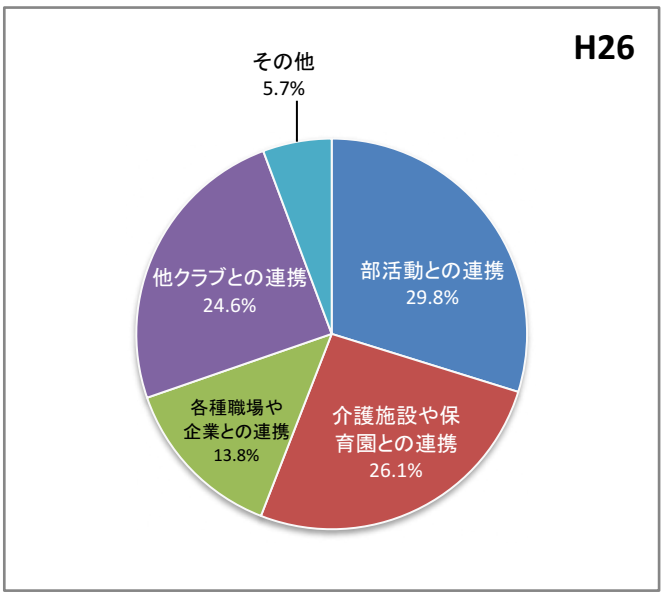
問28　これからの「NPO法人長洲にこにこクラブ」に、どんなことを期待しますか。(複数回答可)

※回答者　(R2)71　(H26)428

回答(複数回答可)	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
部活動との連携	40	168	39.6%	29.8%	56.3%	39.3%
介護施設や保育園との連携	21	147	20.8%	26.1%	29.6%	34.3%
各種職場や企業との連携	10	78	9.9%	13.8%	14.1%	18.2%
他クラブとの連携	27	139	26.7%	24.6%	38.0%	32.5%
その他	3	32	3.0%	5.7%	4.2%	7.5%
合計	101	564	100%	100%	142.2%	131.8%
無回答	19	195				



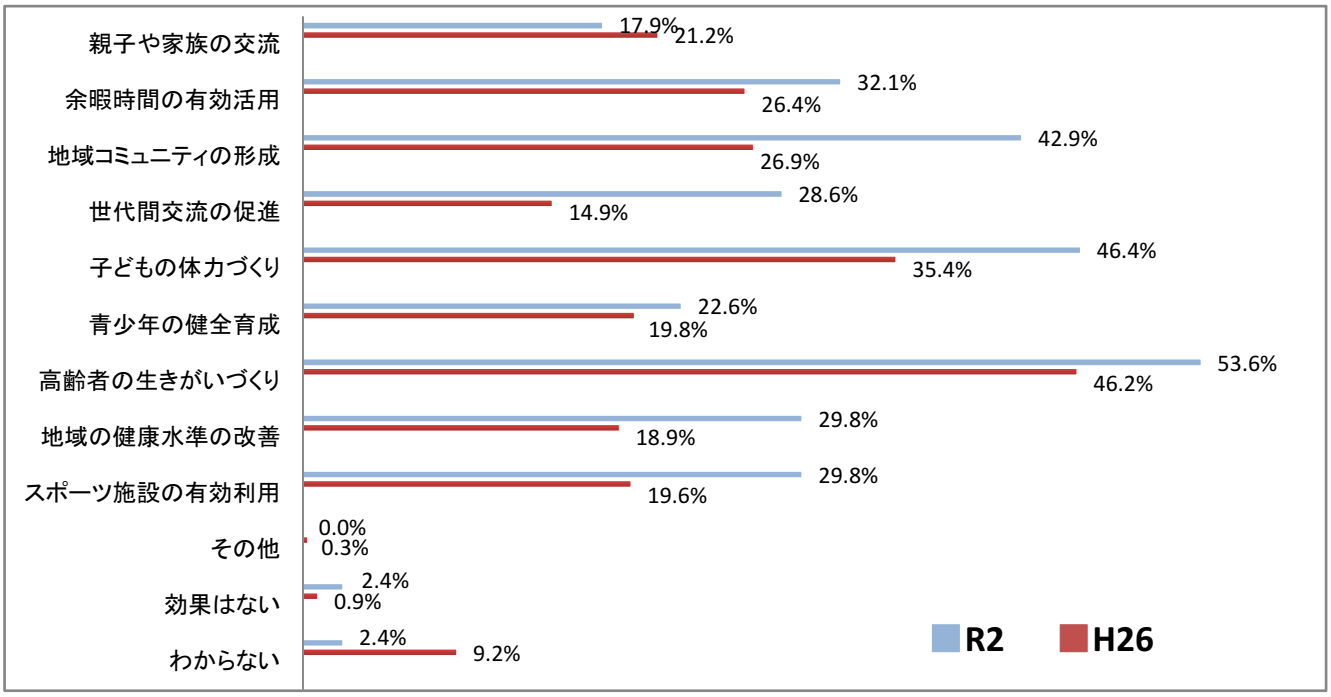


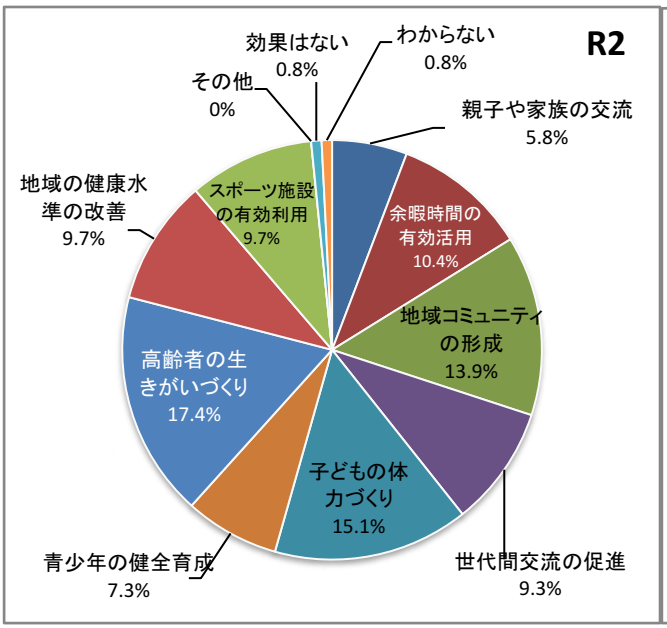


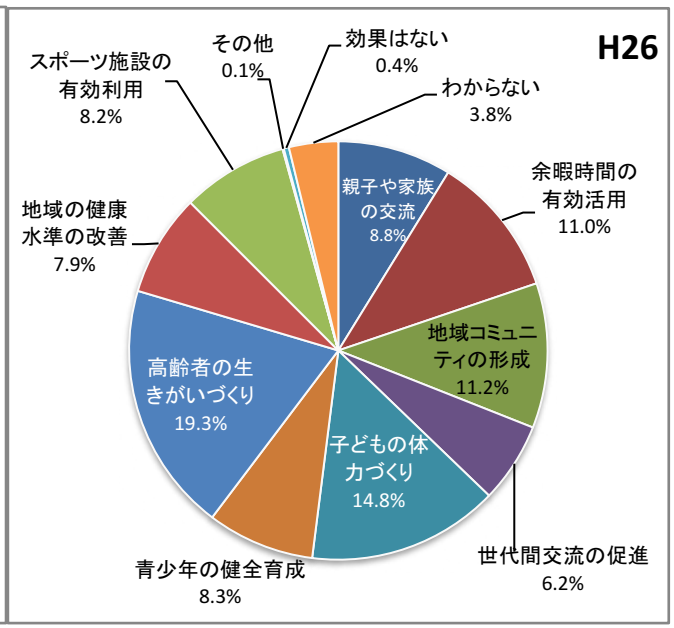
問29　長洲町のスポーツ推進について、どのような効果を期待しますか。（複数回答可）

※回答者　R2（84）　H26（576）

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
親子や家族の交流	15	122	5.8%	8.8%	17.9%	21.2%
余暇時間の有効活用	27	152	10.4%	11.0%	32.1%	26.4%
地域コミュニティの形成	36	155	13.9%	11.2%	42.9%	26.9%
世代間交流の促進	24	86	9.3%	6.2%	28.6%	14.9%
子どもの体力づくり	39	204	15.1%	14.8%	46.4%	35.4%
青少年の健全育成	19	114	7.3%	8.3%	22.6%	19.8%
高齢者の生きがいづくり	45	266	17.4%	19.3%	53.6%	46.2%
地域の健康水準の改善	25	109	9.7%	7.9%	29.8%	18.9%
スポーツ施設の有効利用	25	113	9.7%	8.2%	29.8%	19.6%
その他	0	2	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%
効果はない	2	5	0.8%	0.4%	2.4%	0.9%
わからない	2	53	0.8%	3.8%	2.4%	9.2%
合計	259	1,381	100%	100%	308.5%	239.7%
無回答	6	47				



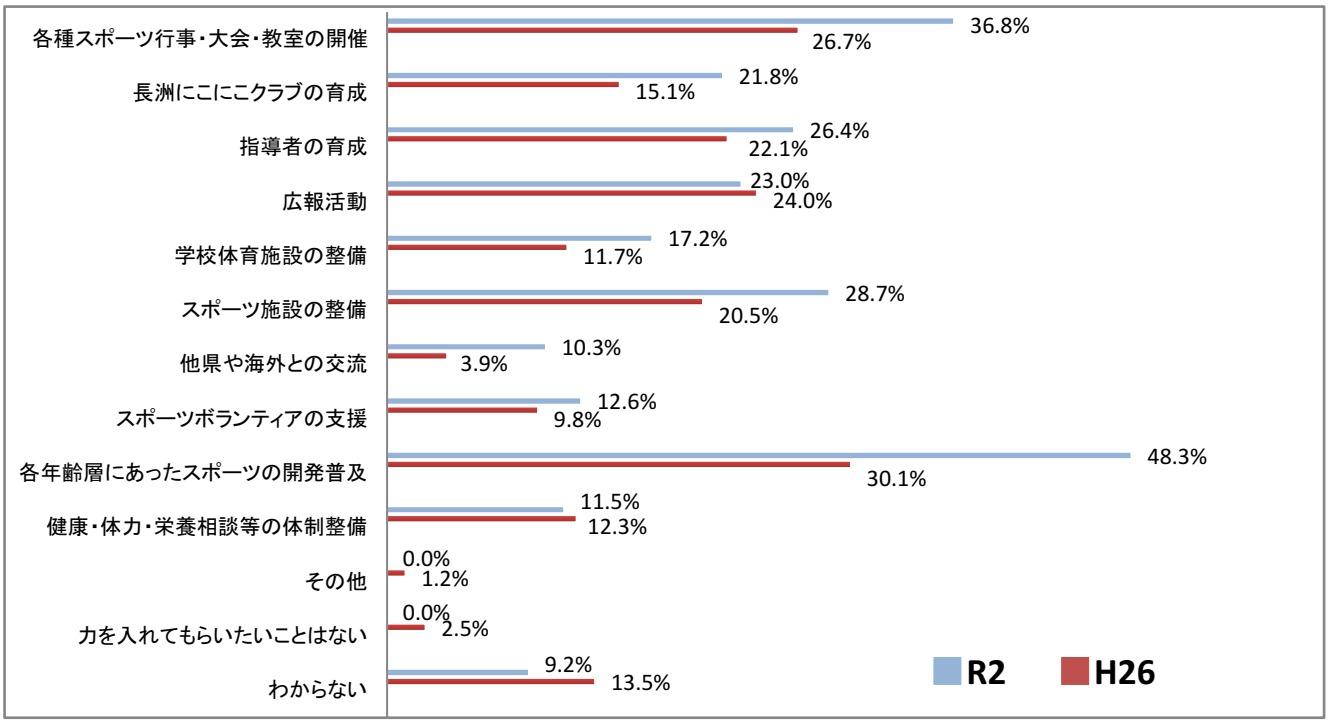


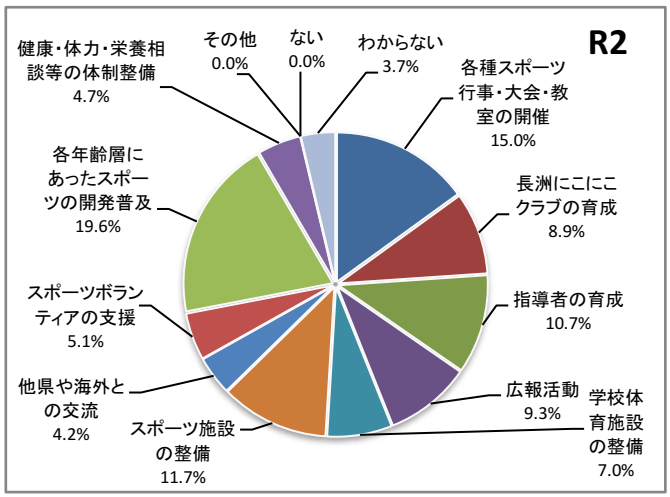


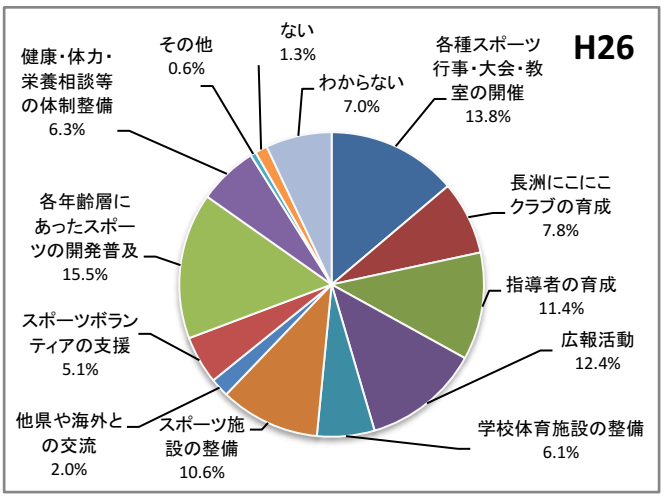
問30　スポーツをもっと推進させるために、長洲町に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。（複数回答可）

※　回答者　（R2）87　（H26）562

回答（複数回答可）	回答数		回答数に占める比率		回答者に占める比率	
	R2	H26	R2	H26	R2	H26
各種スポーツ行事・大会・教室の開催	32	150	15.0%	13.8%	36.8%	26.7%
長洲にこにこクラブの育成	19	85	8.9%	7.8%	21.8%	15.1%
指導者の育成	23	124	10.7%	11.4%	26.4%	22.1%
広報活動	20	135	9.3%	12.4%	23.0%	24.0%
学校体育施設の整備	15	66	7.0%	6.1%	17.2%	11.7%
スポーツ施設の整備	25	115	11.7%	10.6%	28.7%	20.5%
他県や海外との交流	9	22	4.2%	2.0%	10.3%	3.9%
スポーツボランティアの支援	11	55	5.1%	5.1%	12.6%	9.8%
各年齢層にあったスポーツの開発普及	42	169	19.6%	15.5%	48.3%	30.1%
健康・体力・栄養相談等の体制整備	10	69	4.7%	6.3%	11.5%	12.3%
その他	0	7	0.0%	0.6%	0.0%	1.2%
力を入れてもらいたいことはない	0	14	0.0%	1.3%	0.0%	2.5%
わからない	8	76	3.7%	7.0%	9.2%	13.5%
合計	214	1,087	100%	100%	245.8%	193.4%
無回答	3	61				







アンケート記述意見一覧（６５歳未満）

《児童生徒の体力低下（向上）についての意見》

■アイディア

○　公園に遊具を増やすのもいいかと思います。

○　じんとり、缶けりなど、子ども数人で遊べることをすると体力もつくし、コミュニケーションもとれて良いと思います。昔、私たちが遊びを伝えることができれば、子どもたちにも楽しいと思います。

　小中学校で行われる学年レクリエーションなどを活用されたりするのも良いのではないかと思います。

■要望

○　よくわからないが、自分も含めて専門家の講演で話を聞いて知識を学びたい。

■意見・感想

○　自分には子供がいないので、正直どのように体力低下を向上に向ける方法などはわかりませんが、自分が子供だったら興味が有るスポーツや楽しいと思えるスポーツに出合わなければ、始めたりしないし、続けないと思います。

○　よほど感（関？）心や興味、熱意がなければ子供を運動させに施設に連れていくのはむずかしいと思う。学校や学童の時間内で楽しく体を動かして、体力作りをするのがいいと思う。

○　遊びを通して体を動かす機会が増え、体を動かすことが楽しいと感じてくれたらと思います。

○　親が参加したり、やってあげる機会が増えている。ＴＶゲームなどであそぶことが多い。野外であそぶたのしさを知らない。

○　体力は学力同様、低下するよりは向上した方がよいとは思うが、体力が向上することでどんな効果があるのかを明確にする方が児童生徒も保護者にも意図が伝わりやすのではないでしょうか。もちろん、体力が向上することで気力が維持できたり、忍耐力や持続力なども備わってくるということは想像できるとは思いますが、何のために体力を向上させるかも必要だと思います。

○　私が小学・中学の時、同級生と運動を通じて競い合うのは、勝ち負け関係なく楽しいものでした。今の子供は、そういうものに対してタンパクすぎると思うことがあります。

○　ただし、部活動はやり過ぎ。その子の将来の可能性を削るほどのオーバーワークになっている。部活動の指導者と指導方針を大幅に転換せねばこの国の未来はない。

《スポーツ施設についての意見》

■アイディア

○　長洲町の広い土地を利用して、沢山の種目のスポーツが出来る環境を作り、各大会、開催地、練習場とし、他県からの週末の来町者を増やす事で、経済も長洲町に落としていく人が増えるのではないでしょうか。

■要望

○　もう少し夜、早い時間から利用できれば使いたい。（遅くなると子ども（幼児）の就寝時間が遅くなる為）

■意見・感想

○　もしできれば、土・日・休日も利用できるようになれば有効に利用されるかもしれません。

○　生活圏から離れた場所に集まっている印象

　わざわざ出向いて行かなればならないので、施設を使わないでも出来るような運動を選びがちになってしまう。（ウォーキングやストレッチ体操など手軽なもの）

○　部活動優先になっている。

《高齢者の方々のスポーツについての意見》

■アイディア

○　段階的なスポーツを作る。

○　高齢者でも、元々スポーツやダンスをしていて、体幹や体力がある方もいらっしゃるので、出来るレベルに合わせて、小学生・中学生などではなく３０代・４０代と一緒に大会をする、などでも楽しんでもらえるかなと思います。

○グランドゴルフを公園でしている人を見かけるが、ヨガ・太極拳・軽いダンス教室など公民館で２回/月でもできるようにしたら良いのでは？

■要望

○　時間があわない。

　交通手段ですね。昼間、仕事を平日してます。土・日は休みだと行けないって言ってました。

　地区のラジオ体そうも冬場は風邪ひくからってなくなり、そのままずっとありません。これこそ町全体に音楽を流しては？？　無理ですかね？

■意見・感想

○　同じ年でも体力、体の動かない場所、痛みがある等で、それらの点を配慮した上でのスポーツでないと無理があるので参加出来ないと思う。

○　地域でグランドゴルフの開催など各地域での参加型の取りくみは行っているようで、日々の健康維持につとめていただいているが、今後そういった活動を続けていくにあたって、新しい加入者が継続的に入ってくるかが課題ではないかと思う。

○　グラウンドゴルフ高齢者がスポーツに接する機会は十分あると思います。参加するしないは本人次第なので、したくない人に無理に押しつける必要はなく現状の体制で十分だと思います。

○　今後、高齢者が増加していく事を考えると、今のうちから準備しておく事が大事だと思う。（環境、しくみ等）

○　高齢者の方が楽しみながらできれば、筋力アップ・体力アップになると思う。全く知識がない為、自分も含めて専門家の指導で、良い取り組みになる事だと思う。

○　高齢になる程に体力や体調に差が出て来ると思うので、それぞれの人に見合った無理なく出来る様々な種類や段階に応じたスポーツが提案されたら良いと思う。

《障がいのある方々のスポーツについての意見》

■アイディア

○　体が不自由な方達が、もし出来るなら何のスポーツがしたいか？をアンケートして、健康な方達のサポートで楽しく参加出来る様になれば、動かないままより、ずっと良いと思う。

○　障がい者の家族同士の交流の場でもつくれたらどうか？

○　市民マラソン大会などではサポートランナーと一緒に走る障害者の方を見かけます。その様な機会を長洲マラソンなどでも取り入れてはどうですか？

　車イスを押して走るマラソン大会があってもよいかもしれません。

■要望

○　障害者と共に楽しめるスポーツをして欲しい。

■意見・感想

○　長洲町の障がい者スポーツ大会みたいなものがあってもいいんじゃないか？

○　体に負担がかからない様にスポーツを楽しみながら、できる様に準備が整えばとてもいいことだと思う。

　命にかかわる事なので、より詳しい専門家の指導管理の下でないと難しいと思われる。

○　出来れば希望されるスポーツが行えれば良いと思うが、指導出来る人材や道具・安全面などの確保が難しい現実的な課題が多いと思う。

《長洲町のスポーツ振興についての意見》

■アイディア

○　町の体育施設の紹介を改めてしてみてはどうかなと思います。利用時間、予約方法、利用料等はっきりわかれば使ってみようと思う人が増えるのではないかと思いました。

■要望

○　子供を放課後子供教室に入れようと思っている。この教室のように特別な移動なく普段できない遊びやスポーツを通じて体力作りや友達作りができるのは親として大変ありがたい。

　家の外で遊ぶのも楽しそうだが、この教室でもっと楽しんでもらえたらと思う。こういった教室を回数や指導者を増やしてほしいとも思う。このコロナの時期、なかなか多人数集まってというのはまだむずかしいと思うがよろしくお願いします。

■意見・感想

○　長洲のにこにこクラブは、魅力がない。

○　にこにこクラブには子供が加入しています。ファミリー会員に入ろうと思いましたが、コロナの関係で今年は断念しました。次年度以降、検討します。

　割安な料金でジムや体育館、温水プールが使えて長洲町は本当にすごいと思います。町民としての恩恵を授かりながら大切に利用させてもらっています。

　今後も現体制への維持を期待しております。

○　スポーツを通して長洲町の皆様が体力をつけ、健康になりますように、是非、専門の指導者の下、楽しい時間を過ごされます様に準備をお願い致します。

○　スポーツに関する行事は今のままでも充実しているように思うが、行事などがイコール推進につながっているとは思えない。やはり、スポーツに関心のある人しか参加していないし、顔ぶれも変化がないように感じる。

　興味を持てない人がきっかけを作れるような、生活の中で無理なく取り入れられる運動の提案が望ましい。

アンケート記述意見一覧（６５歳以上）

《児童生徒の体力低下（向上）についての意見》

■アイディア

なし

■要望

なし

■意見・感想

○　スポーツ（クラブ等）をしている子供は、それなり体力はあり問題はない。ゲーム機ばかりやっている子供は走る事を嫌がり運動不足になり又肥満化している。まず”走る”事の興しさ、幸び、”健康的”等を親と共に考える必要性があるのでは？（我が孫を見ての意見でもある。）

《スポーツ施設についての意見》

■アイディア

なし

■要望

なし

■意見・感想

なし

《高齢者の方々のスポーツについての意見》

■アイディア

○　室内で出来る、ボッチャ、カローリング等を取り入れるのも良いと思います。

○　老人クラブ連合会と連けいして進める。

■要望

○　高齢者は一般的にグランドゴルフが多いですが、卓球が出来る場所や台などの用具などを研修センターや公民館など近くに用意して欲しい。

○　グランドゴルフ（多数の参加がある場合）の団体、個人の成績を簡単に集計できるアプリ（エクセル等）を町でそなえてほしい。

○　「高齢者のためのスポーツ」はどんな事が行われているか、あまり知らない。広報的なチラシ等がほしい。

■意見・感想

○　昔と違い現代は６０代、７０代を中心に８０代、９０代と長生きの時代になっている。中には親子で老人会に入会している人も珍しくなく嬉しい限りである。

６０代、７０代は、まだ体力、気力もあり、それなり本格的にスポーツをしている人もいるので、ねんりんピックの競技等を参考にしたら良いと思います。

○　老人会で色々と行っておられますので大変良いと思います。

○　カローリングやペタンクなど、大会を開く際、他自治体から用具を借りるという話を聞いた。初年度は仕方がないが、２～３年目には揃に予算上配慮すべきと思う。カローリングは面白いので普及すると思う。

《障がいのある方々のスポーツについての意見》

■アイディア

○　パラスポーツを参考にした軽運動から始めれば良いのでは。

■要望

○　気軽に楽しめる場所が欲しいと思う。体育館まで行くには気が進まない。身近から場所に有らば利用するのでは各区に介護支援施設が有るが利用しずらいと思う。

■意見・感想

なし

《長洲町のスポーツ振興についての意見》

■アイディア

○　体力使いの運動も結構かと思います。でも、心の健康づくりも必要ではないかと思います。

　公民館など集合の場で一人暮らしの時代になり、心が強くなる様な講演はいかがでしょうか。

○・町民体育は各区の努力で参加者が多く、盛大ですが、競技参加者は少数で、かつ毎年同じ人達が多いと思われます。町民体育祭、老連体育祭を発展的に解消

・各小学校区ごとに、スポーツ・レクリエーション大会を行う。種目は屋内外・子どもから高齢者まで参加できるものを検討する。

・町、体協、区、子ども会、老人会、婦人会、消防団の代表者で検討委員会を組織し、今後２～３年かけて検討する。

■要望

○　関係のある一部の方のみでなく広く皆さんに気軽に参加出来楽しめる会にして頂きたいと思います。

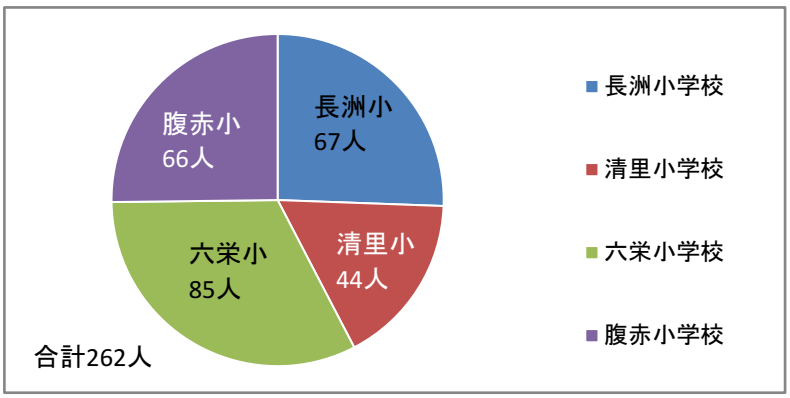
■意見・感想

なし

スポーツ活動に関するアンケート集計結果【小学校 2年生・4年生】

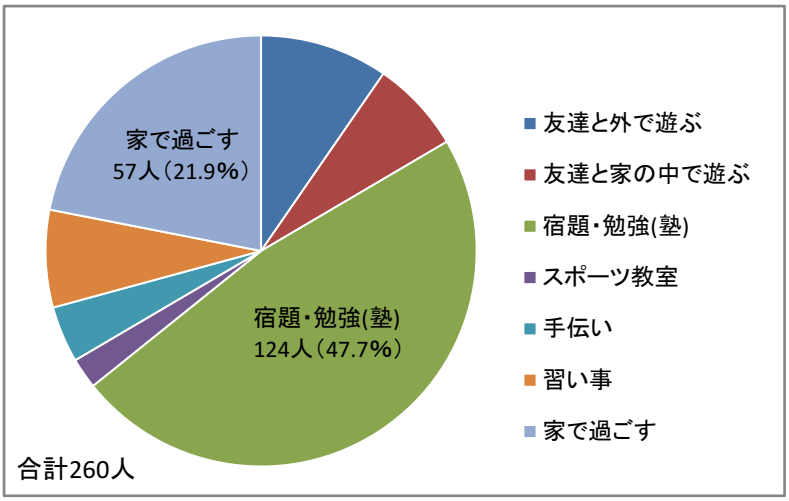
問1　あなたの校区を教えて下さい。　　※アンケート回答数

	回答数
長洲小学校	67
清里小学校	44
六栄小学校	85
腹赤小学校	66
合計	262



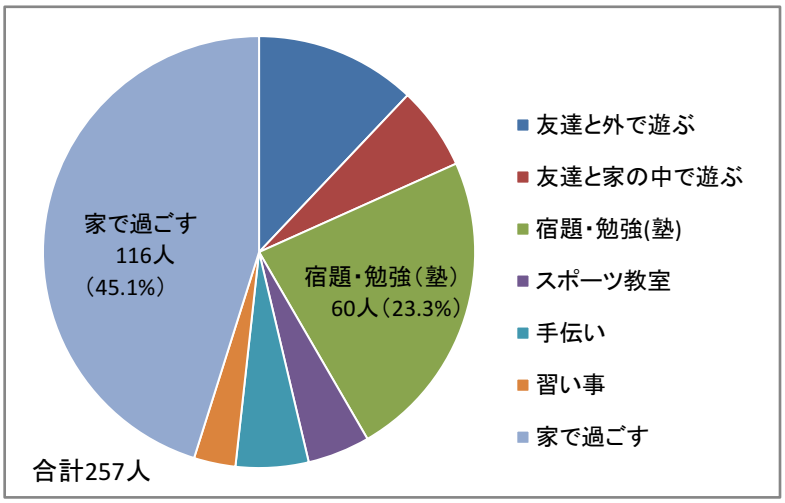
問2　学校から帰って何をしていますか？　　（複数回答あり）

	回答数
友達と外で遊ぶ	25
友達と家の中で遊ぶ	18
宿題・勉強(塾)	124
スポーツ教室	6
手伝い	11
習い事	19
家で過ごす	57



問3　休みの日は何をしていますか？

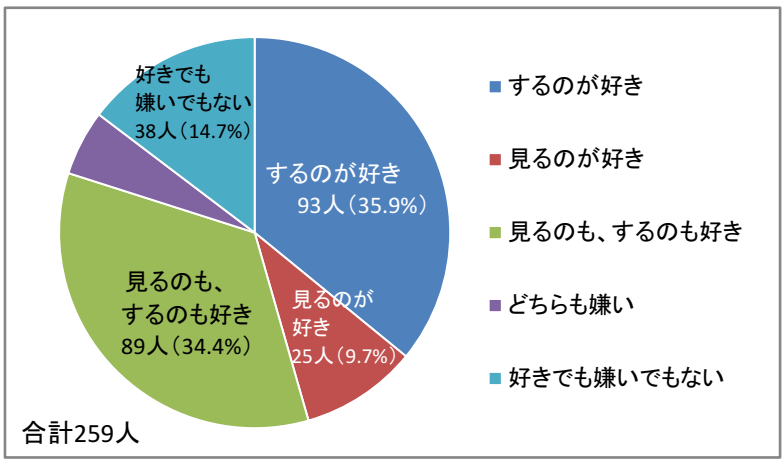
	回答数
友達と外で遊ぶ	31
友達と家の中で遊ぶ	16
宿題・勉強(塾)	60
スポーツ教室	12
手伝い	14
習い事	8
家で過ごす	116



【考察】 ※　前回（H26）　今回（R2）に実施
問2・問3ともに「宿題・勉強（塾）」の割合が前回のアンケート結果より上がっている。
問2　前回　**30%**　→　今回　**47.7%**　、　問3　前回　**8%**　→　今回　**23.3%**
また、「家で過ごす」の割合も前回より上がり、室内での活動が多くなっているのが分かる。
外で遊ぶことやスポーツを行うなど身体を動かす割合が減っていることが伺える。

問4　スポーツは好きですか？

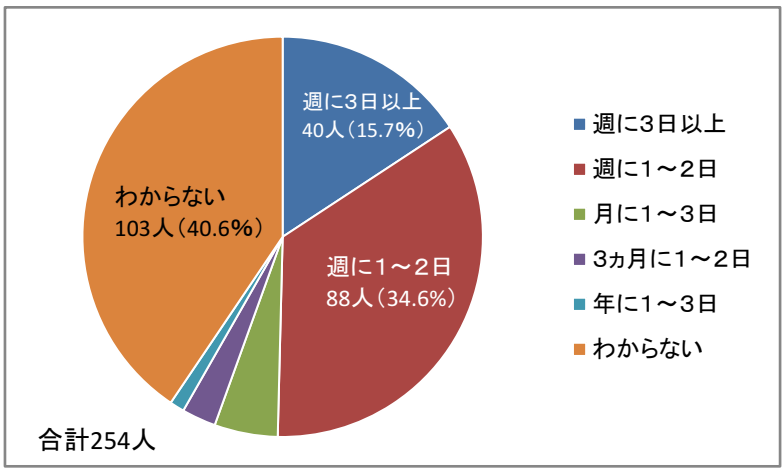
	回答数
するのが好き	93
見るのが好き	25
見るのも、するのも好き	89
どちらも嫌い	14
好きでも嫌いでもない	38



問5　学校の他でスポーツをどのくらいやっていますか？

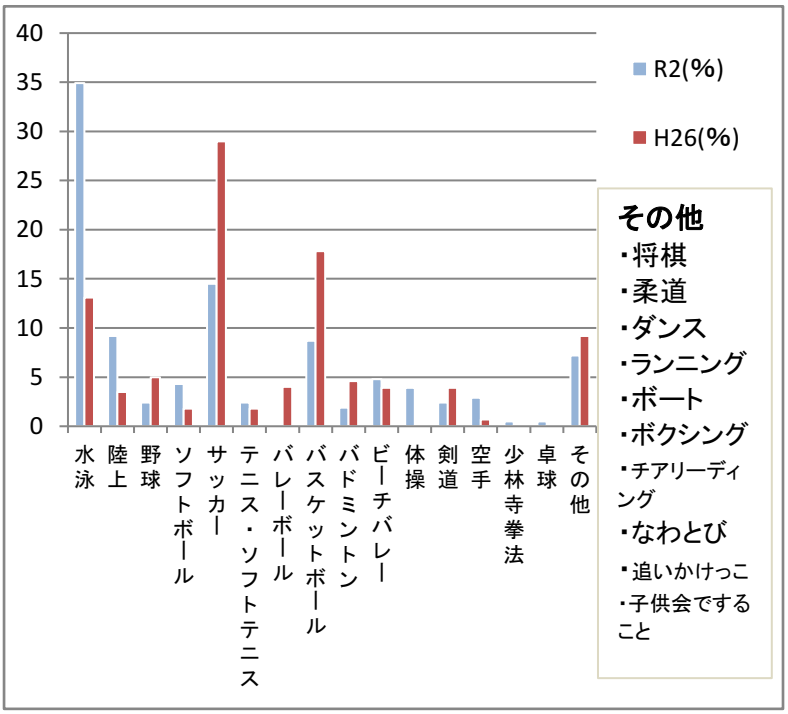
	回答数
週に3日以上	40
週に1～2日	88
月に1～3日	13
3ヵ月に1～2日	7
年に1～3日	3
わからない	103

【考察】
「週に3日以上」の割合が前回よりかなり減っていることは屋内での活動に変化しているのでは？
前回 **55%** → 今回 **15.7%**



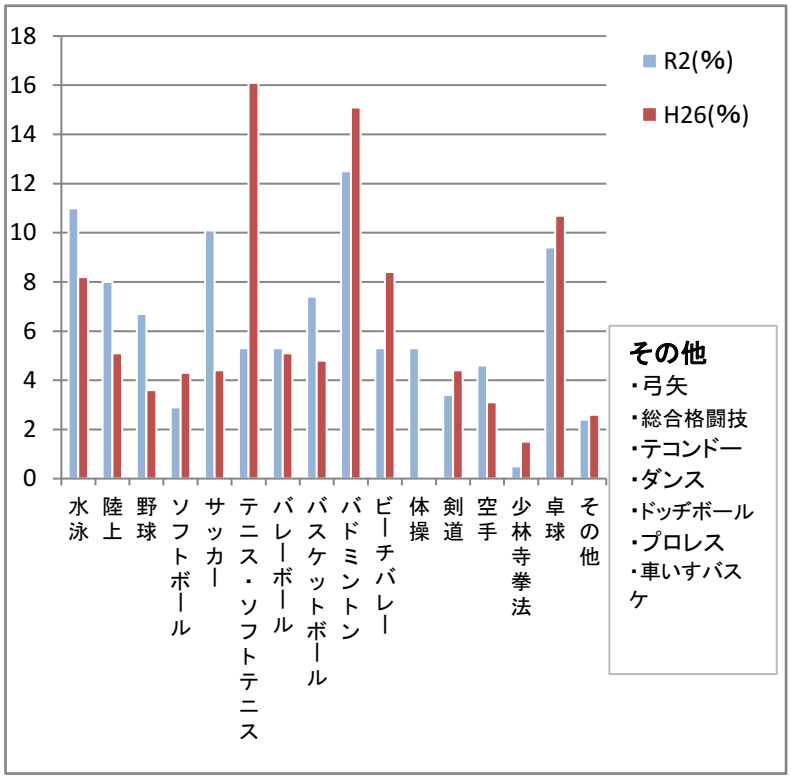
問6　問5でやっている人は、その「種目」をすべて答えてください。

	R2(%)	H26(%)
水泳	34.9	13.1
陸上	9.2	3.5
野球	2.4	5
ソフトボール	4.3	1.8
サッカー	14.5	29
テニス・ソフトテニス	2.4	1.8
バレーボール	0	4
バスケットボール	8.7	17.8
バドミントン	1.9	4.6
ビーチバレー	4.8	3.9
体操	3.9	
剣道	2.4	3.9
空手	2.9	0.7
少林寺拳法	0.5	0.1
卓球	0.5	0.1
その他	7.2	9.2



問7　やってみたいと思っている「種目」を3つ答えてください。

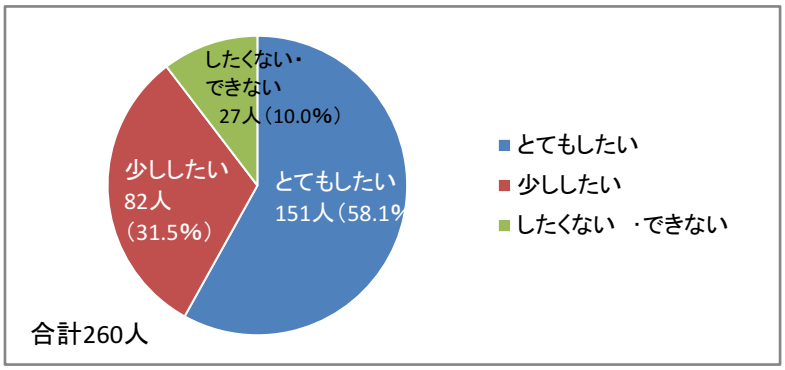
	R2(%)	H26(%)
水泳	11	8.2
陸上	8	5.1
野球	6.7	3.6
ソフトボール	2.9	4.3
サッカー	10.1	4.4
テニス・ソフトテニス	5.3	16.1
バレーボール	5.3	5.1
バスケットボール	7.4	4.8
バドミントン	12.5	15.1
ビーチバレー	5.3	8.4
体操	5.3	
剣道	3.4	4.4
空手	4.6	3.1
少林寺拳法	0.5	1.5
卓球	9.4	10.7
その他	2.4	2.6



問8　学校の他でスポーツをしたいですか？

	回答数
とてもしたい	151
少ししたい	82
したくない　・できない	27

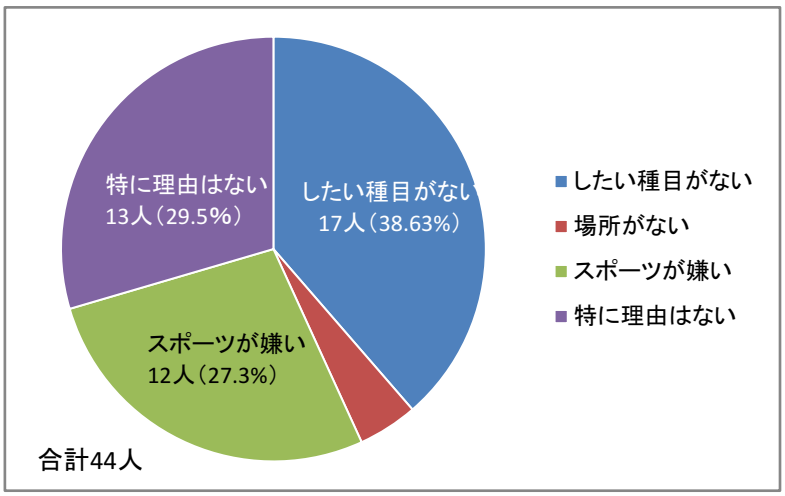
【考察】
「とてもしたい」が前回が41%から今回は、58.1%と約6割。「とてもしたい」という気持ちを持っている人が増えているので、スポーツができるような環境づくりは何なのかを明らかにする必要があると考える。



問9　問8で「したくない・できない」の理由はなんですか？

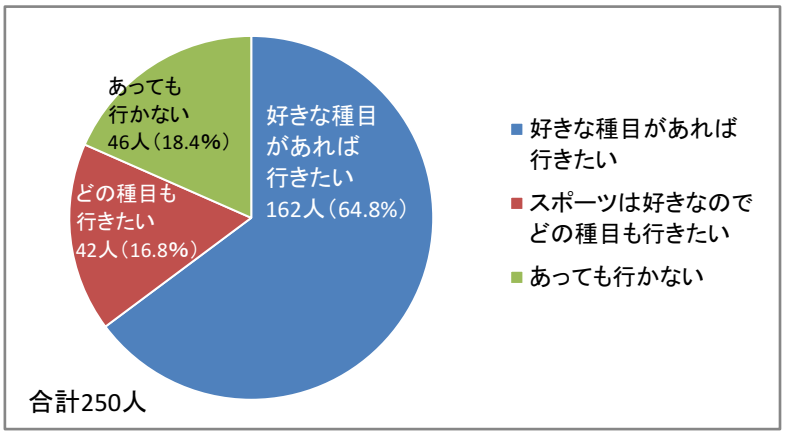
	回答数
したい種目がない	17
場所がない	2
スポーツが嫌い	12
特に理由はない	13

魅力的なスポーツ環境は？



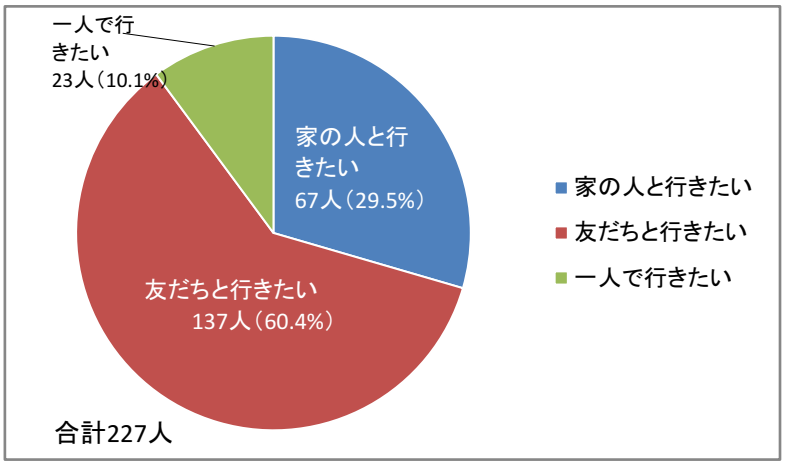
問10　長洲町でたくさんのスポーツ教室があるなら行きますか？

	回答数
好きな種目があれば行きたい	162
スポーツは好きなのでどの種目も行きたい	42
あっても行かない	46



問11　問10の関連で「誰」と行きたいですか？

	回答数
家の人と行きたい	67
友だちと行きたい	137
一人で行きたい	23



【考察】
　問9・10・11から、地域でもっと多種目の環境が必要性であることが見て取れる。もっと、子どもたちのニーズに合う環境があれば、もっと活動する場面、時間を費やすのではないかと考えられる。「友だちと一緒に行きたい」という選択が多いのは前回も同じである。したがって、仲間とともにやることができる種目が増えるならば、たくさんの身体活動のある地域づくりになるのではないか。

問12　スポーツ関係について、意見がある人は書いてください。

※　別紙

問１２

別紙

【４年生】

・温水プールを作ってほしい。
・プールをまいにちしたいからまいにちならえるようにしてください。
・サッカーじょうを作ってほしい。
・しばふのサッカー場を作ってください。
・バレーのできるばしょがほしいです。
・わたしは剣道を習ってみたいので、剣道所やそんな所を作ってください。わたしは剣道にあこがれています、なのでやってみたいです。おねがいします。
・剣道場を作ってください。
・わたしは卓球や体操や空手をやってみたいので、なにか体験できるものがあったら行ってみたいです。やってみて楽しいと思った人がいれば教室をひらけばいいと思います。
・ビーチ・バレーボールをたくさんしたいので、もっと体育館をつくってほしい。水泳(温水プール)もつくってほしい。
・卓球教室やけん道の部かつみたいなのを作ってください。
・たっきゅうでときどきしあいをしたいです。よろしくおねがいします。
・卓球場を作ってほしいです。
・いろんなしゅもくのれんしゅうじょうもつくってほしい。(３スペースぐらいはあってほしい)
・おそい時間にはあまり運動をしたくないので、５時～７時ぐらいにできる卓球きょうしつを作ってください。
・外のプールで楽しみたいので、屋外の夏期間のみのプールを作ってください。
・ほかの習い事の曜日とかかぶるから、いつでも行けるように。
・陸上で広いはんいで走れるようにグラウンドを少し広くしてほしい。
・陸上をしたいので広いグラウンドを作ってください。
・運動場を作ってほしいです。
・だれでもできるうんどう。
・ダンスの場所を作ってほしい。
・アスレチックを作ってください。
・バドミントンの場所をつくってください。
・広い公園を作ってください。
・温水プールをもっと広くしてほしいです。
・だれでも楽しくあそべる運動場（ゆうぐがある）をつくってほしいです。
・だれでもあそべるばしょをつくってほしい。
・B&Gにスケボーができるつるつるのコンクリートがある場所を作ってほしい。
・スケボーができる場所をつくってください。
・アスレチックなゆうぐがある公園を作ってください。
・100mのどっくらんをつくってください。
・しぜんかんきょうにやさしい　エネルギーをつかわない、外のダンスきょうしつを作ってほしいです。
・けんどうれんしゅうように広いたいいくかんをつくってほしいです。
・バッティングセンターを作ってほしい。
・すべり台をつけてほしい。
・子どもだけがかよえる　たっきゅう教室をつくってください。
・スケート場

【２年生】
・パパとママが、したいと言ってもさしてくれない。
・水みんぐをいっぱいつくってほしい。
・バスケットをいえのかたにおしえてもらいたいです。
・バドミントンのぱすやいろいろおしえてください。
・サッカーでそんした時間をふやしてほしい。
・うんどうじょうを雨の日でもあそべるようにしてほしい。
・うんどうじょうにやねがほしい。
・うんどうじょうをおりんぴっくにしたい。
・うんどうじょうがもっとたのしくなるといいな。
・あついので体いくかんにクーラーをとりつけたい。
※ 一枚、分からない文があった。
「くらがあたいくととスポツのかいぞうしてほしい」

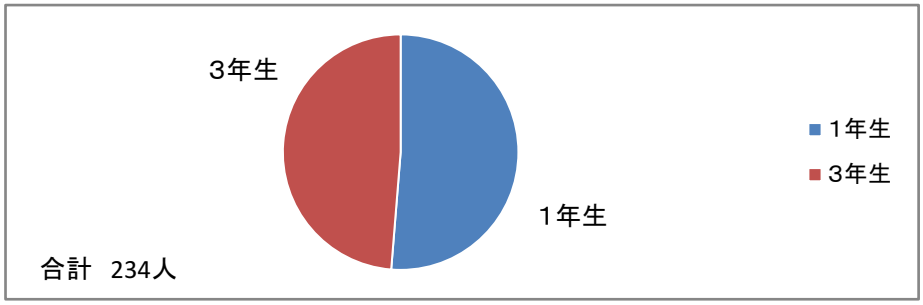
問６の１６（その他）
【４年生】
・しょうぎ
・柔道
・チアリーディング
・ダンス
・ランニング
・ボート
・ボクシング
・なわとび
・おいかけっこ
・こども会ですること
【２年生】
・ダンス
・じゅうどう
・ドッヂボール
・バレエ
・Ｊスクール

問７の１６（その他）
【4 年生】
・弓矢
・そうごうかくとうぎ
・テコンドー
・ダンス
・ドッヂボール
・プロレス
【２年生】
・車イスバスケ

スポーツ活動に関するアンケート集計結果【中学校　1年生・3年生】

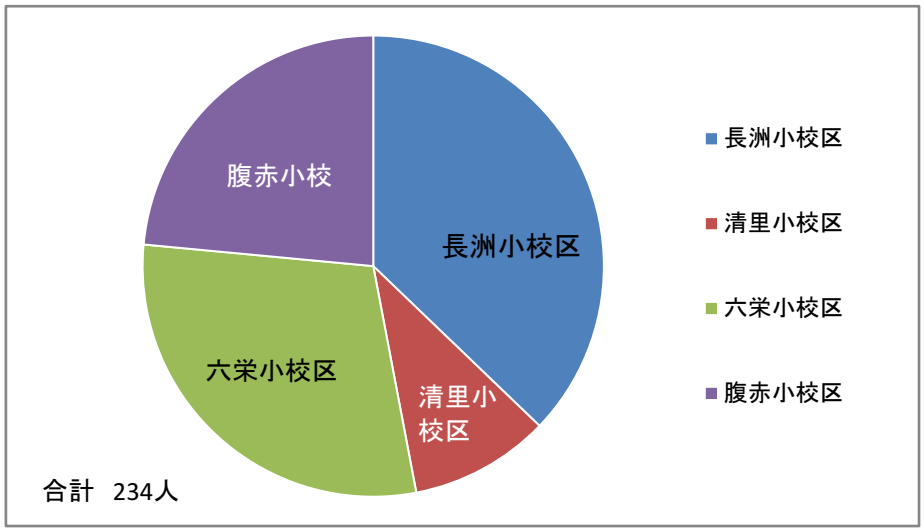
問1　あなたは何年生ですか？

	回答数
1年生	120
3年生	114



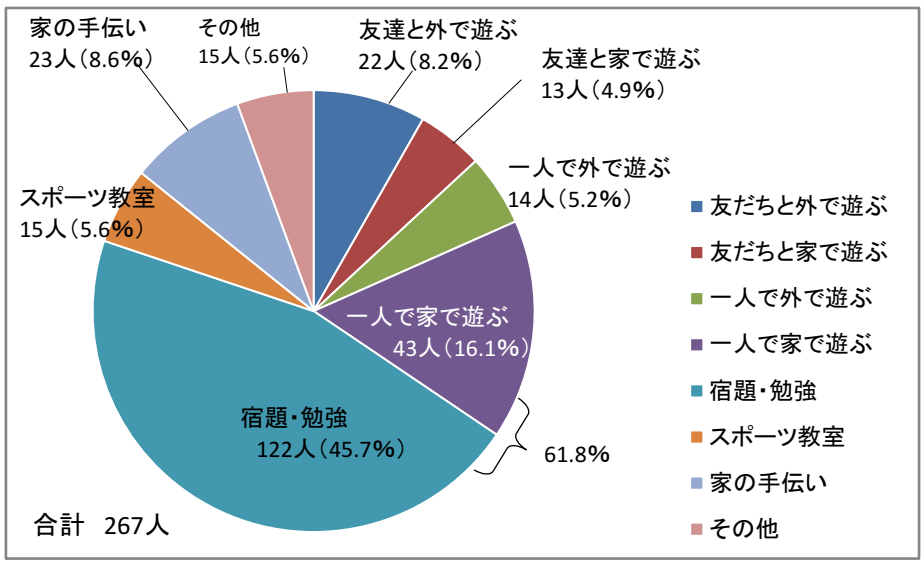
問2　小学校校区は？

	回答数
長洲小校区	87
清里小校区	23
六栄小校区	69
腹赤小校区	55



問3　学校から帰ってから主に何をしていますか？

	回答数
友だちと外で遊ぶ	22
友だちと家で遊ぶ	13
一人で外で遊ぶ	14
一人で家で遊ぶ	43
宿題・勉強	122
スポーツ教室	15
家の手伝い	23
その他	15

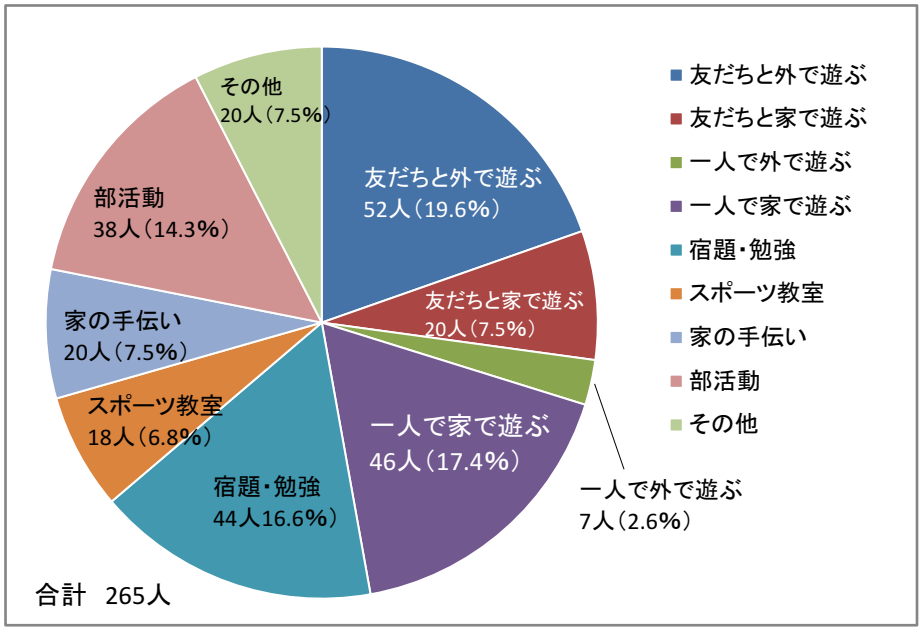


※その他　（ゆっくりする、ゲーム、寝る、テレビ、スマホ、家族と遊ぶ、学習塾、家で絵を描く、クラブチームへ、自主練）

【考察】
中学校では、放課後の部活動への加入率が6割以上で、下校後の時間が遅くなり、自宅で過ごす時間が多くなると考えられる。
「その他」での回答内容からも、自宅で過ごす内容が多いようである。

問4　学校が休みの日は主に何をしますか？

	回答数
友だちと外で遊ぶ	52
友だちと家で遊ぶ	20
一人で外で遊ぶ	7
一人で家で遊ぶ	46
宿題・勉強	44
スポーツ教室	18
家の手伝い	20
部活動	38
その他	20

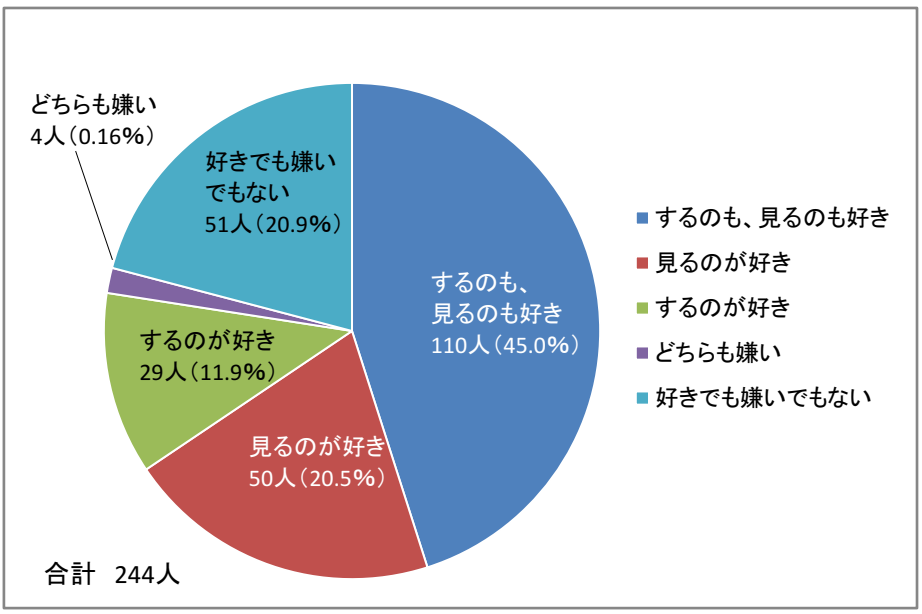


※その他（YouTubeを見る、ゆっくりする、ゲーム、学習塾、お出かけ、絵を描く、スマホ、太鼓、読書、寝る、水泳、バスケ、きょうだいと遊ぶ、クラブチームで練習）

【考察】
　今回は、項目（内容）での差がない。前回は部活動は33%で、今回は14.3%と減少していることと、家の中で過ごす内容が41.5%とかなりの割合を占めている結果から、今回はアンケート時期がコロナ禍のなかであったための結果だろうと推察する。

問5　スポーツは好きですか？

	回答数
するのも、見るのも好き	110
見るのが好き	50
するのが好き	29
どちらも嫌い	4
好きでも嫌いでもない	51

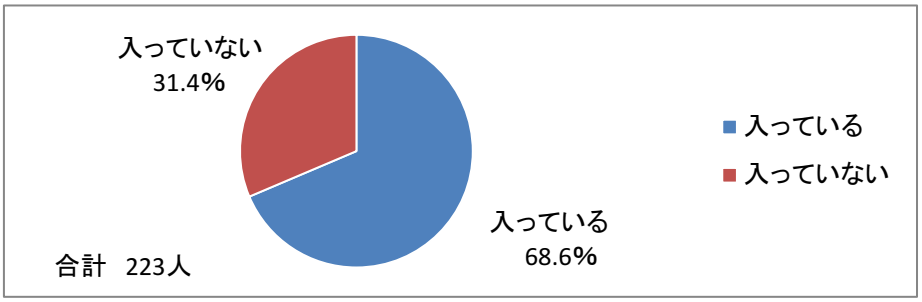


【考察】
　前回と同じ傾向ではあるが、「どちらも嫌い」は前回の4%→0.16%とかなり少なくなっている。それと、「見るのが好き」の割合が13%→20.9%に増えている。スポーツに興味関心がある中学生が増加していると推察する。「好きでも嫌いでもない」はまったく同じ傾向であった。

問6　学校の部活動（運動系）に入っていますか。

	回答数
入っている	153
入っていない	70

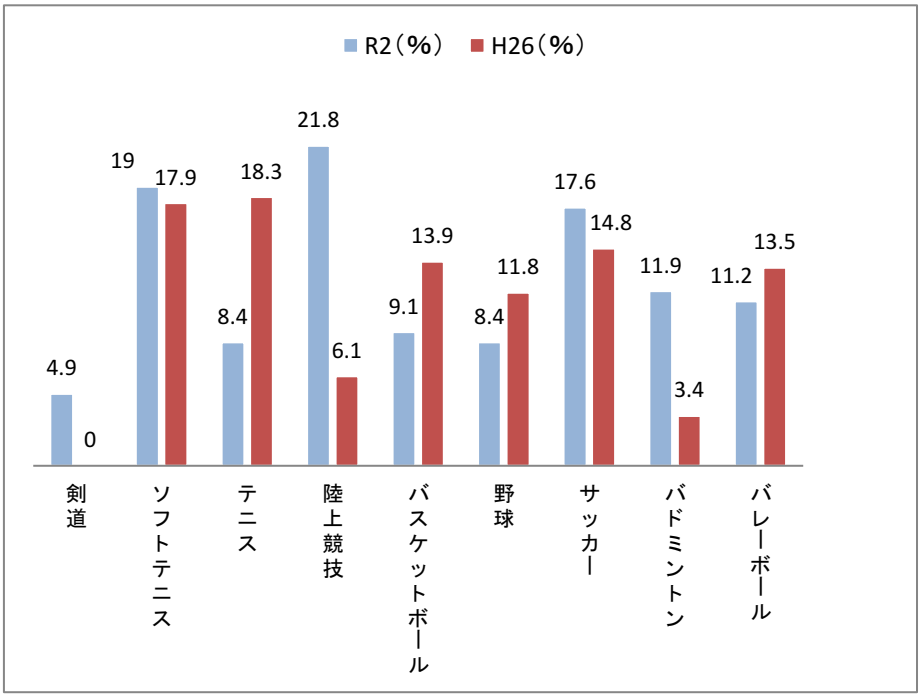
前回とほぼ一緒であった。



問7　問6で「入っている」と答えた人に聞きます。それは何部ですか？

	R2（%）	H26（%）
剣道	4.9	0
ソフトテニス	19	17.9
テニス	8.4	18.3
陸上競技	21.8	6.1
バスケットボール	9.1	13.9
野球	8.4	11.8
サッカー	17.6	14.8
バドミントン	11.9	3.4
バレーボール	11.2	13.5

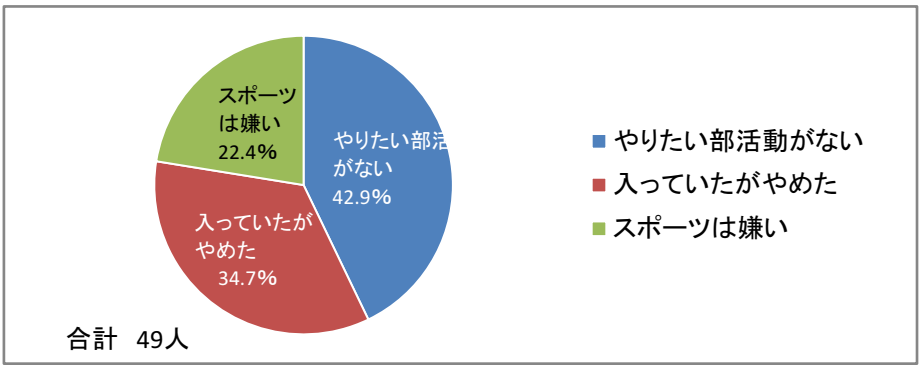
時期的に1年生がまだ入部していないことで「入っていない」と判断した感がある。



問8　問6で「入っていない」と答えた人に聞きます。なぜ入っていないのですか？

	回答数
やりたい部活動がない	21
入っていたがやめた	17
スポーツは嫌い	11

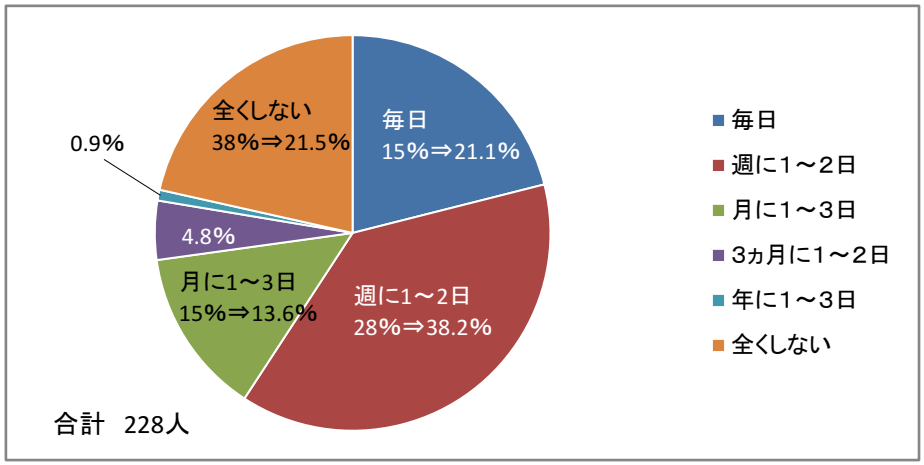
※問6で「入っていない」は70人なのに、この問いの回答数は49人のみである。



【考察】
　数字の整合性がないのは、無回答（何もかいていない）の生徒がかなりいた。質問が実情に合わない問い方になっていたのではないか？と考える。その前の問7で考えたとおり、時期的なものが影響していて、入部する直前の時期であったのと、アンケートに答えるときは、コロナ禍の中で部活動が多少の自粛の期間でもあったことも結果に影響していると推察している。それと、吹奏楽部の人が問8に答えにくかったのではないか？ ただ、傾向としては大きな変化はないように感じる。したがって、今後、各中学校の加入率やその内訳については再度調査をしてみたいと考えている。
　部活動にいては、運動部活動のみならず放課後の生徒の活動環境として、今後も継続した調査・研究が必要となるので、引き続き結果については公表していく。

問9　学校の授業や部活動以外でスポーツをどのくらい行っていますか？

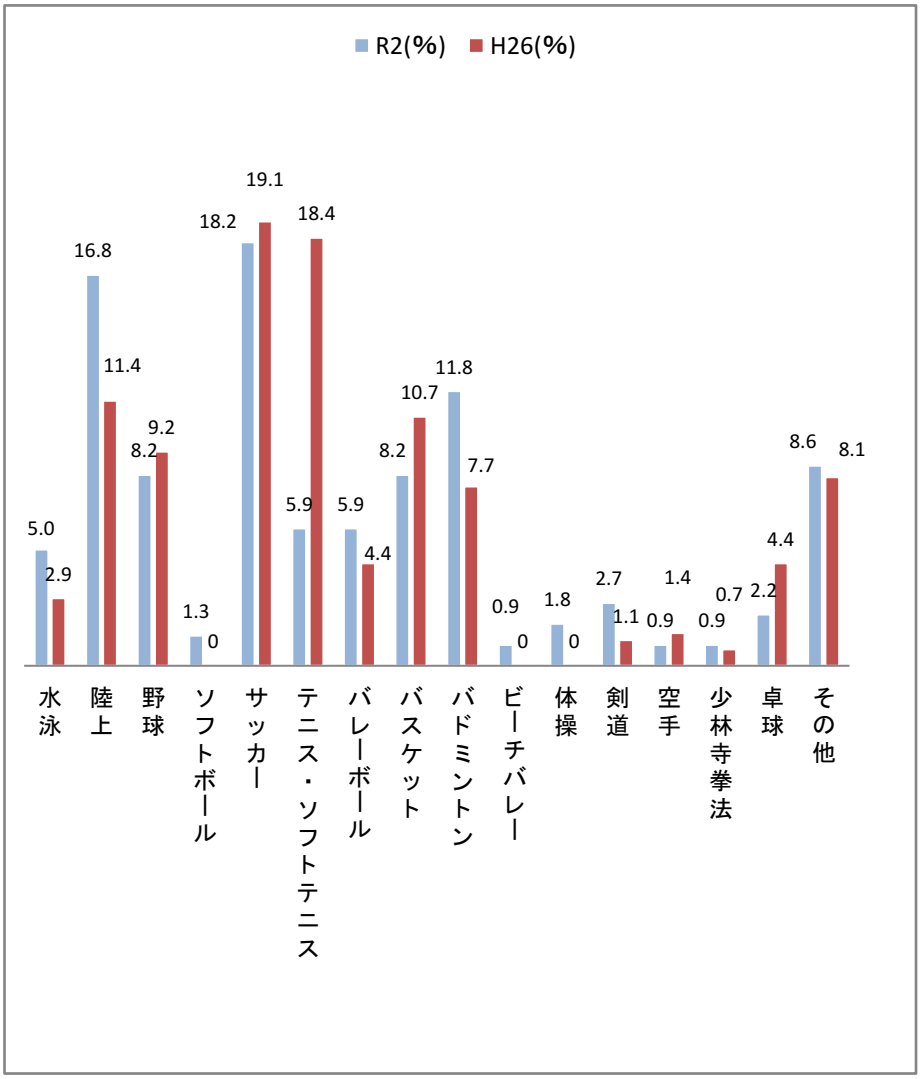
	回答数
毎日	48
週に1～2日	87
月に1～3日	31
3ヵ月に1～2日	11
年に1～3日	2
全くしない	49



【考察】
「毎日」と「週に1～2日」の割合が前回より高まり、約6割を占めている。さらに、「全くしない」が21.5%と少なくなり、スポーツ実施率は高まったといえる。部活動と違う活動も増加しているのであろう。

問10　問9で運動・スポーツを行っている人は、種目をすべて答えてください。

	R2(%)	H26(%)
水泳	5	2.9
陸上	16.8	11.4
野球	8.2	9.2
ソフトボール	1.3	0
サッカー	18.2	19.1
テニス・ソフトテニス	5.9	18.4
バレーボール	5.9	4.4
バスケット	8.2	10.7
バドミントン	11.8	7.7
ビーチバレー	0.9	0
体操	1.8	0
剣道	2.7	1.1
空手	0.9	1.4
少林寺拳法	0.9	0.7
卓球	2.2	4.4
その他	8.6	8.1

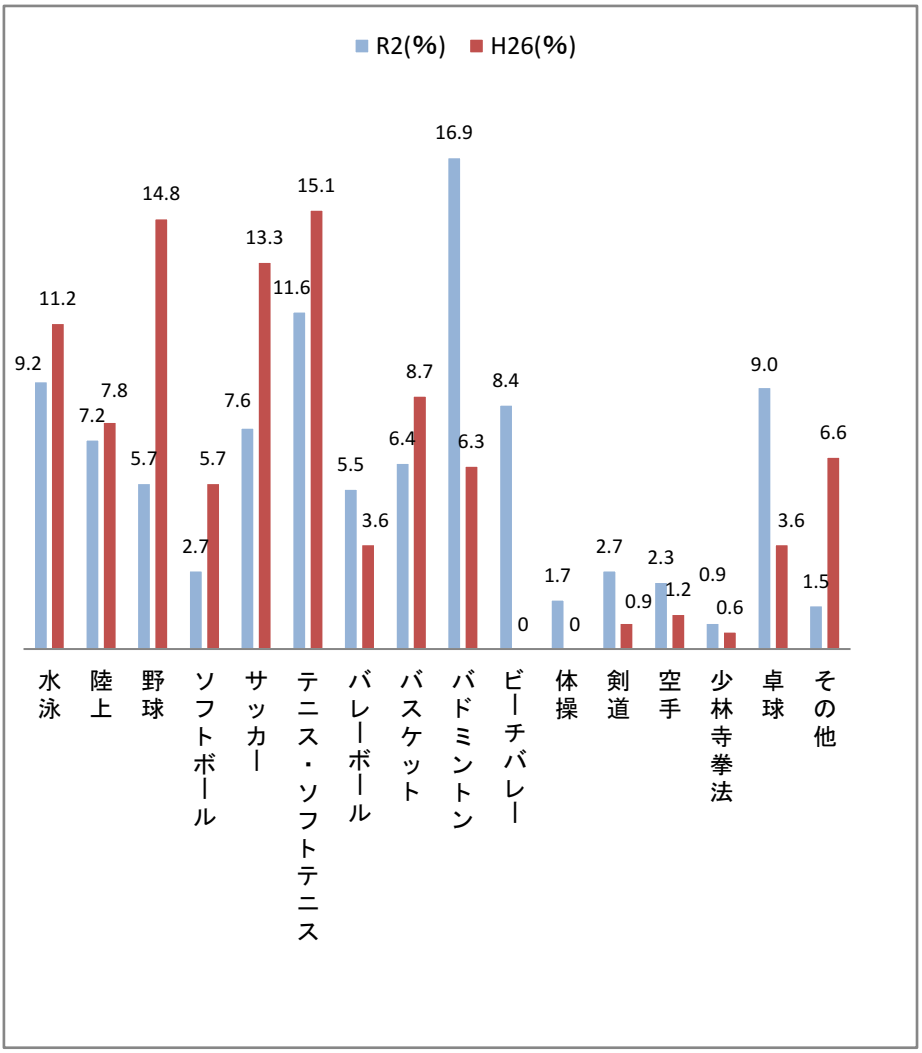


※その他（ダンス、テコンドー、極真空手、レスリング、柔道、チアリーディング、筋力トレーニング、ランニング、ストレッチ体操、縄跳び

【考察】
前回は種目によってはゼロ回答もあり、偏りもあったが、今回はまんべんなく回答している。多様化しているのか？とも考えられる。

問11　現在、運動・スポーツをやっている人も、やっていない人も今後やってみたいスポーツを選んでください。

	R2(%)	H26(%)
水泳	9.2	11.2
陸上	7.2	7.8
野球	5.7	14.8
ソフトボール	2.7	5.7
サッカー	7.6	13.3
テニス・ソフトテニス	11.6	15.1
バレーボール	5.5	3.6
バスケット	6.4	8.7
バドミントン	16.9	6.3
ビーチバレー	8.4	0
体操	1.7	0
剣道	2.7	0.9
空手	2.3	1.2
少林寺拳法	0.9	0.6
卓球	9	3.6
その他	1.5	6.6

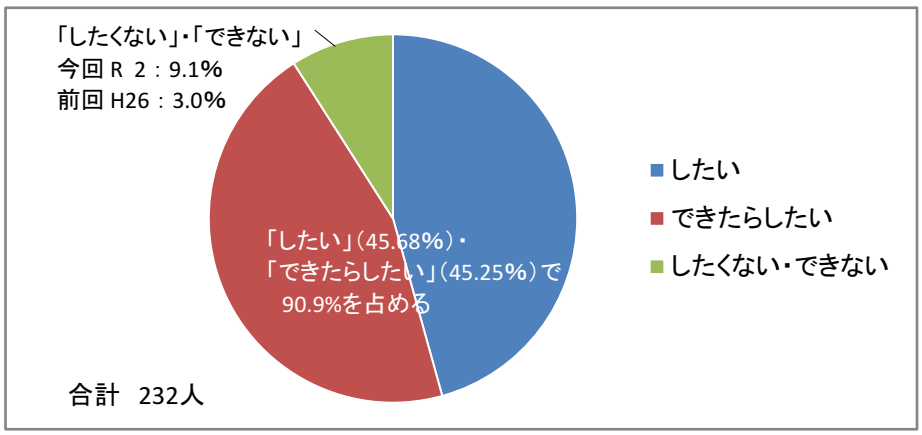


※その他（ダンス、ハンドボール、ボルダリング、トライアスロン、ボッチヤー、自転車、カーレース）

【考察】
　やはり、種目の多様化していることが、見て取れる。幅広い内容がニーズとしてあると考えられる。

問12　今後、スポーツをしたいと思いますか？

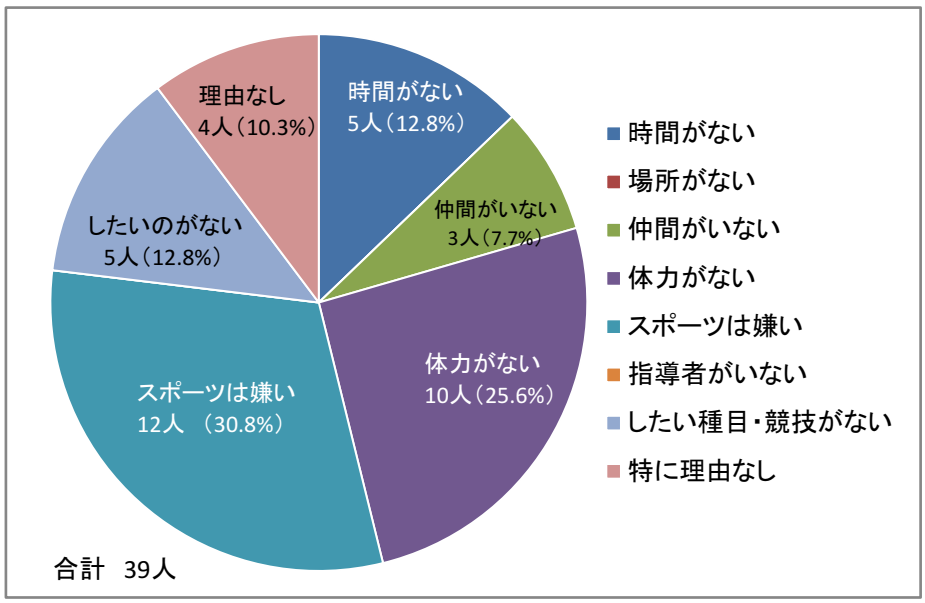
	回答数
したい	106
できたらしたい	105
したくない・できない	21



【考察】
　前回のアンケートでは、「したくない・できない」は13%であった。ほぼ90.9%が「したい」・「できたらしたい」と答えていて、やりたい気持ちを持っている生徒が微増している。やる・やれる環境をどのように整えていくか、これからも継続してよりよい環境づくりを進める努力が必要であると考える。

問13　問12で「したくない・できない」（全体で9.1%）を選んだ理由を選んでください。

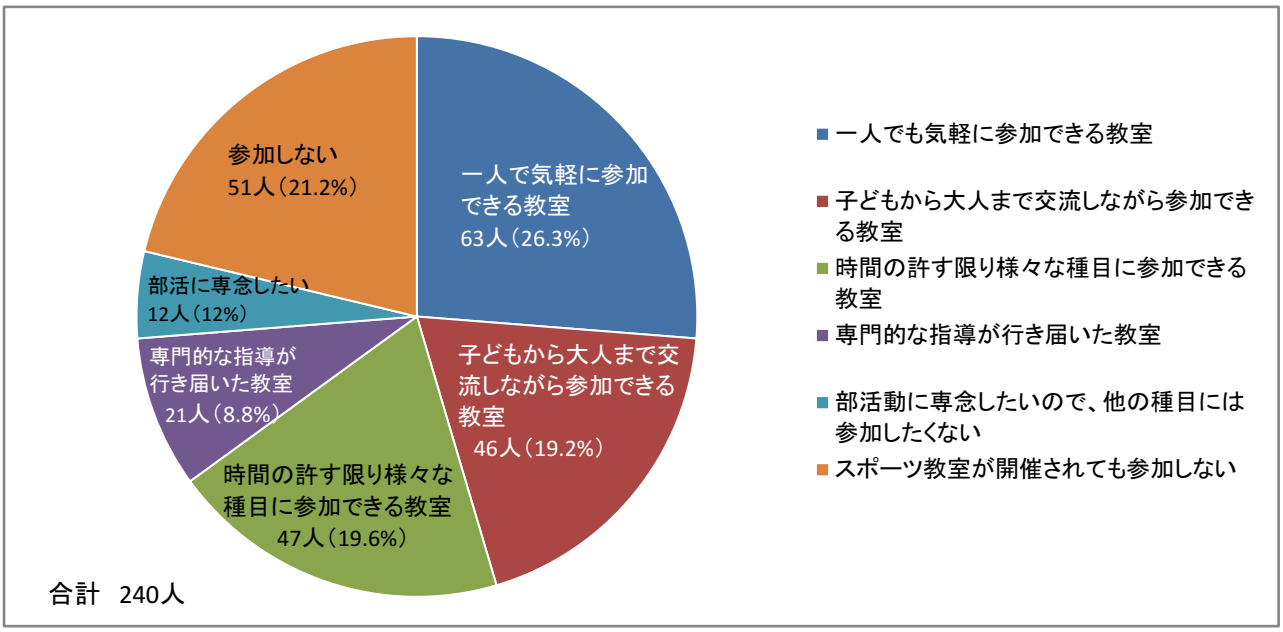
	回答数
時間がない	5
場所がない	0
仲間がいない	3
体力がない	10
スポーツは嫌い	12
指導者がいない	0
したい種目・競技がない	5
特に理由なし	4



【考察】（※前回と同様の傾向であった）
「したくない・できない」の割合を少ないものの、その内訳の中に「体力がない」・「スポーツは嫌い」の生徒が少数ではあるが、存在することを学校現場や地域のスポーツ活動に関わる者としては意識しておく必要があると考える。スポーツ活動は権利として存在する以上は、環境を整えることは責務である。

問14　今後、長洲町で多種目のスポーツ教室を開催するとしたら、どのようなスポーツ教室を望みますか？

	回答数
一人でも気軽に参加できる教室	63
子どもから大人まで交流しながら参加できる教室	46
時間の許す限り様々な種目に参加できる教室	47
専門的な指導が行き届いた教室	21
部活動に専念したいので、他の種目には参加したくない	12
スポーツ教室が開催されても参加しない	51



【考察】（※この問いも前回と同様の傾向であった）
「スポーツ教室が開催されても参加しない」の21.2%をどのような環境にしていくか？そして、皆が参加しやすいスポーツ環境を考えてく必要がある。

問１５　長洲町のスポーツに関して意見を記入してください。

・B&Gのプールで年間パスポートのようなものがほしい。
・陸上のクロスカントリーのコースがほしい。
・有明グラウンドを新しくしてほしい。
・サッカー教室などをしてほしい。
・長洲中のグランドをもっと大きくしてほしい。
・長洲校区ふきんにスポーツができる場所がほしい。
・強制的なのはやめてください。
・スポーツ系のイベントをもっとすべきだと思います。
・町でしてない人もサッカーでチームをつくり金鯉などで大会をしたい。
・楽しくスポーツをしたい。
・ビーチバレーが楽しいです。
・スポーツは楽しいです。
・前に習っていたニコニコビーチボールバレーが楽しかった。

第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第１期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
生涯におけるスポーツ活動の推進	（１）子どものスポーツ活動の推進	小中学校運動部活動等の充実	幼児期からスポーツに親しむことは、子供たちの体力・運動能力の向上を図るとともに生涯を通じて、楽しみながらスポーツに取り組む意識づくりや、運動習慣の確立につながります。このため、家庭、学校、地域、各種スポーツ団体等が連携し、子供たちの発達段階に応じたスポーツ活動の場の提供と、スポーツ環境の整備・充実に取り組んでいかなければなりません。	小中学校における体育授業や運動部活動は、児童生徒のスポーツへの興味付けを図るうえで重要です。なかでも、小中学校における運動部活動については、子どもたちの心身の成長を促すだけでなく、友情を深めるなどの好ましい人間関係を育てる環境として部活動の推進を行っていかなければなりません。このようななか、県内の小学校運動部活動のあり方について「実施可能な地域、学校、種目から、現行の学校体育から社会体育へ移行。」の提言がなされ、熊本県でも「小学校の運動部活動を社会体育へ移行する」との基本方針が出されました。今後、本町でも学校・保護者・教育行政等の関係者を交えながら、「望ましい子どもたちのスポーツ環境の整備」といった視点で、社会体育への移行に取り組んでいかなければなりません。	◇小学校における運動部活動の社会体育への移行に関する取り組み →平成28年度から小学校部活動の社会体育へ移行 NPO法人長洲にこにこクラブ 〔総合型地域スポーツクラブ〕（16種目18教室194名） 【良かった点等】 ・保護者要望等の把握 ・関係者間の共通理解・意思統一 ・保護者への説明・理解 ・複数種目への参加 ・教師の負担軽減 ・世代間及び他校生との交流 【反省点等】 ・指導者不足 ・放課後空白時間問題 ・送迎問題 ・活動時間帯 ・費用負担 ・参加者減少 ・子どもスポーツ計画未策定	③	①	・部活動が社会体育（にこにこクラブ）に移行されたが、より多くのプログラムを取り入れ、多くの子どもたちのスポーツ環境の向上及び充実を目指すには主として下記の問題がある。 ☆指導者不足 ☆放課後から社会体育での活動時間までの空白時間をどうするか？ ☆送迎問題 ☆活動時間帯 ☆費用負担（受益者負担の原則）の理解 ☆参加者を増やす方策 ☆子どもスポーツ計画未策定等 町体育協会等が関われる人材をNPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)に紹介し、地域の指導者等が活動に参画できるような環境づくりが必要である。現在も小学生においては、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）で活動されている場合には子供たちや参加者間で非常に良い人間関係が構築されるのと感じている。学校の部活動から、地域部活動として今後も取り組む必要がある。
		トップアスリートによる夢の教室		オリンピック・世界大会への出場選手など、高い技能・実績を有するサッカーや水泳等の各種トップアスリートを招き、子どもたちが生の体験談を直に聞き・目にすることができる「夢の教室」事業等により、トップアスリートと子どもらによる語らいの夢づくりに取り組みます。	◇トップアスリートによる「夢の教室」事業等の開催 学校教育課において「夢の教室」（対象を小5、中2として夢を持つことの大切さやフェアプレー精神、仲間と協力することの大切さ等を講義と実技を通じて子供たちに伝える）として確立されている。 【反省点等】 「夢の教室」のみとするのか他団体開催のトップアスリート教室等も「等」として該当させては	④	③	学校教育課において「夢の教室」（対象を小5、中2として夢を持つことの大切さやフェアプレー精神、仲間と協力することの大切さなどを講義と実技を通じて子供たちに伝える）として確立されている。活動の名称では「夢の教室」と限定されているが今後の方向性等での「夢の教室」事業等として他団体のトップアスリート教室も該当させる
		子ども子育てスポーツ活動の充実		幼児・児童のスポーツ活動を通した健全で・健やかな身体づくりとして、六栄保育所における運動教室の実践や、保育への運動プログラム導入による運動能力の向上を目指し、子ども子育て支援の拡充を図ります。	◇スポーツプログラムによる子ども子育て支援の拡充 〔NPO法人長洲にこにこクラブ〕 六栄保育所において運動教室を開催（R1.1.12終了） 小学校水泳教室（2回202名） 放課後子どもプログラム（8回177名） 〔子育て支援課・社協事業〕 ミニ運動会、はいはいよちよち大会（183名）	②	①	・子育て支援センター等との連携強化によるプログラムの見直しや新プログラムの導入 ・幼児版ＡＣＰ（アクティブチャイルドプログラム）の導入及び普及
		子どもたちがスポーツに親しむ機会の充実		子ども会運動会や球技大会、地元スポーツ少年団体によるスポーツ活動など、子どもたちのスポーツ活動への参加をより促し、子どもたちがいろんなスポーツ活動に参加しやすい環境整備として、各種スポーツ大会等のスポーツに親しむ場・機会を拡充します。	◇子ども会スポーツ大会の開催支援 運動会、ビーチボールバレー大会、ソフトボール大会、ティーボール大会※、駅伝大会（730名） ※ティーボール大会はウォークラリー大会に	②	①	・指導者の発掘や育成等のシステム構築や町児童福祉担当課や学校、子ども会との連携による「子どもスポーツ推進計画」等の策定等 ・ＡＣＰ(アクティブチャイルドプログラム)と総合運動教室の実施 ・種目やプログラムの充実
		各種スポーツ教室の開催		子どもたちの心身の健全な発達を目指し、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）や指定管理者による多彩な運動教室を開催し、子どもたちがいろんなスポーツに出会い・スポーツを始める機会を提供します。また、ジュニア世代の選手の育成・競技力の向上を目指して活動している、地元スポーツ少年団体に対する活動支援に努めます。	◇子ども向け各種スポーツ教室の開催支援 〔にこにこクラブ〕通常教室（14種目17教室） 〔指定管理者〕水泳教室（1種目2教室） ◇海洋性スポーツの振興 〔指定管理者・九看大等〕海洋教室 【良かった点等】 教室、イベントが増え運動・スポーツに親しむ機会の増加が図られた。 行政主導から民間主導への意識転換の高揚、受益者負担の意識付け 【反省点等】 指導者不足 関係団体の連携	②	①	・指導者の発掘や育成などのシステム構築や町児童福祉担当課や学校、子ども会との連携による「子どもスポーツ推進計画」等の策定等 ・ＡＣＰ(アクティブチャイルドプログラム)と総合運動教室の実施 ・種目やプログラムの充実 ・スポーツ活動に参加していない子どもたちをどのようにしてスポーツに興味を持たせ、スポーツ活動へと導くか

第I期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第Ⅰ期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
生涯におけるスポーツ活動の推進	（2）成人スポーツの推進	魅力あるスポーツ大会・イベント等の開催	今日、多様化している住民のスポーツニーズに対応し、生涯にわたって一人ひとりがいつでも、どこでも、気軽にスポーツを親しむことができる、生涯スポーツの推進を図るための環境整備がますます重要となっています。このため、住民が生涯にわたり興味や目的に応じて、身近にスポーツに親しむことができるようニーズに合った様々なスポーツ活動の場を提供し、成人スポーツの推進を図ります。	町民体育祭、町駅伝大会など町主催の各種スポーツ大会のより一層の振興に向け、住民、各種関係団体、参加者のニーズに即したプログラムの見直しを行い、魅力あるスポーツ大会の開催により、住民、参加者が喜べるスポーツ大会等の開催を図ります。	◇魅力ある各種スポーツ大会等の開催 ・町事業　町民体育祭等（4大会2,875名） ・町体協　長洲マラソン大会等8大会 ・にこにこスポーツフェスタ(1000名)、史跡巡りウォーキング等 【良かった点等】町民の親睦・融和及びスポーツの振興が図られた。 【反省点等】・事業のマンネリ化、開催を含めたイベントの見直し等 ・他の年代と比べ成人のスポーツ実施率が低い	②	Ⅰ	事業等のマンネリ化が予想されることから事業の開催を含めたところでの事業の見直し新規事業等の導入を検討する必要がある。
		地域住民、地元企業によるスポーツ行事への支援		住民の誰もが気軽に参加できる地元での体育祭、ウォーキング大会、グラウンドゴルフ大会など、地元住民の親睦・融和、コミュニティーづくりとして、地域で行われているスポーツ大会の開催を支援します。また、地元企業におけるスポーツ行事の開催も支援します。	◇地域におけるスポーツ行事の開催支援 ・腹赤区民球技大会 ・腹赤区民体育祭 長年多数の参加があり区民で自主運営されている。	③	Ⅰ	身近なところ（各区等）で、どのようなイベントが組まれているのかの把握が必要である。（スポーツ行事の重複をなくす）
		スポーツ出前講座の開催やスポーツ用具の貸出し		ニュースポーツの紹介・体験、スポーツの出前講座や地域・団体へのスポーツ用具の貸出しを図り、気軽に住民がスポーツ活動ができる環境整備を図ります。	◇スポーツ出前講座の開催 ・にこにこ（ペタンク出前講座→大明神区・立野区） ◇スポーツ用具の貸出し（貸出し用具） 輪投げ(輪100、台15)ドッジビー(12)ベース（野球3ソフト11ダブル4） ペタンク（7）グラウンドゴルフ(8H×3)同ステック(6本×16組)	③	Ⅰ	・スポ推等での出前講座が少なく、他団体等と合同でできないか？ ・ニュースポーツ等について勉強会や情報交換等が行われているか？
		スポーツ大会等への民間の力の活用		これまで行政主導で行ってきたスポーツ大会やスポーツ教室など各種スポーツ事業の推進について、長洲町体育協会、長洲町スポーツ推進委員、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）、指定管理者など民間の力の活用により、行政と連携しながらさらに魅力的で効率的なスポーツ事業の推進を図ります。	◇民間による魅力あるスポーツ大会や各種スポーツ教室の開催 ・にこにこスポーツフェスタ（NPO法人長洲にこにこクラブ） ・町長杯サッカー大会含む8大会（各町体協等） 【良かった点等】 ・町民の親睦・融和及びスポーツの振興が図られた。 ・にこにこスポーツフェスタが盛んになり、参加者も多様化している。 【反省点等】 ・事業のマンネリ化、開催を含めたイベントの見直し等 ・他の年代と比べ成人のスポーツ実施率が比較的低い	②	Ⅰ	・各種大会や教室を開催している各種目団体等の組織の充実及び活性化が必要である。 ・体育協会自体の研修会や指定管理者やNPO法人長洲にこにこクラブ等との関係強化等の必要がある。（にこにこクラブに任せきりではなく、お互いの弱点をカバーできるような体制づくりが必要） また、スポ推の体協事業への協力体制の構築も必要である。

第I期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第Ⅰ期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
生涯におけるスポーツ活動の推進	（3）高齢者スポーツの推進	各種高齢者のスポーツ大会等の開催支援	高齢化が進むなか、運動やスポーツ活動を通した高齢者の健康づくり・生きがいづくり・仲間づくりは、高齢者自身や地域社会にとっても、より一層その重要性を増してきています。食生活の向上や医療技術等の進歩により平均寿命が延びている一方、加齢による体力の衰えが気になる高齢者においては、健康づくり・体力づくりに対する関心が高まっており、これらに対する取り組みの充実が望まれています。このため、高齢者の体力や運動能力に合わせたスポーツ・運動教室等への参加を通じて、「元気な高齢者」が増えていくように取り組んでいかなければなりません。	高齢者間の親睦・融和・交流や健康づくり・体力づくり等を目的として開催されている老人クラブ連合会体育祭、各種グラウンドゴルフ大会など、各種高齢者のスポーツ大会の開催・支援を行っていきます。	◇各種高齢者のスポーツ大会等の開催支援 ・老連グラウンドゴルフ大会、社協会長杯グラウンドゴルフ大会（228人） ・クリーンウォーク（63人）	②	①	・町福祉保健介護課や社会福祉協議会、老人クラブ連合会等との連携強化が必要となる。また、スポ推の体協事業への協力体制の構築も必要である。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へとつなげていく必要がある
		介護予防・元気づくり事業の推進		高齢期になっても自立した生活が可能な限りできるよう、またいきいきと毎日を過ごせるように、65歳以上の高齢者の介護予防を目的として、高齢者の体力向上につながる軽体操、脳を活性化させる運動プログラムなど、介護予防・元気づくり事業に取り組みます。	◇介護予防・元気づくり事業の推進 ・にこにこスポーツフェスタ(体組成計使用骨密度測定、脳年齢検査、運動プログラムの紹介) ・社協事業（元気アップリーダー養成講座、同フォローアップ講座、介護予防リーダー養成） ・げんきの館事業・介護予防拠点施設での健康教室等開催 〔良かった点等〕 ・にこにこスポーツフェスタでの体組成計測定等は好評である。 ・介護予防拠点施設での健康教室等が定着してきつつある。	②	①	・町福祉保健介護課や社会福祉協議会、老人クラブ連合会等との連携強化が必要となる また、スポ推の体協事業への協力体制の構築も必要である。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へとつなげていく必要がある
		健康・体力づくりへの働きかけ		高齢者が、健康でいきいきといつまでも地域で生活できるように、健康づくり・体力づくりに対する意識づくりを図るとともに、健康診断の受診率向上に努めます。また、「健康ながす21」に基づく高齢者の健康相談事業の拡充を図ります。併せて、健康・体力づくりを継続させるためのきっかけづくりや目標として体力テスト等に取り組みます。	◇健康に関する講座の開催 ・社協事業（元気アップリーダー養成講座、同フォローアップ講座、介護予防リーダー養成講座） ◇体力テスト等による健康意識づくり ・にこにこスポーツフェスタでの健康プログラムの紹介及び体力テストの実施	③	①	・町福祉保健介護課や社会福祉協議会、老人クラブ連合会等との連携強化が必要となる。 また、町スポーツ推進委員協議会の町体育協会事業への協力体制も必要である。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へとつなげていく必要がある
		公民館（介護予防拠点施設）での手軽な健康教室への参加奨励		高齢者が、長年住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせるように、身近な施設である地区公民館（介護予防拠点施設）を会場に気軽に参加できる運動教室の開催・参加奨励を図ります。	◇地区公民館（介護予防拠点施設）での運動教室の開催・参加奨励 ・健康体操教室（指定管理者、NPO法人長洲にこにこ） ・げんきアップ教室（36区206回2,422人） ・元気はつらつ地域学習講座（生学）	②	①	・地区公民館等で体操教室等行っているが、定着してきたものについては、教室ではなくクラブとして活動をしてもらい自立へと促す。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へとつなげていく必要がある
		高齢者のスポーツ教室等の開催		スポーツや運動を通じての高齢者の健康づくり・体力づくりのため、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）や指定管理者と連携しながら、高齢者が気軽に参加できるスポーツ教室の開催を図ります。	◇各種高齢者のスポーツ教室等の開催 〔指定管理者〕 ・笑顔グラウンドゴルフ教室、笑顔ピーチ教室、介護予防体操教室 〔NPO法人長洲にこにこクラブ〕 ・卓球教室、にこにこ運動、硬式テニス教室、健美操等	②	①	体力状況の把握(体力測定等の実施)を行うことで各々の必要とされる機能等を平均の値まで近づける方法や教室の紹介等を行い、介護予防へとつなげていく必要がある。

第I期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第Ⅰ期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
生涯におけるスポーツ活動の推進	（4）障がい者スポーツ	ユニバーサルデザインの推進	ノーマライゼーションの理念のもと、障がい者のスポーツ振興は、身体の機能回復の手段として福祉の観点にとどまらず、障害の種類・程度や体力等に合わせてスポーツに親しんだり、自己能力の開発等を目指したり、充実感が実感できるような日常的にスポーツを行うことができる環境づくりが重要です。そのため、障がい者のスポーツ活動を支える人材の確保を図るとともに、障がい者団体と連携した障がい者スポーツ大会、講習会の開催、施設のバリアフリー化など、障がい者がスポーツ活動のしやすい環境づくりを進めます。	町スポーツ施設について、障がいのある人もない人にも優しく誰もが利用しやすい施設として、スポーツ施設のユニバーサルデザインの推進に取り組みます。	◇スポーツ施設のユニバーサルデザインの推進 ・体育館からトレーニング室間の「すのこ」を変え車いすの利用がしやすくなった。 ・室内温水プールについては、車いすの方も利用しやすい構造である。	④	Ⅰ	各施設において、すべての人が利用するにあたり利用しやすい施設にできるよう、各年代等さまざまな団体利用者からの声を聴く機会等を持つ（利用者アンケートの実施等）
		障がい者のスポーツ活動の支援		障がい者の方を対象とした県・郡主催のスポーツ大会等への参加を支援します。また、町民体育祭等の町主催のスポーツ行事への障がい者の方が参加しやすい機会拡充に努めます。併せて、スポーツ活動参加時の障がい者の方の支援体制の拡充として、ボランティア体制の整備に努めます。	◇各種スポーツ・レクリエーション活動への支援 ・障がい者スポーツ交流事業指導者研修会（にこにこ） ・指導者会で障がい者スポーツについての研修会開催（にこにこ） 【良かった点等】　研修会等で障がい者スポーツに協力していただける人の把握ができた。 【反省点等】　関係機関等と連携強化し、町の現状、実態を把握しスポーツ交流事業等の推進を図り指導者やサポーター等の発掘育成を図る必要がある。	③	Ⅰ	町民体育祭等での障がい者の方も含めたところでの参加できるようなプログラムの見直しが必要である。
		障がい者スポーツ教室の開催		県障がい者スポーツ協会など関係機関の協力を得ながら、障がい者の方が参加できるスポーツ教室の開催を図ります。	◇各種障がい者スポーツ教室の開催 ・指定管理者、町マリンスポーツ指導者会と協力して障がい者の方を対象とした教室を開催。	③	Ⅰ	関係団体（町身障協、NPO法人長洲にこにこクラブ、指定管理者）との体制づくり及びボランティアの発掘や育成
		障がい者の関係機関との連携		障がい者の方のスポーツ活動を促進するため、長洲町社会福祉協議会、長洲町身体障害者福祉協議会等の関係機関や団体との連携を図ります。	◇障がい者の関係機関・団体との連携 ・にこにこクラブと町身障協で出前講座の話を行ったことで、にこにこの活動を知ってもらうきっかけとなった。また、行事等で出店の協力をお願いしている。	③	Ⅰ	現在、にこにこクラブや指定管理者等でスポーツ教室等を行っているが、その中でも誰でもが参加できるような体制づくり及びボランティアの発掘や育成
		ユニバーサルスポーツの推進		障がいの有無に関係なく、子供から高齢者まで、気軽に取り組めるユニバーサルスポーツの推進について、関係機関と連携しながら障がい者と健常者との交流機会の拡充に努めます。	◇ユニバーサルスポーツの推進 町民体育祭の中で身障協種目を2種目設定している。 〔良かった点等〕 町民体育祭の身障協種目での参加であるが町民の交流の場となっている。	④	Ⅰ	町民体育祭や各種スポーツ大会等においても誰でもが参加できるようなプログラムの作成及び携われるボランティア及びスタッフの発掘及び育成

第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第１期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
スポーツ活動の支援体制の充実	（１）ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の育成・支援	クラブ活動の周知	総合型地域スポーツクラブは、平成26年6月現在、県内で65クラブ（14市20町6村）が活動しています。本町では、平成20年6月、総合型地域スポーツクラブとして「長洲にこにこクラブ」が設立されました。平成26年度会員数138名。9つの定期種目と3つの特別教室を開催。その他、町保育所運動教室の委託事業等に取り組んでいます。設立から７年目を迎え、住民アンケート調査によれば、“クラブのことを知らない”と6割の方が回答し、クラブ活動についての理解や普及啓発が課題といえます。その一方で、少子高齢化の進行、住民の運動不足、長洲町体育協会会員の減少、小学校運動部活動の社会体育への移行などスポーツにおける地域課題がクローズアップするなか、住民参加型の自主的スポーツ団体である総合型地域スポーツクラブへの役割・期待が大きくなっています。平成27年2月末、長洲にこにこクラブが法人化されたことを機に本町では、これらスポーツ活動の諸課題に対して、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）を位置づけし、町と連携しながら地域スポーツの推進に向け、同クラブの育成・支援に取り組みます。	住民スポーツアンケート調査の結果から、クラブの認知度を高める必要があります。このため、各種事業の開催時など、さまざまな機会を活用しながらクラブ活動の周知を進め、会員やクラブ活動等の拡大を支援します。	◇クラブ活動の周知 ・定期的な募集活動時期のPR活動・学校へのチラシ配布 ・会員募集チラシ配布・FB等を利用した配信 ・町広報活用・各種報道活用*各団体へのPR活動 【反省点等】 ・PR不足・にこにこだよりが最近発行されていない。	②	①	小学校への水泳教室指導等を行っているが、それらの実績をもとにPR活動を行う。 また、会員の獲得及びクラブ活動の拡大を図るために町体育協会、指定管理者及び町スポーツ推進委員協議会等との連携協働及びPR並びに周知を行う必要がある。
		クラブ運営体の育成・拡充		クラブにおける活動の継続性、透明性を高め、地域のスポーツ活動の推進という公益活動に一層貢献できるよう、安定的な財源確保や組織作りに対する取り組みを支援します。	◇クラブの安定した財源確保への支援 ・財源確保策として六栄保育所運動教室、指定管理者事業共同体、介護予防運動教室実施 ◇クラブの安定した組織作りへの支援 ・独自での先進地視察及び各種研修会への参加	②	①	・財源確保としての受託教室等は必要であるが安定財源として会員の確保を行うために各種団体や地元企業並びに町外の団体等にもPR活動が必要である。 ・成人のスポーツ活動を促す方策を考える。
		クラブ運営体の育成・拡充		子どもから高齢者まで幅広い人々が、定期的・継続的にスポーツを楽しむことができるために、多様な種目を体験できるスポーツ教室の開催を支援します。	◇多彩なスポーツ教室の開催支援 ・トップアスリート事業の開催 サッカー、ロアッソサッカー、ヴォルターズ・鶴屋（バスケ）、ルネサス(バドミントン)、卓球、陸上等 通常教室（スポーツ・文化19教室）、新規教室も開催予定	②	①	・クラブ活動の充実により、教室は多種多様となってきているが、町体育協会、指定管理者及び町スポーツ推進委員協議会等との連携協働が必要である。 ・成人のスポーツ活動を促す方策を考える。
		地域におけるスポーツの活性化		少子高齢化、住民の運動不足、長洲町体育協会の会員減少、小学校運動部活動の社会体育への移行等の諸課題に対し、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）を有効なスポーツ活動組織として位置づけ、組織整備や業務に対する支援を行いながら、町と連携のもと地域におけるスポーツ活動の活性化に取り組みます。	◇子どものスポーツ活動への支援 ◇小中学校におけるスポーツ活動への支援 ◇高齢者のスポーツ活動への支援 ◇町民のスポーツ活動への支援 ◇町のスポーツ活動・行事への支援 ・長洲にこにこスポーツフェスタ ・町スポーツ団体情報交換会開催 ・小学校水泳授業サポート ・学童保育、放課後子ども教室運動プログラム指導 ・各区の運動教室指導 【良かった点等】 他団体の協力によりスポーツフェスタのプログラムと参加者が増えた。 小学校運動教室のサポート事業が増加傾向である。 【反省点等】幼児～高齢者までの教室はあるが偏りがある。	②	①	・クラブ活動の充実により、教室は多種多様となってきているが、町体育協会、指定管理者及び町スポーツ推進委員協議会等との連携協働が必要である。 ・成人のスポーツ活動を促す方策を考える。また、スポーツに触れることのない人たちへのアプローチや周知が必要 ・小学校運動教室のサポート事業が増加傾向であるため、充実を図る
	（２）スポーツ指導者、ボランティアの育成・確保	スポーツ指導者の養成	住民の多様化するスポーツニーズに対応した生涯スポーツの定着や、健康づくりを推進するため、スポーツや運動に関する技術をはじめとして、多様なスポーツの楽しみ方などの指導・助言など、子どもから高齢者まで幅広い人々に対応できる指導者の育成・確保に努めます。 また、長洲町体育協会や長洲町スポーツ推進委員等の関係団体と連携を図り、広く住民に対してスポーツボランティアの参加を呼びかけ、スポーツ時の指導、各種スポーツ大会の運営スタッフなど、各種スポーツ活動に応じた人材を適時適切に派遣できる体制づくりを目指します。	長洲町体育協会、長洲町スポーツ推進委員等の関係団体と連携し、地域のスポーツ指導者をはじめスポーツ団体を対象に、新しいスポーツに関する情報や専門的な知識・技能を身につけるための研修会・講習会への参加を通じてスポーツ指導者の養成を図ります。	◇スポーツ指導者の研修会・講習会の開催 にこにこクラブによる「研修会等への派遣」、「障がい者スポーツ交流研修会」等の開催	③	①	・NPO法人長洲にこにこクラブのみではなくそれぞれの団体の課題等を相互協力を行うことにより問題解決や活性化できるような方向性で推進する必要がある。 ・NPO法人長洲にこにこクラブと町体育協会の相互協力及び理解 ・指導者等の発掘及び育成
		長洲町スポーツ推進委員の資質向上		町スポーツ推進の中核的役割を担っている長洲町スポーツ推進委員の資質向上と技能取得を図るため、各種研修会等への参加を図るとともに、スポーツ・福祉・教育等など各種の有資格を有する優れた人材のスポーツ推進委員への登用に努めます。	◇各種研修会等への参加支援 県等の研修会への参加支援	②	①	・スポーツ推進委員の役割の中でも地域と行政等とのコーディネーターとしての重要性の確認を行い、にこにことの合同研修等により資質向上及び技能の獲得を行い出前講座等の充実を図る。 ・スポーツ版人材バンクの構築 （にこにこ、指定管理、体協、スポ推）
		専門的知識等を有する指導者の発掘・確保		選手や指導者として経験、実績、専門知識等を持ちながら、現にスポーツ指導活動に係っていない人材の発掘・確保に努めます。		③	①	スポーツ版人材バンクの構築 （にこにこ、指定管理、体協、スポ推）
		スポーツボランティアの確保		各種スポーツ活動時におけるスポーツ指導者としての人材や、各種スポーツ大会の運営時のスタッフ要員として協力できる方など、住民参加によるスポーツボランティアの確保を図ります。	◇住民参加によるスポーツボランティアの確保 ・艇庫使用団体九州看護福祉大学カッター部による普及大会及び講習会等へのボランティア参加 【反省点等】 町（秘書室管理）の人材バンクとのリンク	③	①	スポーツ版人材バンクの構築 （にこにこ、指定管理、体協、スポ推）

第I期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第Ⅰ期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
スポーツ活動の支援体制の充実	（３）競技力向上のための支援の充実	全国大会等の各種競技大会参加への支援	全国大会等で活躍する地元のトップアスリートの姿は、見る人に感動や希望を与えます。このため本町の競技力向上を目指し、各種大会で活躍するトップアスリートの育成・活動を支援します。また、スポーツ活動に励んでいる人を支援・表彰することで、競技者の意欲を高め、競技力の向上を図ります。	県内外で開催される各種競技大会において優秀な成績をおさめ、九州大会や全国大会等に出場する選手・団体に対する奨励金の交付による支援を行います。	◇全国大会等への出場の支援 ・全国大会等奨励金制度 ・玉名郡民体育祭等への補助金及び強化費の交付	②	①	表彰該当者の情報収集方法の構築
		優秀なスポーツ選手等の表彰		全国大会等で優秀な成績をおさめた個人、団体や、地域のスポーツ振興に貢献した個人や団体等を表彰することにより、より一層のスポーツ推進を図ります。	◇優秀なスポーツ選手、団体等の表彰 ・全国大会入賞及び県大会優勝等表彰 （町民体育祭や町式典等） 【反省点等】 県大会優勝者の表彰はあるが九州大会の表彰はない。	②	①	表彰該当者の情報収集方法の構築
		各種競技大会等の開催・支援		スポーツ振興や競技力の向上等を目的に開催される各種競技大会の開催について、熊本県・玉名郡の体育協会や長洲町体育協会など関係団体と連携しながら開催・支援を図ります。	◇各種競技大会等の開催・支援 ・各協会主催事業８大会開催 ◇熊本県・玉名郡・長洲町体育協会等の関係団体との連携 ・県民体育祭への郡代表としての選手の派遣等	②	①	各種目協会の活性化や充実 （にこにこクラブとの協力関係が必須）
	（４）各種スポーツ団体及び近隣市町との連携	町内各種スポーツ団体等への支援	だれもが気軽に参加できるスポーツ団体やクラブの育成・活動充実に向けて、既存のスポーツ団体の自主的・自発的な活動を支援し、スポーツ団体活動の活性化を図ります。また、住民の多様化するスポーツニーズによる新しいスポーツやサークル活動に対して、その取り組みを支援します。地域スポーツの振興のみならず、健康づくりや生きがいづくり、さらには地域コミュニティの形成など様々な役割を担っている長洲町体育協会、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）等と連携し、地域住民の生活のなかに新たなスポーツ活動の輪を広げていきます。	長洲町体育協会、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）、スポーツ少年団体など町内の各種スポーツ団体の活動に対する支援を図ります。	◇町内各種スポーツ団体等への活動支援 ・長洲にこにこクラブ	③	①	・各種目協会の活性化や充実 （にこにこクラブとの協力関係が必須） ・スポーツ少年団への登録？ （現在は登録団体は０である）
		町内各種スポーツ団体による交流ネットワークの構築		町内における全町的体制でのスポーツ振興を図るため、スポーツ活動に係わる町内関係団体や個人が、情報を共有し相互に連携・協力した、町スポーツ団体の交流ネットワークづくりを図ります。	◇長洲町スポーツ交流ネットワークづくり ・町スポーツ団体情報交換会開催 【良かった点等】町スポーツ交流ネットワークづくりへ向けスポーツ団体情報交換会の開催（R1.12終了） 【反省点等】引き続き交換会の開催ができないか、代わりの組織の構築はできないか。	②	③	スポーツ団体情報交換会の開催（R1.12終了） 代わりの組織の構築はできないか。
		他市町との連携		今後ますます少子高齢化が進むなか、国・県が進めるスポーツ推進策のもと、近隣の市町との共同事業の開催や積極的な情報交換など、広域的な視点でのスポーツ活動の連携を図ります。		④	①	話すらなく、どうなっているかわからない。まずは有明圏域内の他市町の事業等の確認や情報交換から進めることが必要。 （共同開催するしないは別にして）

第I期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第Ⅰ期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
スポーツ施設の利用促進	（一）身近なスポーツ活動の場の提供	公民館（介護予防拠点施設）での健康運動の推進	地域の公民館（介護予防拠点施設）や小中学校の体育施設は住民が気軽にストレッチ、軽体操やビーチボールバレー等のスポーツ活動を行うことができる身近なスポーツ施設として日常的に利用されています。このため、これら公民館（介護予防拠点施設）での健康運動の推進や学校体育館の開放など、引き続き住民が気軽に利用できる身近なスポーツ活動の場を提供します。	高齢者が地域で元気にいきいきと暮らせるよう、身近な施設である公民館（介護予防拠点施設）で気軽に参加できる、ストレッチ、軽体操等を内容とする健康運動等の取り組みを推進します。	◇公民館（介護予防拠点施設）等での健康運動等の推進 ・健康体操教室、元気はつらつ地域学習講座、笑顔ビーチ教室 笑顔グラウンドゴルフ教室、介護予防体操教室、元気アップ教室等 【良かった点等】公民館(介護予防拠点施設)で気軽にできる体操等で高齢者の運動への参加が図られた。 【反省点等】参加されていない人への定期的な周知等が必要	②	Ⅰ	スポーツに触れることのない人たちへのアプローチや周知が必要
		学校体育施設の有効活用		町内小中学校の体育施設は、地域住民の身近なスポーツ施設であり、地域住民が日常的に利用できるスポーツ施設です。このため、小中学校の体育施設の平日（夜間）や土日開放を引き続き小中学校と連携しながら行っていきます。	◇小中学校の学校体育施設の開放 町内小中学校の体育館平日（夜間）及び土日開放 【良かった点等】 運動に触れる機会が増えた。 【反省点等】 社会体育で使用する用具等の整備や管理、負担等の認識の統一ができていない。	②	Ⅰ	学校施設を利用することで住民のスポーツに触れる機会は増えているが学校側と社会体育で使用する用具等の整備や管理、負担等の認識の統一が必要である。
	（2）スポーツ施設の整備・拡充	スポーツ施設の整備・拡充	スポーツ施設の整備・充実は、住民のスポーツ活動を推進するための基盤として極めて重要です。このため、住民の誰もが、スポーツ施設を安全・快適に利用することができるよう、老朽化した施設の整備・拡充に努めます。　また、スポーツ施設の管理運営については、利用者のサービス向上と効率的運営を目指し、民間の有する能力・人材を活用しながら指定管理者とともに取り組みます。	本町における各種スポーツ施設の整備については、スポーツアンケート調査によれば、おおむねできていると考えられます。今後は、老朽化した施設の計画的な改修・整備に取り組み、利用者の方々が安心して快適にスポーツ活動ができるよう施設機能の維持・充実を図ります。	◇関係法令等を遵守した安全な施設の確保 ◇スポーツ施設の適切な維持・管理 ◇各施設の備品、用具等の整備	③	Ⅰ	・施設の老朽化が進んでおり、計画的な見直し等が必要である。 ・軽微な修理等は指定管理者と協議し、危険度の高いものは、その都度行っている。 ※施設の修繕更新については、町個別施設計画が策定され計画的に行う。 （緊急及び危険なものについてはその都度）
		指定管理者制度の活用		利用者サービスの向上と管理運営の効率化を目指し、スポーツ施設の管理運営に平成23年10月から指定管理者制度を導入しました。指定管理後、各種スポーツ教室の開催や環境整備に取り組み、体育館、温水プールなどの利用者数は伸びています。引き続きサービス向上や利用者拡大に向け、指定管理者と協力しながら適切な管理運営を図ります。	◇指定管理者による管理運営の推進 各種スポーツ教室の開催や環境整備等が図られ、体育館、室内温水プールの利用者数は伸びている。 【良かった点等】 指定管理者とＮＰＯ法人長洲にこにこクラブが共同事業体となり事業や教室等の充実が図られた。	④	Ⅰ	今後とも指定管理者と協力し、施設利用者の拡大とサービス向上に取り組み、適切な管理運営を図る。
		ウォーキングコース（散歩道）の整備		今日、高齢者を中心として健康・体力づくりのため、散歩・ウォーキングを行う住民の姿が各所で見られるようになりました。このため、ウォーキングコース（散歩道）の整備を図ります。住民の各種スポーツ活動の促進を図るため、地元企業や有明広域行政事務組合と連携し、これら所有のグラウンドなど民間のスポーツ施設の利活用を推進します。	◇ウォーキングコース（散歩道）の整備 金魚を活かしたフットパスコースが完成された ・キンギョづきあいコース　・カラダ目覚めるコース(各７km) 【良かった点等】健康・体力づくりが図られた。 【反省点等】啓発が必要。コースを利用した大会や教室等の充実	③	Ⅰ	町民の健康づくりのために周知、啓発が必要であるとともにこのコースを利用したイベント等ができないか
		民間のスポーツ施設の利活用			◇民間のスポーツ施設の利活用 有明広域の多目的グラウンドや有明サッカー場等での町大会や協会主催行事の開催 【反省点等】　一部施設は管理等の問題があり、今後利用状況等も考え使用するかどうか検討が必要である。	②	②	一部施設においては管理等の問題があり、今後、使用実態等も考慮して継続して使用するかどうかの検討が必要である。

第I期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

		第Ⅰ期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
		事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性	（平成27年度～令和元年度）	①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	①継続する ②継続しない ③検討中	
スポーツ施設の利用促進	（３）スポーツに関する広報、広聴体制の充実	積極的なスポーツ情報の発信・提供	スポーツアンケート調査によれば、スポーツに関する取り組みのなかで不満に思うことのひとつに『情報提供の不足』があげられました。このため、施設利用案内、イベント情報、スポーツ教室・団体紹介など、スポーツに関する各種情報について、町広報やホームページを活用して情報提供を行い、住民の方々のスポーツへの関心を高めていきます。	スポーツに関する情報提供について、町広報やホームページなどを活用し、より積極的なスポーツ情報の提供に努めます。	◇各種広報手段による情報提供の充実 　スポーツ情報を町広報をはじめ、ＨＰ等を活用した。 ◇地元報道機関や多様なメディアの活用による情報提供 　新聞社等へ情報提供を行った。	①	①	今後も各種広報やホームページ等によるスポーツに関する情報提供に努める。
		ホームページのスポーツコーナーの充実		町内で活動するスポーツ団体やサークル等についての活動情報、各種運動教室、町出身アスリートの活躍状況等に関して、ホームページを利用した魅力ある情報提供に努めます。	◇総合スポーツセンターの利用案内、各種スポーツ教室等に関する情報提供 ◇各種スポーツ大会、運動教室等に関するイベント情報の提供 ◇町内スポーツチーム、サークル等のスポーツ団体に関する情報提供 ◇長洲町体育協会、ＮＰＯ法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）等に関する情報提供	①	①	今後も各種広報やホームページ等によるスポーツに関する情報提供に努める。
		住民ニーズの把握		多様化するスポーツニーズに適切に対応し、スポーツ活動への住民参加をより促すため、施設利用者に対するアンケート調査や長洲町体育協会、長洲町スポーツ推進委員等との意見交換等を行い、スポーツ活動に関する住民ニーズの把握に努めます。	◇施設利用者へのアンケート調査等 　町(住民アンケート、部活動移行アンケート) 　NPO法人長洲にこにこクラブ(会員及び指導者アンケート、障害スポーツ、研修会参加者アンケート) 　指定管理者（施設利用者アンケート） ◇町体育協会、町スポーツ推進委員等との意見交換等 　スポーツ団体情報交換会	②	①	・定期的なアンケートを実施し、多様化するスポーツニーズの把握に努める。 ・スポーツ関係団体との情報交換や意見交換会等を行い利用者のニーズの把握に努める。

町内スポーツ施設の整備状況と利用状況

■町内スポーツ施設の整備状況

施　　設	開設年 （経過年数）	内　　容	面積（㎡）
体育館	S52 年 （42 年）	バスケットコート 1 面、又はバレーコート 2 面、又はバドミントンコート 4 面	1,450
武道場	S53 年 （41 年）	剣道場 1 面、柔道場 1 面	450
トレーニング室	H3 年 （28 年）	フロアー170 ㎡、談話室 46 ㎡	216
グラウンド	S51 年 （43 年）	野球場 1 面、ソフトボール場 1 面、300m トラック	18,000
ジョギングコース	S63 年 （31 年）	ゴムチップ張り（1 週 543m）	
テニスコート	S58 年 （36 年）	全天候型 4 面、壁打ち面	2,918
テニスコート管理棟	S58 年 （36 年）	更衣室、倉庫	68
弓道場	S60 年 （34 年）	7 人立ち	281
艇庫	S52 年 （42 年）	OP ヨット、カヌー、カッター等	864
室内温水プール	H5 年 （27 年）	25m×6 コース、幼児用 25m×3m	1,527
芝生広場	S59 年 （35 年）	パーゴラ、東屋	3,072

■学校体育施設の整備状況

学　校　名	グラウンド（㎡）	体　育　館（㎡）
長洲小学校	7,390	1,000
清里小学校	5,290	778
六栄小学校	8,974	930
腹赤小学校	7,597	934
長洲小学校	15,442	1,212
腹栄中学校	17,526	1,511

■町内スポーツ施設の利用状況

施設名称	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
体育館	24,077	22,758	23,331	26,480	25,255	25,870
武道場	17,302	16,566	11,332	10,122	11,058	9,319
トレーニング室	11,230	10,903	11,615	11,853	11,018	9,882
グラウンド	64,734	68,497	61,550	68,469	61,402	63,703
テニスコート	9,164	8,670	7,792	7,888	7,762	6,883
弓道場	2,063	1,518	1,332	1,027	791	815
艇庫	1,457	1,378	930	1,177	1,397	1,210
室内温水プール	22,379	26,427	28,734	29,872	31,372	29,386
合計	152,406	156,717	146,616	156,888	150,055	147,068

■学校体育施設の開放における利用状況

学校名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
長洲小学校	4,689	4,473	3,110	2,385	2,882	5,217
清里小学校	2,984	4,742	6,531	7,143	7,621	8,467
六栄小学校	4,447	4,601	3,325	3,449	3,910	3,610
腹赤小学校	2,785	3,714	2,656	4,875	4,627	4,680
長洲中学校	6,309	9,522	6,328	8,926	9,186	8,332
腹栄中学校	3,661	4,948	3,870	5,179	5,776	8,580
合計	24,875	32,000	25,820	31,957	34,002	38,886